

RIKKYO Fact Book 2023

立教大学ファクトブック

— 2017年度～2022年度データ —

教育

Education

研究

Research

学生

Students

社会連携・社会貢献

Social Collaboration and Social Contributions

国際化

Internationalism

入試

Entrance Exams

広報・ブランドイメージ・ランキング

Public Relations, Brand Image, Ranking

校友

Alumni

学校運営

School Management



立教大学

はじめに

「立教大学ファクトブック」の編纂は、本学の情報を社会に公開することにより、本学の現状や取り組みについてご理解いただくことを目的としております。

また、「立教大学ファクトブック」は、2021年度に策定された、今後の中期計画や単年の事業計画への道筋となる「大学運営の基本方針」をもとにコンテンツを構成しております。

「大学運営の基本方針」は、2021年4月～2025年3月の4年間の大学運営における基本方針です。策定にあたっては、基本方針の理念・目的を明確化した上で、本学の教学発展における重点政策、および各領域（教育発展、研究活動、学生支援、社会連携／社会貢献、国際化、入試、広報・ブランディング、大学運営基盤）における基本方針を示しています。「立教大学ファクトブック」の5ページには、この「大学運営の基本方針」の各領域と相関するデータのページを示しております。現在の本学の状況と併せて、今後の展望を見通すデータ集としてご覧ください。尚、最新のデータとして原則2022年度時点のデータを収録しておりますが、一部データの最新年度には差異がございますので、ご了承ください。

また、2021年4月に公表され、「大学運営の基本方針」の理念・目的としても掲げられている「立教大学ヒューマン・ディグニティ宣言」と、日本政府の宣言する2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラルの実現」に大学全体として取り組むべく2022年度2月に公表された「立教大学カーボンニュートラル宣言」を以下に掲載いたします。ご参考までにご覧いただけましたら幸いです。

立教大学ヒューマン・ディグニティ宣言

- 【1】立教大学は、キリスト教に基づいて人格を陶冶し、人間の尊厳を自覚する教育をおこないます。**
立教大学は、個々人の「人格と尊厳」（ディグニティ）が尊重され、それぞれの能力が最大限に発揮されるような、自由な学問と教育の場であることをめざしています。人権意識、当事者意識をはぐくむ正課教育・正課外教育を追求します。
- 【2】立教大学は、みずからの学びと体験を他者に伝達し、他者と共有できる感性と知性をもった人間を育てます。**
学びと体験を個人にとどめず、他者に正しく伝達できる「開かれた知性」をもった市民を社会に送り出します。それぞれが自由に触発・交流し合い、他者、とりわけ生きる条件のきびしい他者存在を受けとめて生き合うキャンパスづくりをめざします。
- 【3】立教大学は、あらゆるキャンパス・ハラスメントに対し、断固たる態度でこれを排除し、防止します。**
キャンパス・ハラスメントは、個人の人格的尊厳（ディグニティ）を傷つけ、人権を侵害する行為です。同時に、大学の教育・研究を支える環境を損なう行為でもあります。立教大学は、このような行為を一切許さず、生じさせない環境を保持します。

立教大学カーボンニュートラル宣言

近年、極端な熱波、干ばつ、熱帯低気圧の強大化、豪雨などの異常気象が、世界中の人々の生活に深刻な被害をもたらし、生態系にも大きな影響を与えています。これらの異常気象には地球温暖化が関係していると考えられており、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第6次評価報告書第1作業部会報告書（自然科学的根拠）では、人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことに疑う余地はないとされています。私たちの命の基盤である地球を、持続可能な形で次世代へつなげていくために、私たちはいま何をすべきかが問われています。

立教大学は、「普遍的真理を探究し、この世界や社会のために働く者を生み育てる」というミッションのもと、地球温暖化という全世界共通の課題に取り組むべく、ここに立教大学カーボンニュートラル宣言を发出し、以下の取り組みを進めてまいります。

- 【1】2030年までに本学キャンパスにおける温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを目指し、立教大学カーボンニュートラル・ロードマップを策定のうえ実行します。**
- 【2】地域の方々をはじめとする様々な関係者と協力し、社会におけるカーボンニュートラルの取り組みに貢献します。**
- 【3】地球環境の現状を理解し、生きる条件のきびしい他者存在に思いを馳せつつ、カーボンニュートラルを含めた持続可能な社会を構築する力のある学生を育てます。**

大学運営の基本方針（概要）・・・・・・・・・・ 4

I 教育

1 教員	6
2 学生アシスタント	7
3 カリキュラム	8
■ TOPICS 2002年以降の新設・改組	9
4 単位修得率	11
5 博士学位	11
6 標準修業年限内卒業率	12
7 図書館	13
■ TOPICS 立教大学の図書館	17
■ TOPICS スポーツウエルネス学部・ 研究科の開設	18

II 研究

1 研究予算	19
2 学外研究費	19
3 論文	21
■ TOPICS 立教大学の研究力	23
4 知的財産	23

III 学生

1 学生数	24
2 学籍	25
3 奨学金	27
■ TOPICS 立教大学の奨学金	29
4 課外活動	30
■ TOPICS 「立教箱根駅伝2024」事業	31
5 進路	34
■ TOPICS キャリアの立教	35

IV 社会連携・社会貢献

1 ボランティア	36
2 産学官連携事業例（受託事業）	38
3 自治体・企業等との各種協定例	39
4 社会貢献	41
5 生涯学習	41
■ TOPICS 立教大学の社会連携・社会貢献	42

立教大学の沿革・・・・・・・・・・ 62

立教学院創立150周年に向けて・・・・・・・・・・ 64

立教大学ファクトブック2023（概要）・・・・・・・・・・ 66

V 国際化

1 協定校数	44
2 送出し・受入れ	44
3 教員	45
4 カリキュラム	46
■ TOPICS 立教大学の国際化	48

VI 入試

1 入試	50
------	----

VII 広報・ブランドイメージ・ランキング

1 広報活動	52
2 ブランドイメージ・ランキング	53

VIII 校友

1 卒業生	54
■ TOPICS 立教大学校友会	55

IX 大学運営

1 教育研究施設	56
2 立教学院展示館・旧江戸川乱歩邸	58
■ TOPICS 立教学院展示館	58
■ TOPICS 旧江戸川乱歩邸	59
3 財政	60
4 専任職員数	61

大学運営の基本方針

2021年度～2024年度の4年間の方針、「大学運営の基本方針」を大学機関別認証評価や私立大学ガバナンスコードの内容に留意しつつ、作成しました。この基本方針に基づき、中期計画、単年度事業計画を策定し、一体的に管理・運用することを想定しています。

立教大学ファクトブックでは、「大学運営の基本方針」と関連する項目について、過去数年の実績と現状を把握できるデータを揃えました。

理念・目的

1 創業者チャニング・ムーア・ウィリアムズと「建学の精神」

創業者チャニング・ムーア・ウィリアムズが受け止めた神の「呼びかけ」に対する「応答」としての「教育」を、その時代時代の中で再現し続けることこそが立教大学のミッションです。その「呼びかけ」の声を聴き取ることのできる「場所」を捜し求めること、その時々時代の状況の中であって、いかにすれば、その「場所」に至ることができるかを、全身全霊で思いめぐらし、苦闘することもまた、「立教大学」の「ミッション」です。

2 PRO DEO ET PATRIA - 教育理念の再確認 -

「普遍的なる真理を探究し」(PRO DEO)、「私たちの世界、社会、隣人と具体的につながる」(PRO PATRIA) という教育理念と、「建学の精神」・ミッションを再確認しつつ、時間と空間を超えて、人と人をつなぎ、世界につながる大学であることを未来に向かって宣言していきたいと願います。

3 「リベラルアーツ」をめぐる - 立教大学としての再定義 -

立教大学しか語り得ない、私たちの「ミッション」と直結する「リベラルアーツ教育」とは何かを、今一度、全学で確認、共有する必要があります。

4 COVID-19後のプロアクティブな新しい大学モデル

立教大学では、オンキャンパスとオンラインを有機的に組み合わせた高等教育を豊かに展開することに注力します。
また、新たな国際化デザインを、先駆的に構想し、提案します。

5 多様な価値観が集まるキャンパスへ - “diversity” の “inclusion” への質的進化

立教大学は、“diversity”に対する迅速かつ柔軟なプログラム編成や、既存の制度の再検証を行い、それをさらに、“inclusion”の次元へと進化させていきます。“inclusion”とは多様な人々が対等に関わり合いながら、一つの有機体的共同体(コミュニオン)を形成している状態を意味します。

6 「立教大学ヒューマン・ディグニティ宣言」とその意味

2021年4月に3つの「立教大学ヒューマン・ディグニティ宣言」を公表し、学生・教員・職員にとっての行動規範となり、今後の改革の際にも参照されることを願います。
※「立教ヒューマン・ディグニティ宣言」の内容は、Fact Bookの目次の前に掲載しております。

7 「全体最適」と「部分最適」のバランスを重視した「ガバナンス改革」

「建学の精神」、ミッションとビジョンを「全体最適」、カリキュラムや人事施策、予算運用等の具体的な施策を「部分最適」として、バランスの良い安定的なガバナンスの実現を目指します。

<ALL 立教>で迎える立教150周年

「建学の精神」を再確認しつつ、創造的変革を実現し、「誇れる大学」、「選ばれる大学」にします。
また、「個性が際立つ大学」として、世界に価値ある大学を目指します。
私たちのミッション(使命)とは、次の世代を育み、「立教的価値」をつないでいくことです。<ALL 立教>で、来る立教150周年を迎え、夢や理想を語る場としての「立教」を創っていきたく願います。

基本方針項目とファクトブック対象ページ一覧

重点政策

■ Rikkyo Learning Style の発展

- ・ 本学ならではのリベラルアーツ教育を強力に推進するため、「RIKKYO Learning Style」の完成に向けた取り組みを進めます。
- ・ リーダーシップ教育を全学的に展開するスキームを検討・実施します。
- ・ RLS のさらなる発展をめざし、「グローバル教養副専攻」、「導入期教育」の充実、「立教サービスラーニング (RSL)」を含む社会連携教育や体験学習を推進します。

■ 新しい教学構想

- ・ 新しい時代を切り開く人々を持続的に育成するため、新学部・研究科構想を実現します。
- ・ 池袋キャンパスには、エビデンスに基づき社会変革に貢献できる人々を文理融合教育によって育成する学部、新座キャンパスには、ウェルネス社会の実現に貢献できる人々を育成する学部を新設します。
- ・ 研究科カリキュラムの継続的な見直しと、教育効果の見える化を図ります。
- ・ 重要性が高まる「社会人向けの大学院」について、その充実を図ります。

教育発展

- 学士課程教育の展開 - ニューノーマル下で展開する授業のあり方 -
- 大学院教育の展開
- グローバル・リベラルアーツ・プログラム (GLAP) の展開
- 一貫連携教育の充実
- 大学間連携の強化
- 教学支援機能の充実と強化 ・ FD、SD
・ 図書館
- その他の取り組み ・ 学習成果の評価方法の検討
・ 立教セカンドステージ大学
・ 認証評価への対応

ファクトブック 参照ページ
P.6 ~ P.18

研究活動の活性化

- 学術研究活動全般の質的強化と充実
- 研究支援制度の拡充
- 産学官連携の推進

ファクトブック 参照ページ
P.19 ~ P.23

学生支援

- 学生支援の方向性
- 奨学金の充実
- 学生サポート体制の整備
- キャリア支援の充実
- 課外活動の支援充実

ファクトブック 参照ページ
P.24 ~ P.35

社会連携／社会貢献

- 社会連携／社会貢献の方向性
- SDGs の連携強化

ファクトブック 参照ページ
P.36 ~ P.43

国際化

- 国際化事業の展開

ファクトブック 参照ページ
P.44 ~ P.49

入試

- 入試制度の継続的見直し

ファクトブック 参照ページ
P.50 ~ P.51

広報・ブランディング

- 広報強化

ファクトブック 参照ページ
P.52 ~ P.53

大学運営基盤の整備

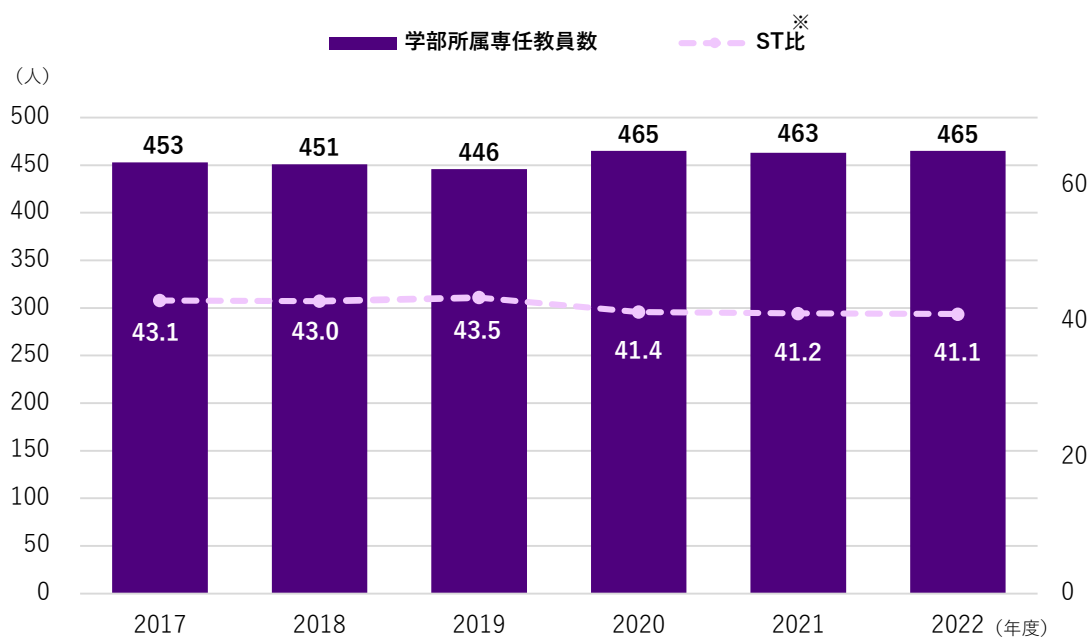
- ガバナンス強化・危機管理体制の充実
- キャンパスの発展・整備
- 教学運営・支援体制の整備
- 情報戦略の推進
- 財政運営
- 創立 150 周年記念事業の推進と募金活動への貢献

ファクトブック 参照ページ
P.56 ~ P.61

I 教育

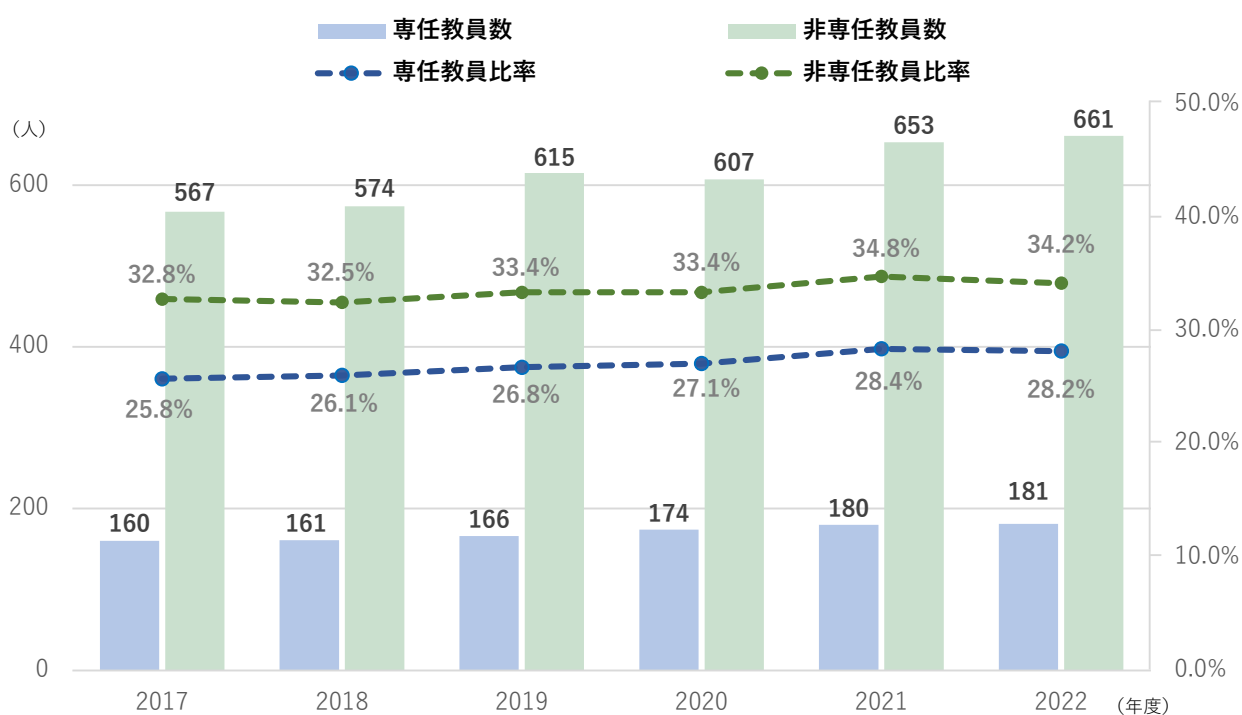
1. 教員

学部所属専任教員数・ST比

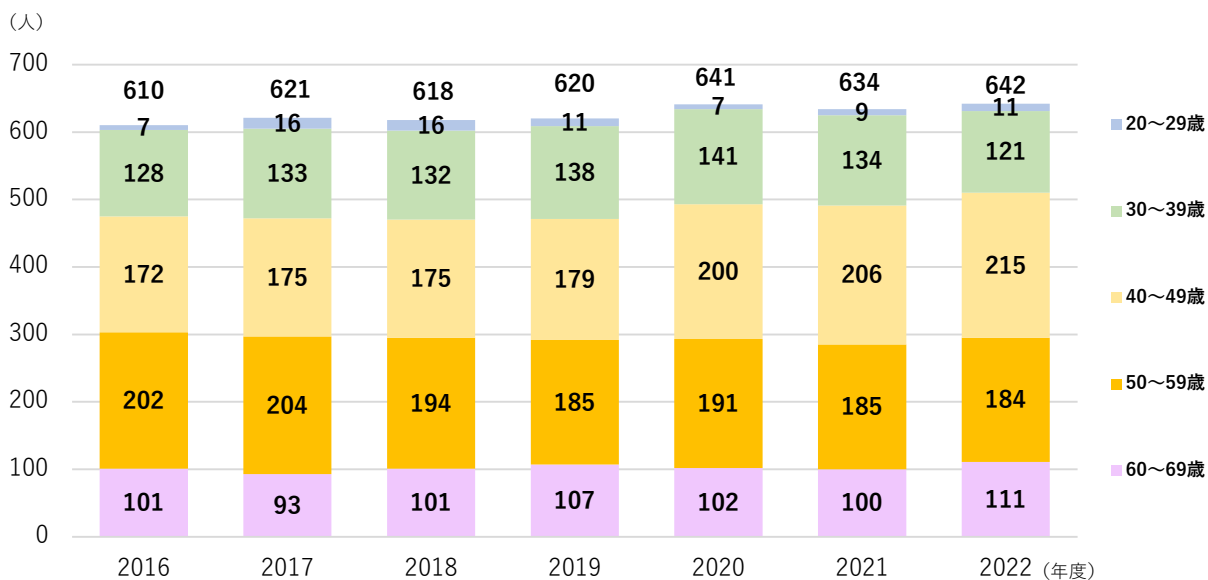


※ ST比・・・教員一人あたりの学生数

女性教員比率

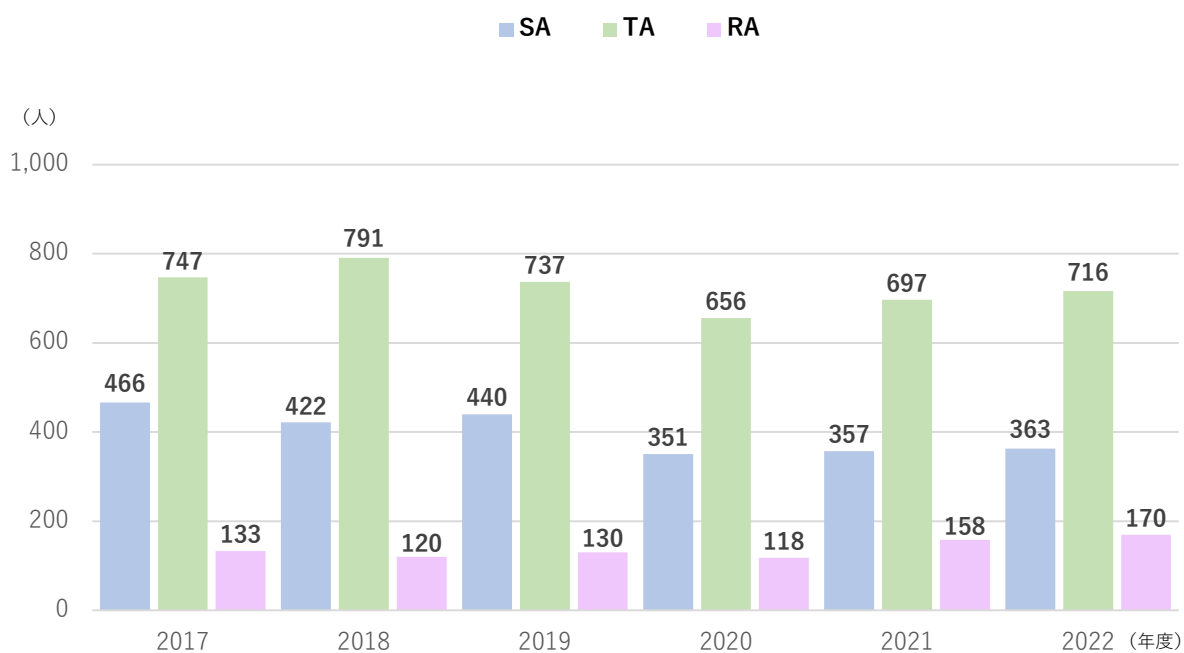


専任教員年齢構成



2. 学生アシスタント

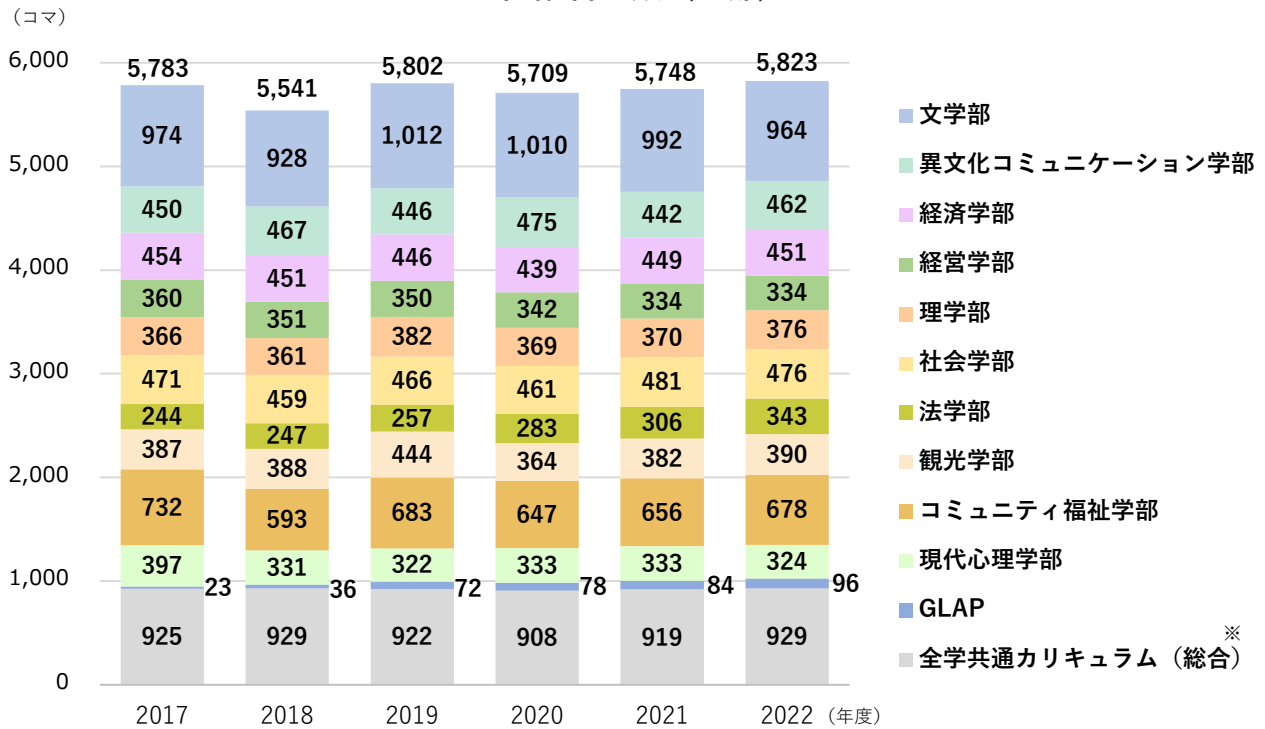
SA・TA・RA人数



SA (Student Assistant) : 教育補助業務を行う学部学生
 TA (Teaching Assistant) : 教育補助業務を行う大学院学生
 RA (Research Assistant) : 研究補助業務を行う大学院学生

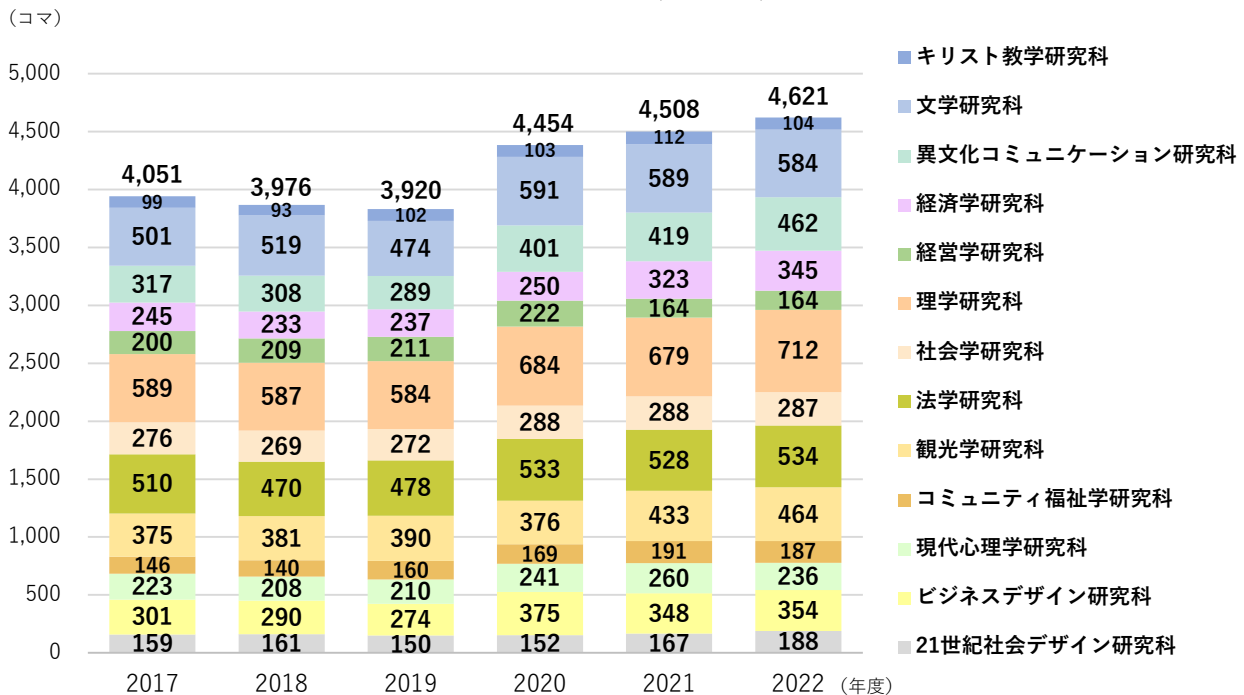
3. カリキュラム

開講科目数（学部）



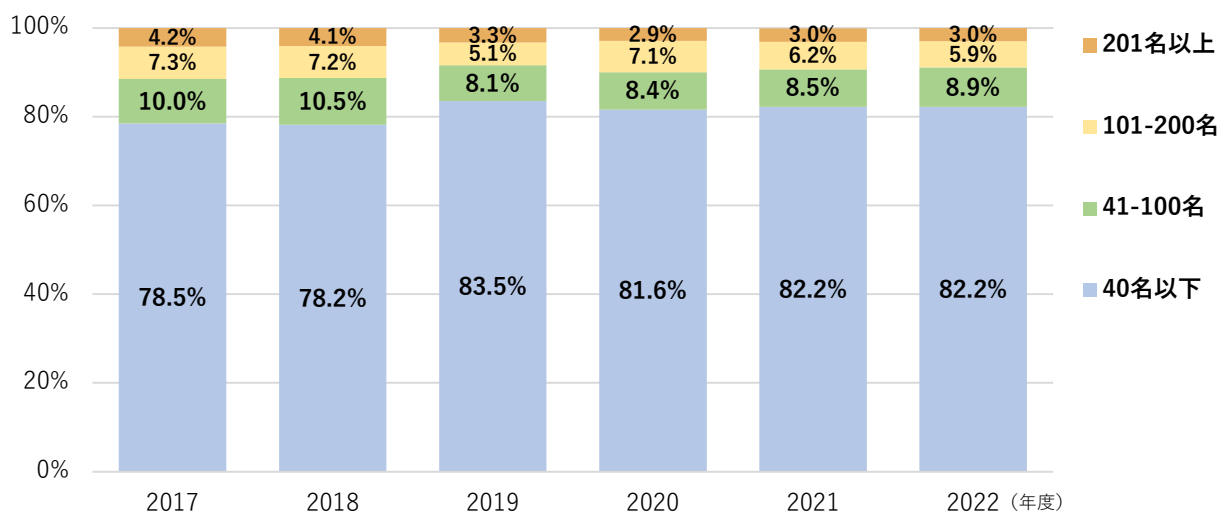
※全学共通科目には、「言語系科目」と「総合系科目」があり、上記グラフでは「総合系科目」のみ算出しています。
 参考）最新 2022 年度の「言語系科目」コマ数（延べ数）は 2,925 コマで、学部展開コマ数の合計は、8,748 コマです。

※
開講科目数（大学院）



※開講科目数の算出方法は、各年度の科目コード毎に集計したものであり、延べ数です。
 （教員毎にコードを振り分けている科目や併置科目であっても科目コード事にそれぞれ1と数えています。）

開講科目ごとの履修者人数



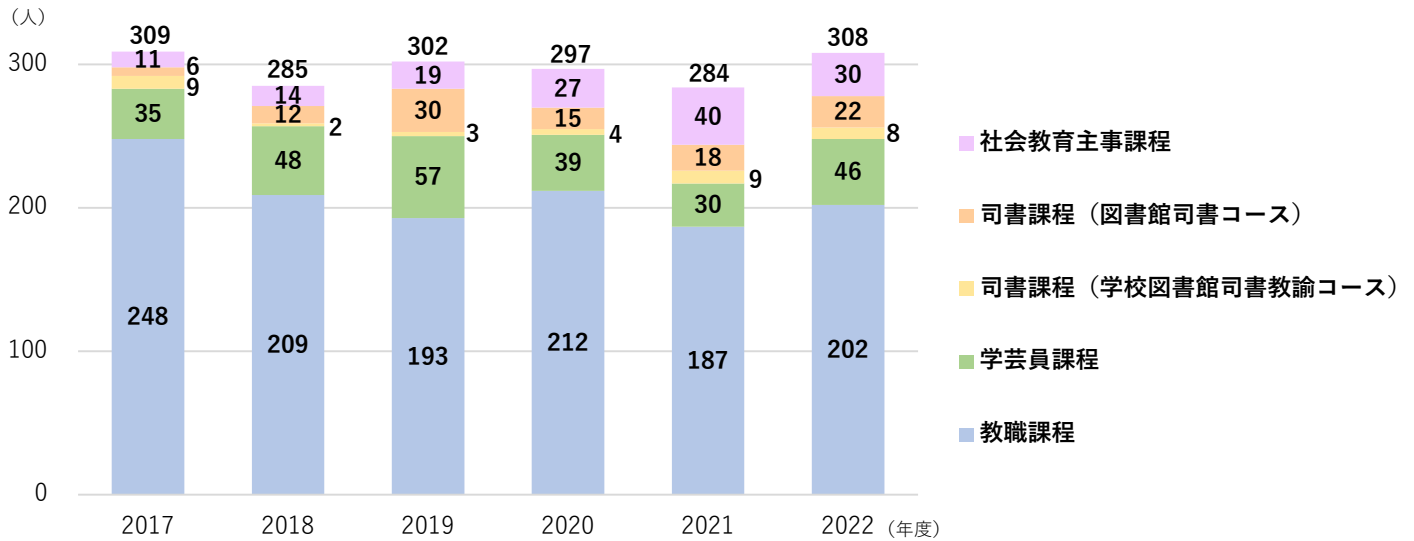
TOPICS

2002年以降の新設・改組

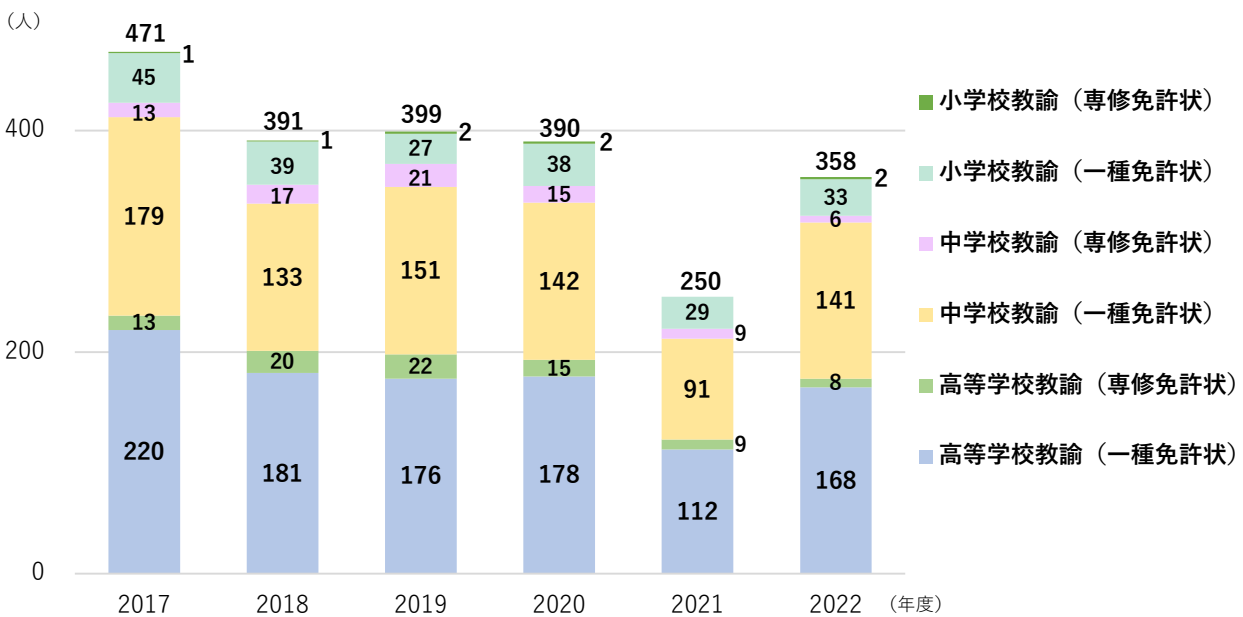
西暦	新設・改組の状況 (学部)
2002年	経済学部にて会計ファイナンス学科を設置
	理学部に生命理学科を設置
	社会学部に現代文化学科を設置
2006年	経営学部 (経営学科、国際経営学科) を設置
	現代心理学部 (心理学科、映像身体学科) を設置
	文学部をキリスト教学科、文学科、教育学科、史学科に改組
	経済学部にて経済政策学科、社会学部にメディア社会学科を設置
	観光学部にて交流文化学科を設置
	コミュニティ福祉学部にて福祉学科、コミュニティ政策学科を設置
2007年	法学部の国際・比較法学科を国際ビジネス法学科に名称変更
2008年	異文化コミュニケーション学部 (異文化コミュニケーション学科) を設置
	コミュニティ福祉学部にてスポーツウエルネス学科を設置
2017年	グローバル・リベラルアーツ・プログラム (GLAP) を設置
2023年	スポーツウエルネス学部を設置

西暦	新設・改組の状況 (大学院)
2002年	ビジネスデザイン研究科、21世紀社会デザイン研究科、異文化コミュニケーション研究科を設置
2009年	キリスト教学研究科を設置
2020年	人工知能科学研究科を設置
2023年	スポーツウエルネス研究科を設置

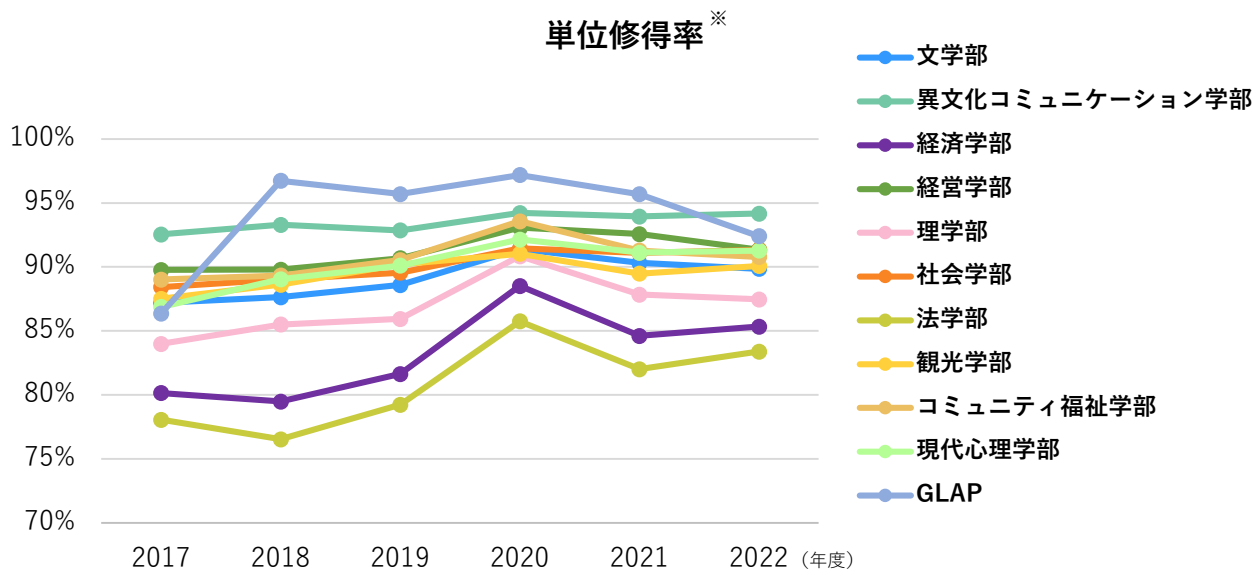
教職・学芸員・図書館司書・社会教育主事課程修了者数



教育職員免許状取得者数



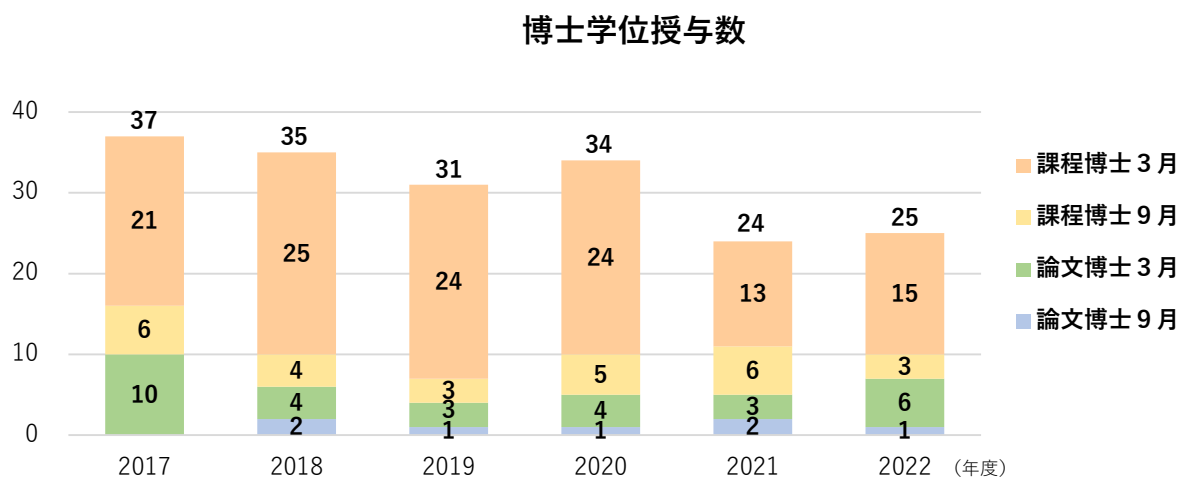
4. 単位修得率



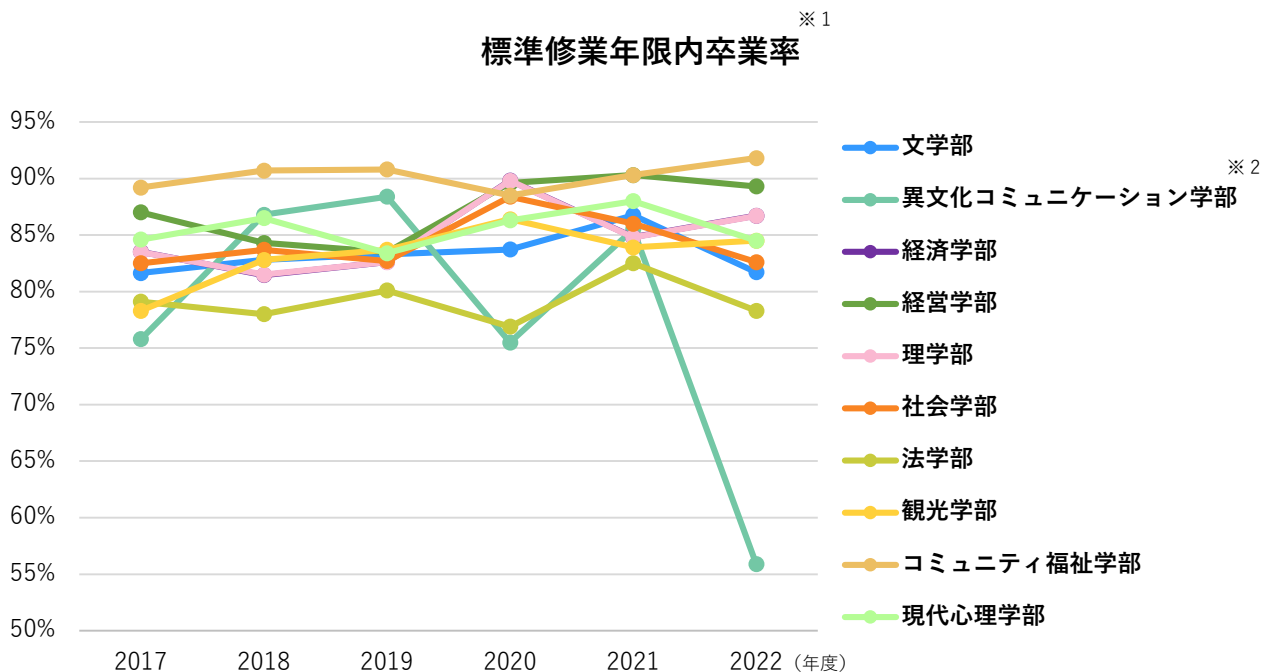
単位修得率 (学部別)						
学部	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
文学部	87.2%	87.6%	88.6%	91.4%	90.3%	89.9%
異文化コミュニケーション学部	92.5%	93.3%	92.9%	94.2%	93.9%	94.2%
経済学部	80.1%	79.5%	81.6%	88.5%	84.6%	85.3%
経営学部	89.8%	89.8%	90.7%	93.1%	92.6%	91.4%
理学部	84.0%	85.5%	85.9%	90.8%	87.8%	87.5%
社会学部	88.4%	89.0%	89.6%	91.5%	91.1%	91.3%
法学部	78.1%	76.5%	79.2%	85.8%	82.0%	83.4%
観光学部	87.5%	88.6%	90.2%	91.0%	89.5%	90.1%
コミュニティ福祉学部	89.0%	89.3%	90.5%	93.6%	91.3%	90.8%
現代心理学部	86.9%	89.0%	90.1%	92.1%	91.1%	91.3%
GLAP	86.4%	96.7%	95.7%	97.2%	95.7%	92.4%

※単位修得率は、「修得単位数÷全単位数（履修中止科目の単位数や、休学・退学等により科目から離れた学生の単位数は含まない）」で算出しています。

5. 博士学位



6. 標準修業年限内卒業率



標準修業年限内卒業率（学部）						
学部	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
文学部	81.6%	82.8%	83.3%	83.7%	86.8%	81.7%
異文化コミュニケーション学部	75.8%	86.8%	88.4%	75.5%	85.5%	55.9%
経済学部	83.5%	81.5%	82.6%	89.8%	84.8%	86.7%
経営学部	87.0%	84.3%	83.5%	89.6%	90.3%	89.3%
理学部	83.5%	81.5%	82.6%	89.8%	84.8%	86.7%
社会学部	82.5%	83.7%	82.7%	88.4%	86.0%	82.6%
法学部	79.1%	78.0%	80.1%	76.9%	82.5%	78.3%
観光学部	78.3%	82.8%	83.7%	86.4%	83.9%	84.5%
コミュニティ福祉学部	89.2%	90.7%	90.8%	88.5%	90.3%	91.8%
現代心理学部	84.6%	86.5%	83.4%	86.3%	88.0%	84.5%

※1：1年次から同一学部・学科・専修に在学する者の標準修業年限は4年です。

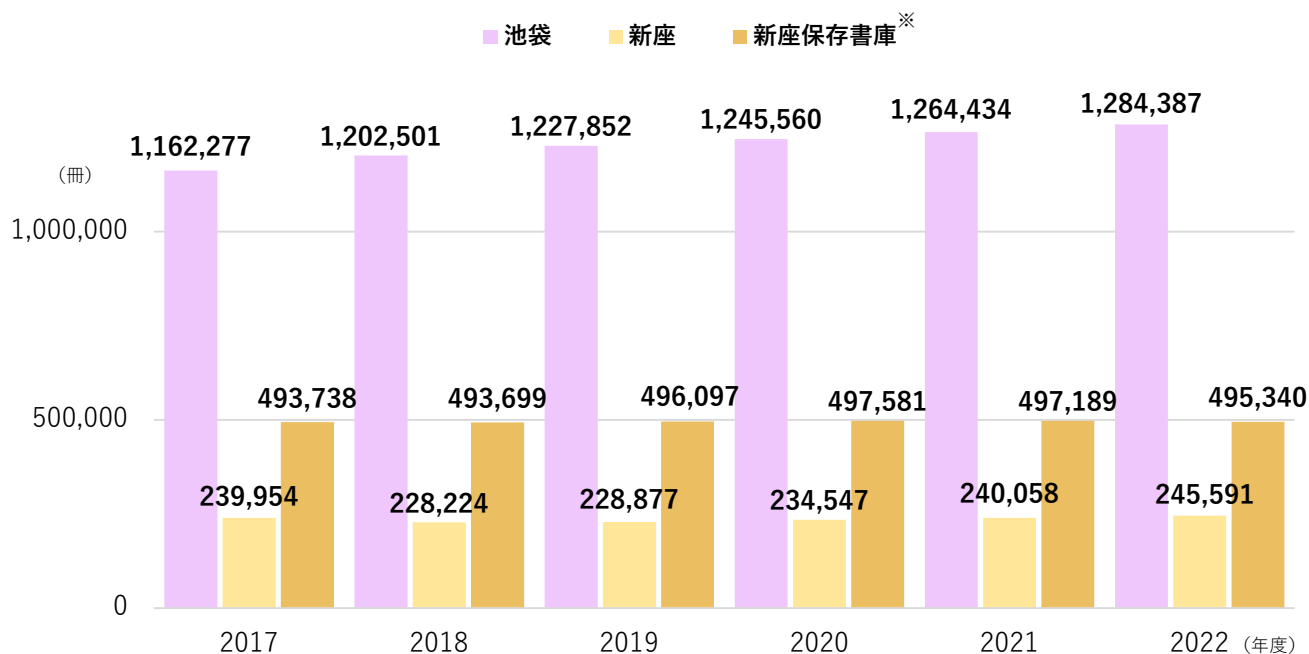
標準修業年限内卒業率は、「標準修業年限内卒業者÷4月時入学者数（休学者を含む、退学者を除く）」で算出しています。

※2：2022年度の異文化コミュニケーション学部の標準修業年限内卒業率は、COVID-19による渡航制限後の留学を理由とした休学者・留年者多数により、数値が下降しています。

なお、2019年4月入学者（標準修業年限卒業年：2022年）143名のうち、休学したことのある学生は54名（38%）です。

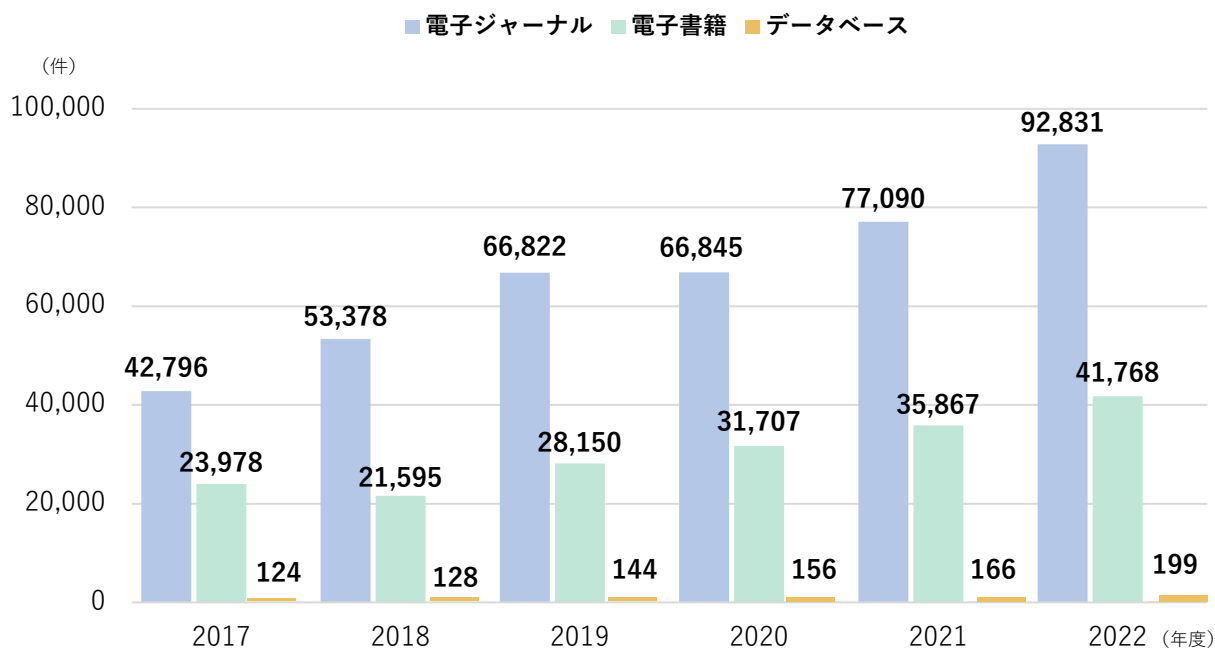
7. 図書館

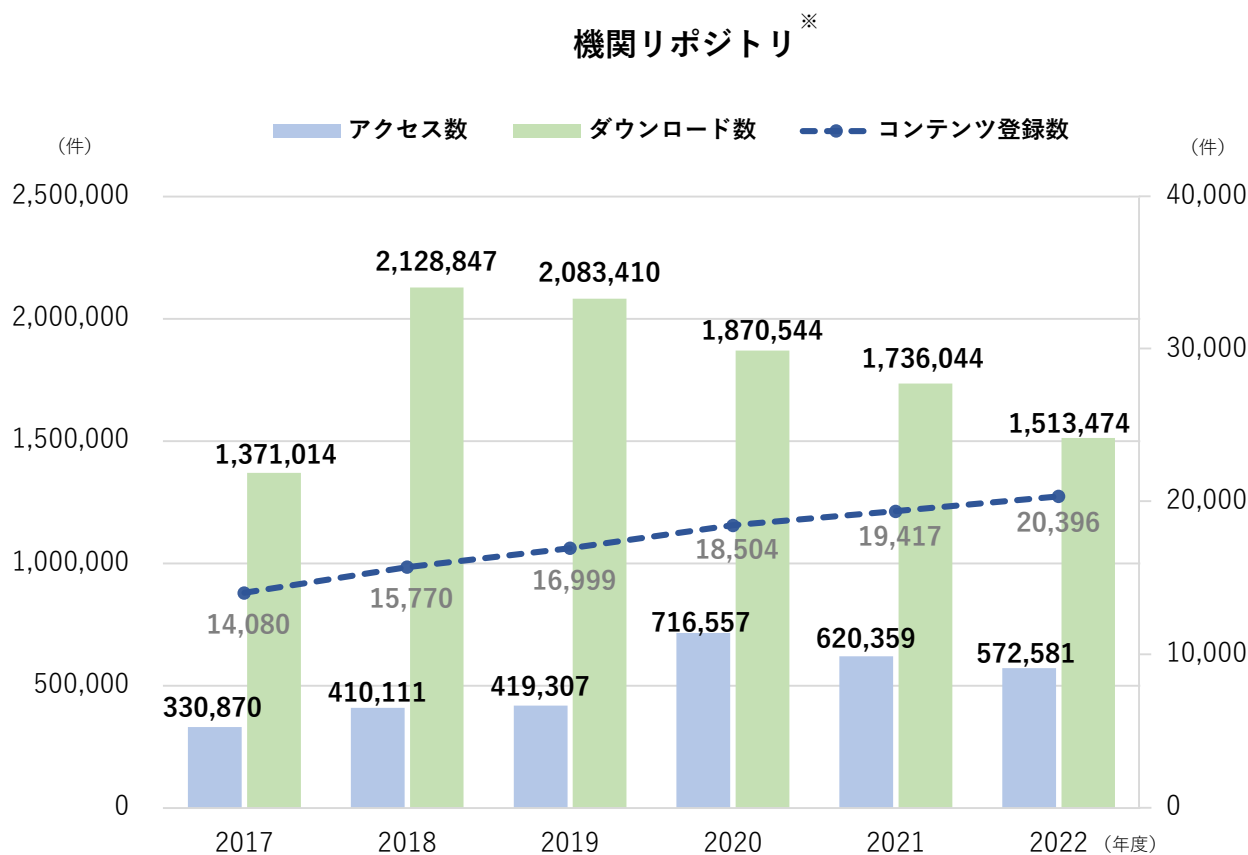
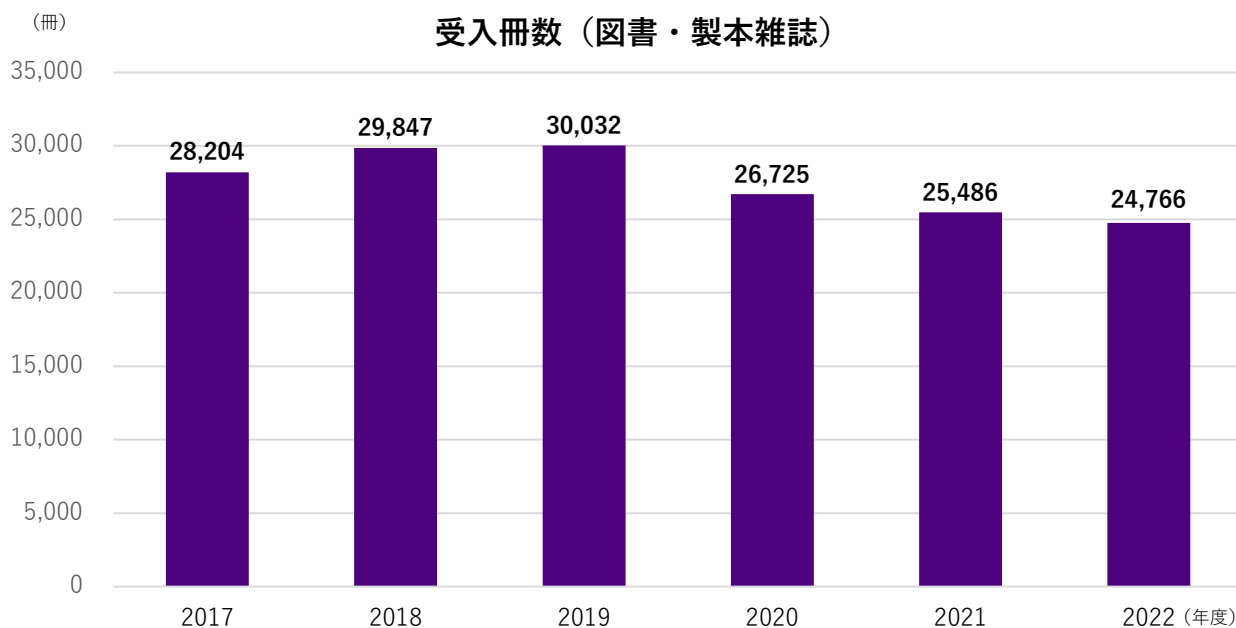
蔵書冊数



※新座保存書庫・・・資料の保存を目的に建てられた施設。
 大学創設当時の貴重な資料や、特別コレクション、刊行年代の古い資料などが所蔵されています。
 原則として来館利用はできませんが、一部の資料を除き池袋・新座の各図書館へ取り寄せて利用できます。

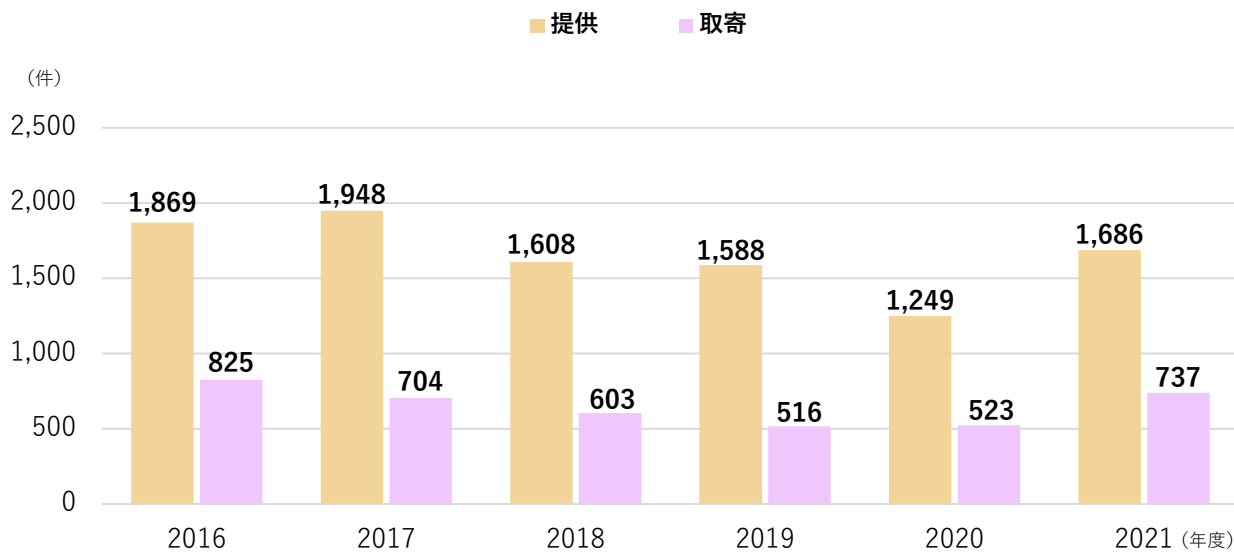
電子リソース





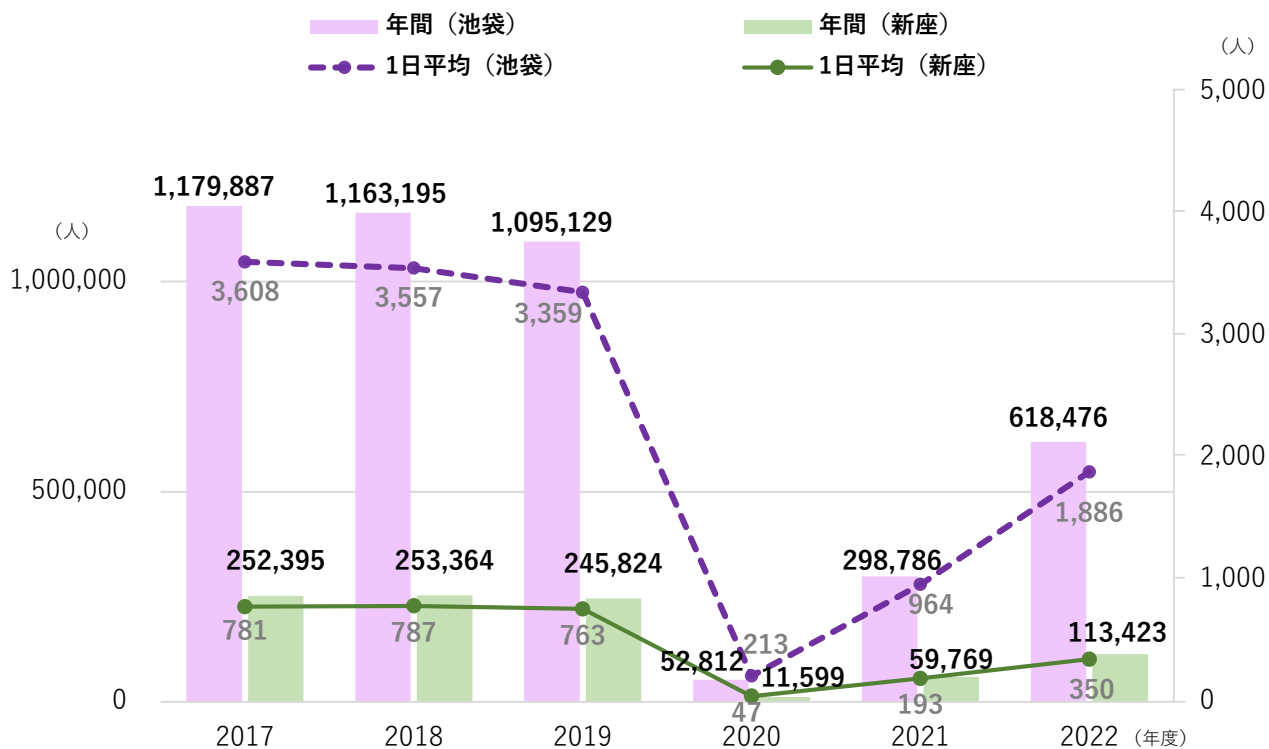
※機関リポジトリ・・・大学や研究機関がその所属研究者の知的生産物を電子的形態で集積し保存・公開するために設置する電子アーカイブシステム

※ 文献複写（提供・取寄）

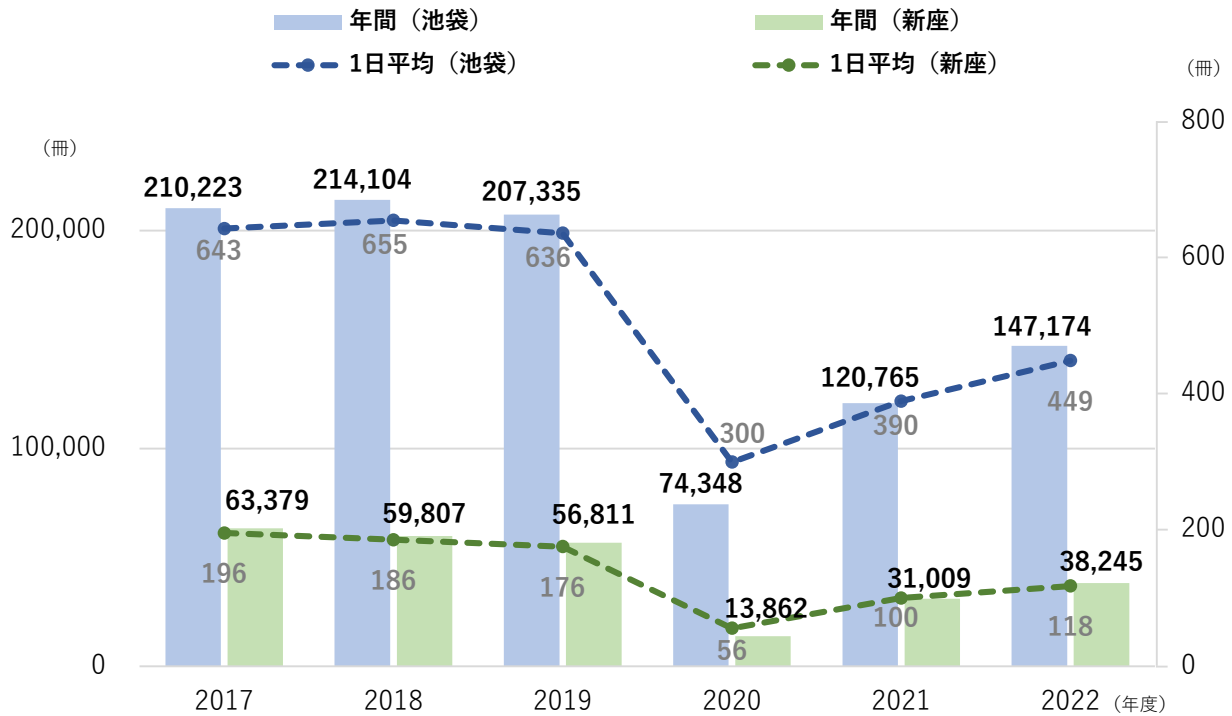


※文献複写は、2021年度が最新のデータとなります。

入館者数（年間・1日平均）



貸出冊数（年間・1日平均）



利用者スペース面積・座席数

キャンパス	利用者スペース面積	閲覧座席数	自由に会話できる開放スペース
池袋	10,872㎡	1,538席	96席
新座	2,496㎡	477席	66席
合計	13,368㎡	2,015席	162席

グループ学習室 部屋数・座席数

キャンパス	部屋数	席数
池袋	8室	110席
新座	4室	44席
合計	12室	154席

協定大学図書館の利用

山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム	青山学院大学	東洋大学
	学習院大学	法政大学
	國學院大學	明治大学
	専修大学	明治学院大学
学習院大学閲覧協定		
埼玉大学図書館相互利用協定		
SALA埼玉県大学・短期大学図書館協議会（加盟機関45館 ※新座図書館のみ）		

大学図書館間での各種協定により、紹介状なく学生証・勤務員証の提示で各大学図書館の相互利用が可能となっています。

池袋・新座両キャンパスに、総合学習および研究図書館としての支援機能と幅広い蔵書・資料を有し、年間320日を超える開館日数で夜間まで利用可能な図書館環境を整備しています。静寂かつ広々としたスペースに閲覧席やPC席を十分に備え、学生同士アクティブにグループ学習ができるラーニング・コモンズを設けるなど、学習・教育・研究の多様化するニーズに対応しています。また、従来の来館型サービスのみならず、データベースや電子書籍等の電子リソースの拡充、オンライン相談などリモートでの研究・学習支援も進展し、図書館外どこからでもアクセスできる非来館型の図書館サービス機能も充実しています。

TOPICS
1

アクティブ・ラーニング促進

学生同士の主体的な学び合いを促すため、「グループ学習室」を池袋キャンパス・新座キャンパスに設置しました。周囲を気にせず存分に話し合いができる開放的なエリアも両図書館に設けています。

TOPICS
2

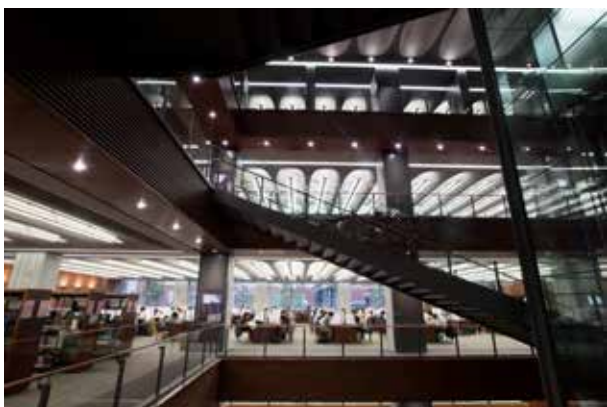
ラーニングアドバイザー

大学院学生が「ラーニングアドバイザー」として、図書館を活用した学習方法やレポート・論文作成をサポート。池袋・新座両図書館専用カウンターでの対面相談に加え、オンラインでの相談により、学生の学習や研究に役立つアドバイスを行っています。また、「レポート作成セミナー」「語りの時間」の開催やおすすめ本紹介などの情報発信をしています。

TOPICS
3

様々な講座・講習会の開催

図書館の施設や機能を有効活用するための講座・講習会、海外留学や就職活動のための講座を開催し、図書館の視点から大学生活やキャリアをサポート。



TOPICS

1

スポーツウエルネス学部・研究科 開設の目的

立教大学では、2023年4月に、前身となるコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科において培った知見と実績を基盤に、教育内容を発展・充実させ、「すべての人の生きる喜びのために」を理念とした全く新しい学問領域として、スポーツウエルネス学部・研究科を開設しました。本学部・研究科は、スポーツに興味・関心を抱く優秀な人材を募り、すべての人のウエルネス向上とウエルネス社会の構築に寄与する高度な知見と能力、豊かな人間性を有する人材の育成を目的に、スポーツ・健康科学の枠を超えた多様なカリキュラムを展開しています。

ウエルネスとは？

心身の健康だけでなく、その人の価値観や生きがいなどを含んだ多面的な健康観です。言いかえると、一人ひとりがいきいきと人生を過ごしている状態、あるいはその状態になるために生活習慣を見直す行動をとることです。

TOPICS

2

養成する人間像

1

スポーツウエルネスに関する科学的視点や、基礎知識・基礎理論を総合的・学際的に理解し、社会に応用できる人材

2

人間の適応可能性を高め、高度なアスリートサポートに寄与するための、スポーツウエルネス学の深い理解に基づいた指導ができる人材

3

すべての人が運動・スポーツを通して個々人のウエルネスを向上させ生活を豊かにするための科学的知見と力能を有する人材

4

人間と自然の調和をはかり、幅広い教養と国際的な感覚を身に付け、指導ができる人材

TOPICS

3

3つの学びの領域

「環境・スポーツ教育領域」、「ウエルネススポーツ領域」、「アスリートパフォーマンス領域」の3つの学びの領域により、運動とスポーツの在り方を幅広く学び、人々のウエルネス向上と高度なウエルネス社会の構築について多角的に探究します。また、実習を伴うインターンシップの授業、国際交流や異文化を経験できる海外プログラム等、学生が積極的に現場に出るための授業やプログラムが用意されています。



TOPICS

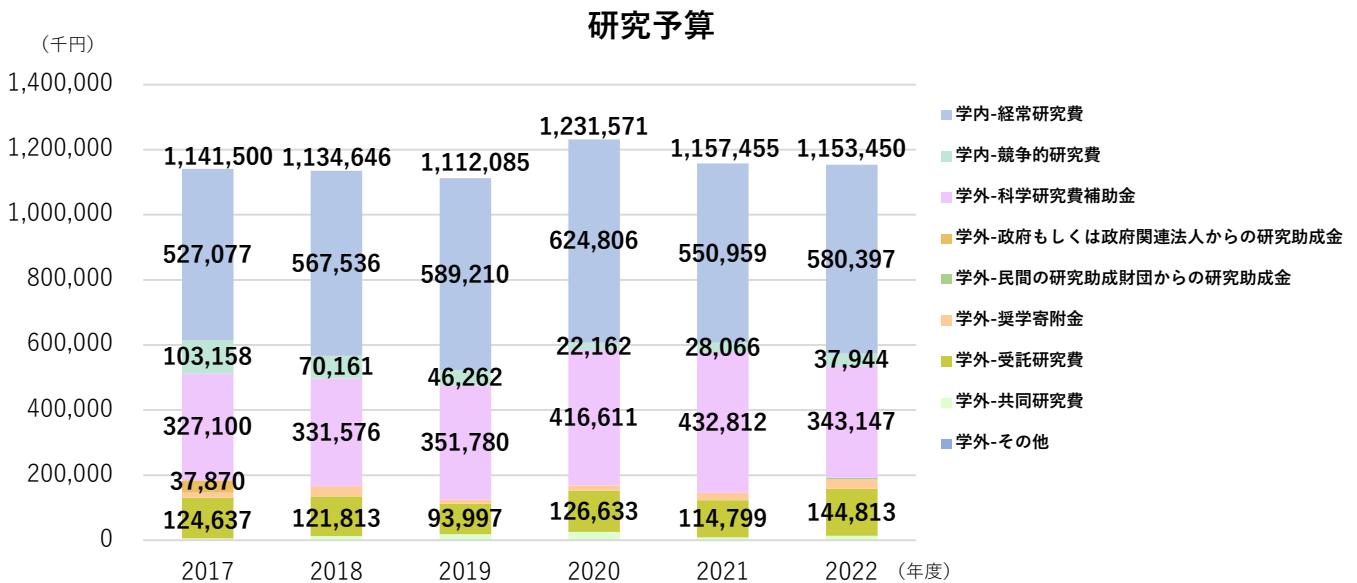
4

2023年度4月の開設に向けて - 2022年度の取り組み -

2022年度は、スポーツウエルネス学部・研究科開設準備室会を開催し、新学部・研究科にかかわる諸課題の検討を行いました。また、スポーツウエルネス学部・研究科開設記念の公開講演会を複数回実施し、スポーツウエルネス学部・研究科の知名度やブランドイメージ向上に努めました。

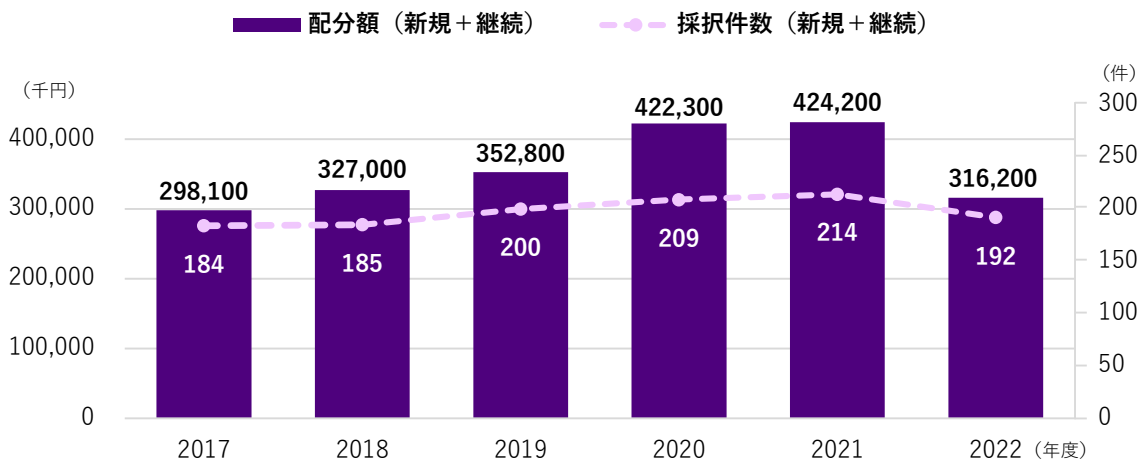
Ⅱ 研究

1. 研究予算



2. 学外研究費

科学研究費助成事業 採択状況 (金額・件数)



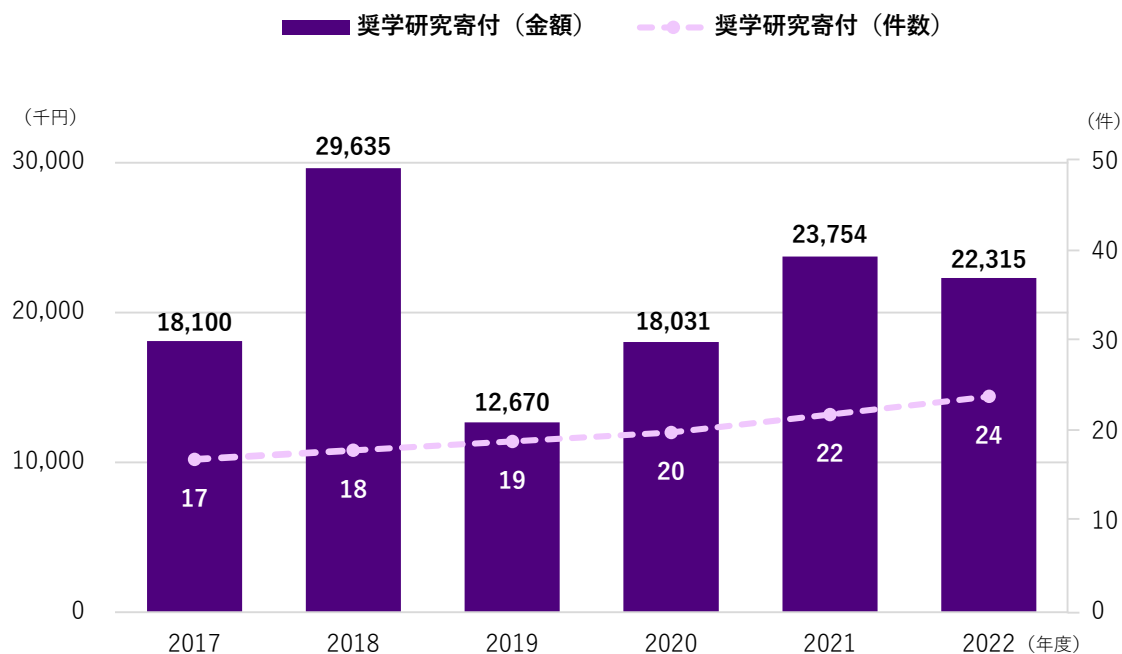
KEY WORDS

科学研究費助成事業の採択

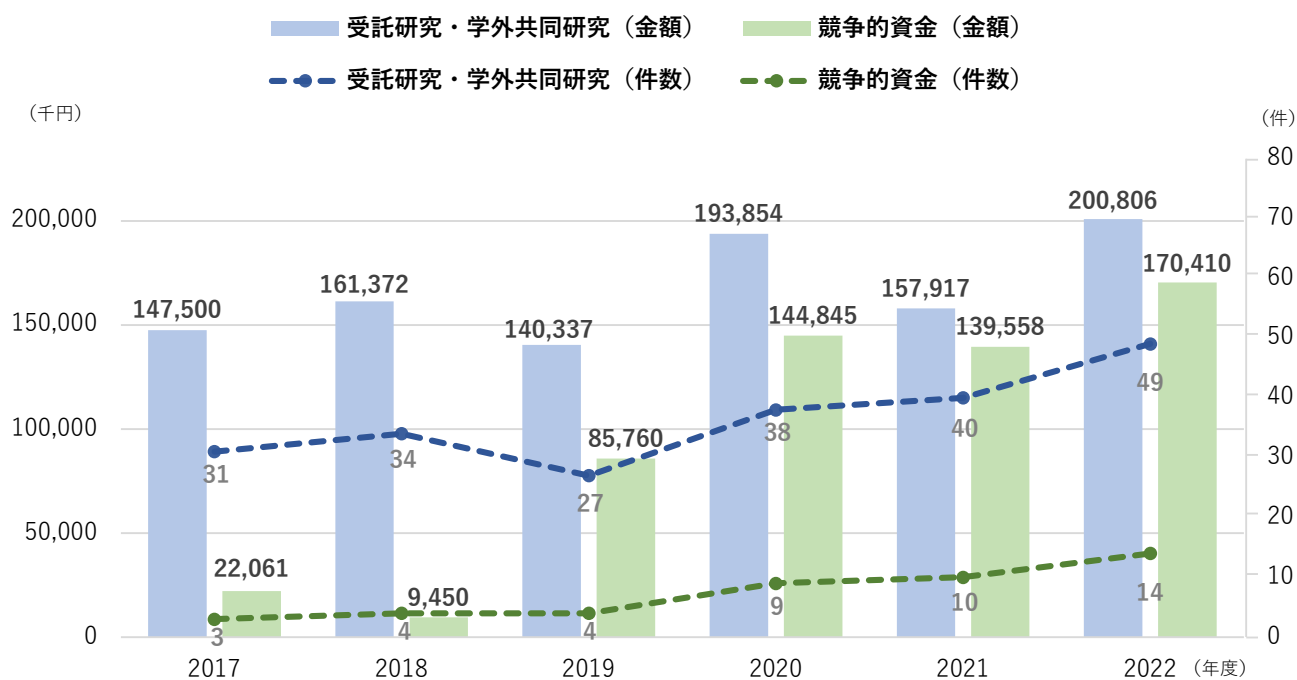
研究代表者が本学に所属する研究課題の件数と、研究費配分額総額の推移を示しています。科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）は、人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」です。

学外資金の獲得に取り組んできた結果が、採択金額や件数の増加に表れているといえます。

奨学研究寄付 受入状況 (金額・件数)



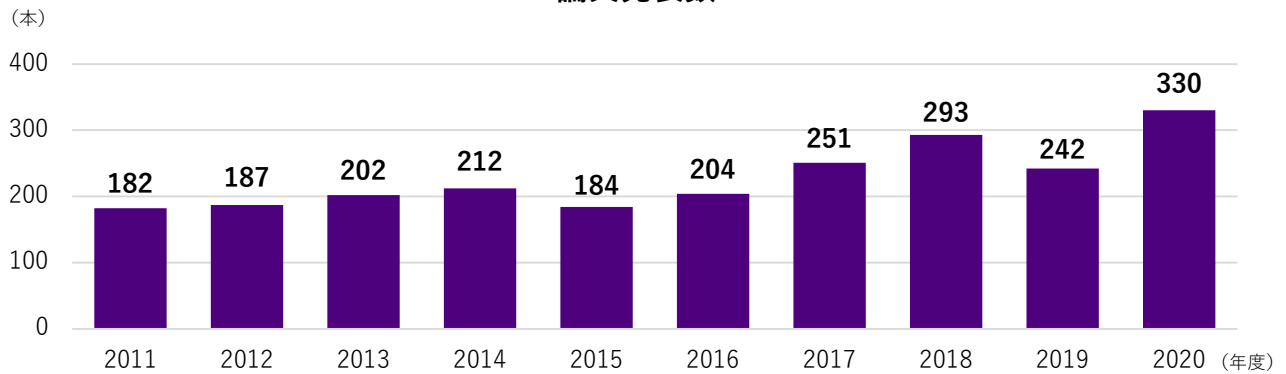
受託研究・学外共同研究 受入状況



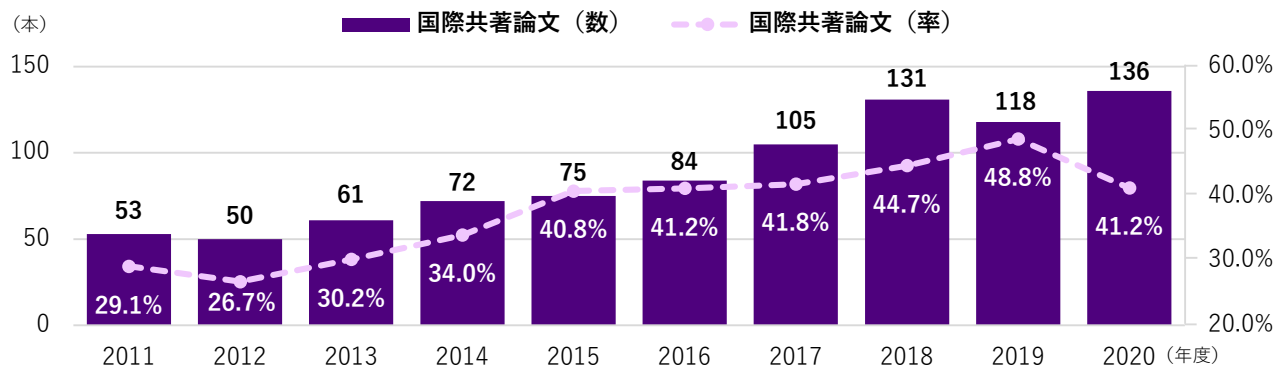
3. 論文

※ ドキュメントタイプ：「Article」「Proceedings Paper」「Review」「Book」「Book Chapter」
※ 十分なデータが反映していると想定される年度10年度分を掲載しています。

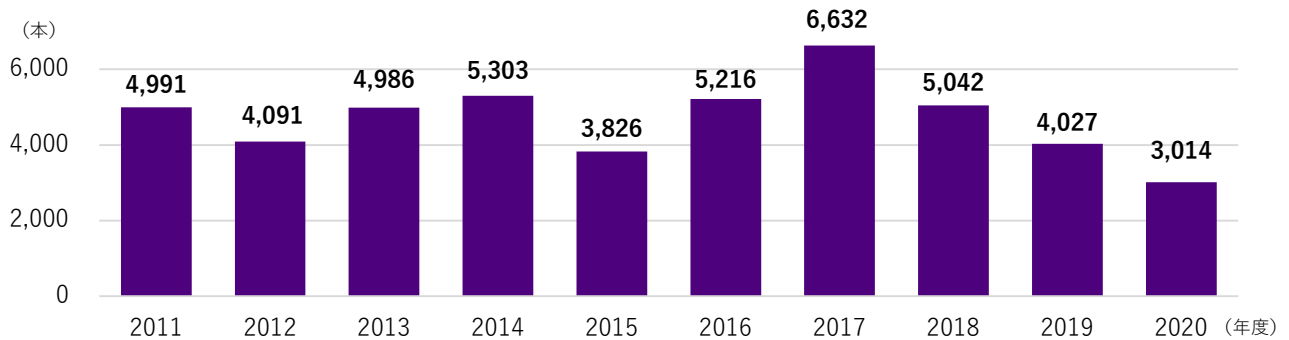
論文発表数



国際共著論文



論文被引用数



KEY WORDS

論文発表数

書誌・引用情報データベースである Web of Science の収録論文。

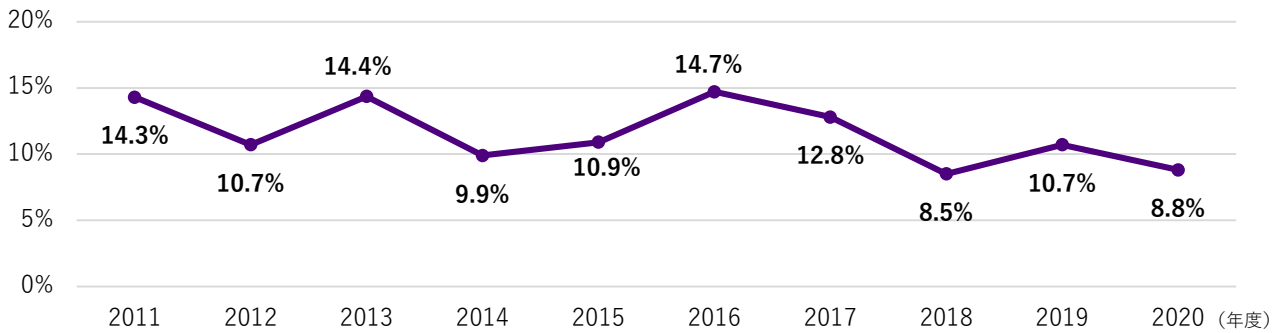
国際共著論文

海外の研究機関に所属する共著者が入っている論文。

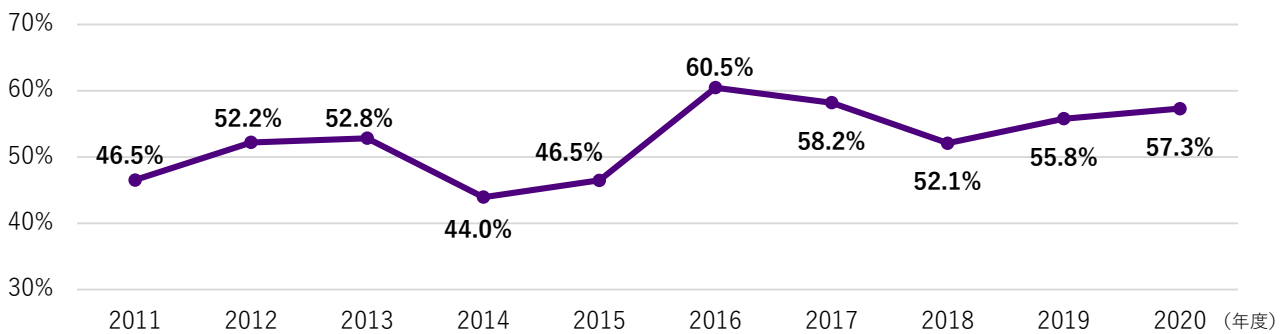
論文被引用数

論文が他の論文に引用された回数を示す数値。

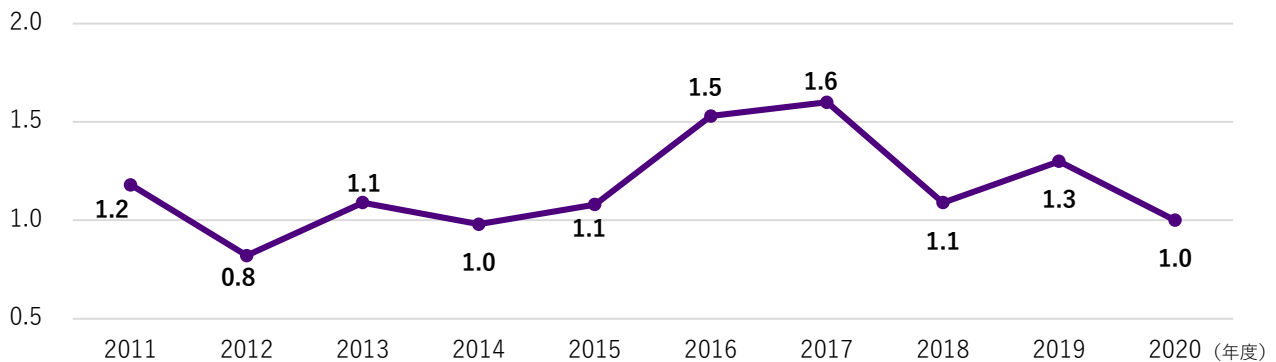
TOP10%論文割合



ジャーナル・インパクトファクター



相対被引用度



KEY WORDS

TOP10%割合

引用数が上位 10 位以内の論文。

ジャーナル・インパクトファクター

雑誌を評価するための尺度で、ある雑誌の X 年のジャーナル・インパクトファクターは、その雑誌に X2 年及び X1 年に掲載された論文が、X 年に引用を受けた平均の回数。このグラフは、ジャーナル・インパクトファクターの上位 25% に入る Q1 雑誌（四分位）割合を示しています。

相対被引用度 (CNCI)

同一分野・出版年の論文集合における相対的な平均被引用数。
同一分野・出版年の論文ごとに、世界平均を 1 となるよう算出されている。1 より大きければ「世界平均より上」となる。

TOPICS

立教大学の研究力

立教大学は、大学の社会的使命である「研究」に積極的に取り組み、日々の研究活動の質・量の両面で活性化を図ることで、学術研究の高度化に寄与し、その成果を学内外に還元することを推進しています。

研究力に関する立教の国内大学順位

論文数	122位
Top10% 論文割合	21位
国際共著論文率	20位
高被引用論文数	108位
ジャーナル・インパクトファクター	20位
相対被引用度 (CNCI)	15位

立教大学は、現在国内大学トップクラスの研究を保持しています。研究力の可視化やトレンド把握、また、世界に向けた研究業績をアピールし、研究ブランド力を向上することで、さらなる研究力向上を目指します。

国内大学
トップクラスの
研究力

トレンド分析
・
研究ブランド力向上

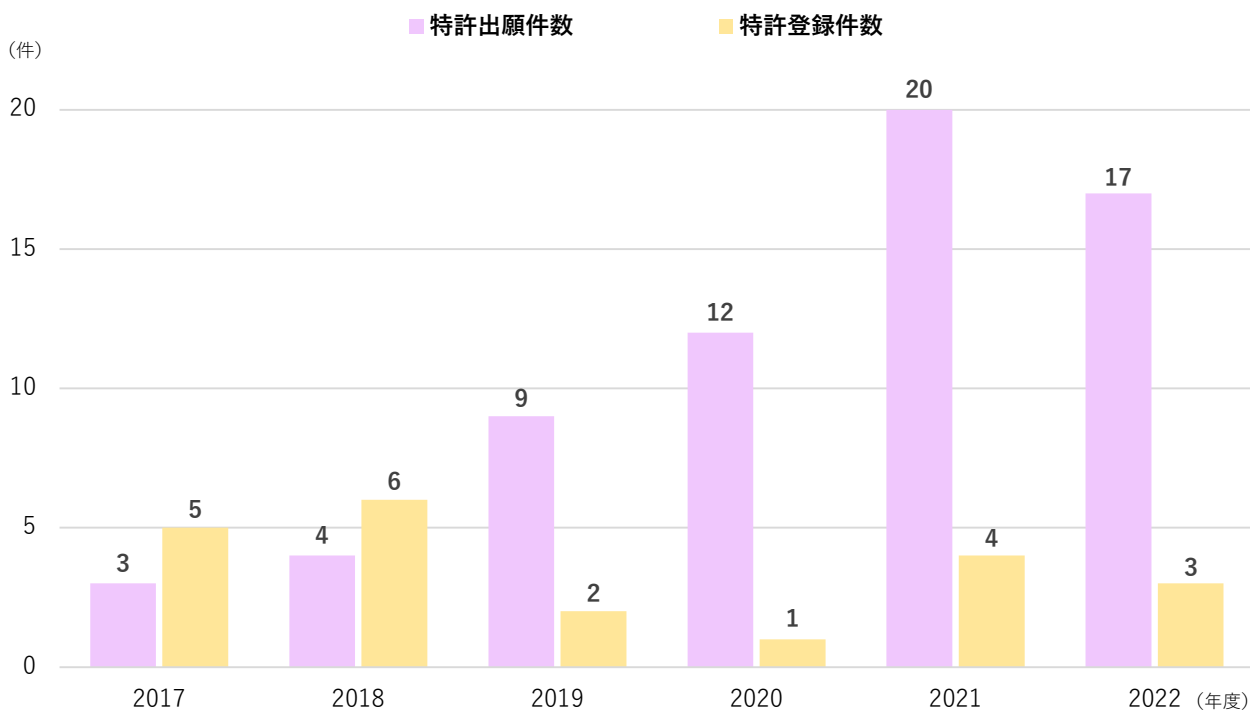
さらなる
研究力向上へ

※データ対象年度：2011～2020年度

※ドキュメントタイプ：「Article」「Proceedings Paper」「Review」「Book」「Book Chapter」 資料：Web of Science

4. 知的財産

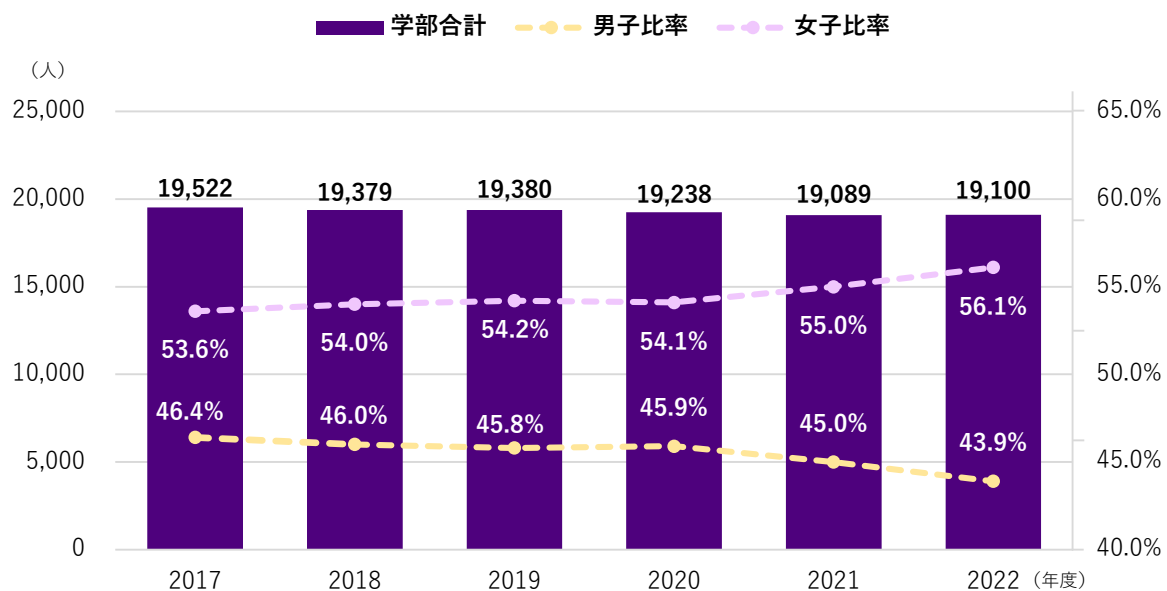
特許出願件数・登録件数



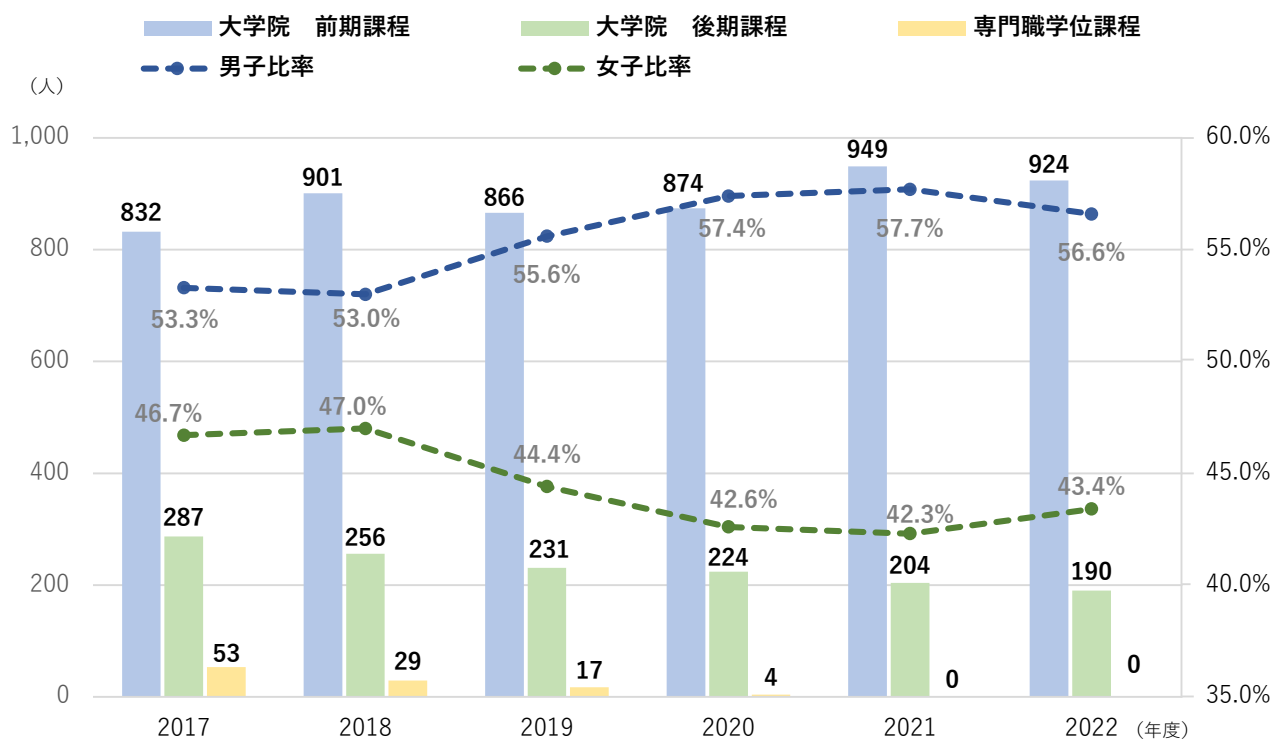
Ⅲ 学生

1. 学生数

学部 学生数 男女比

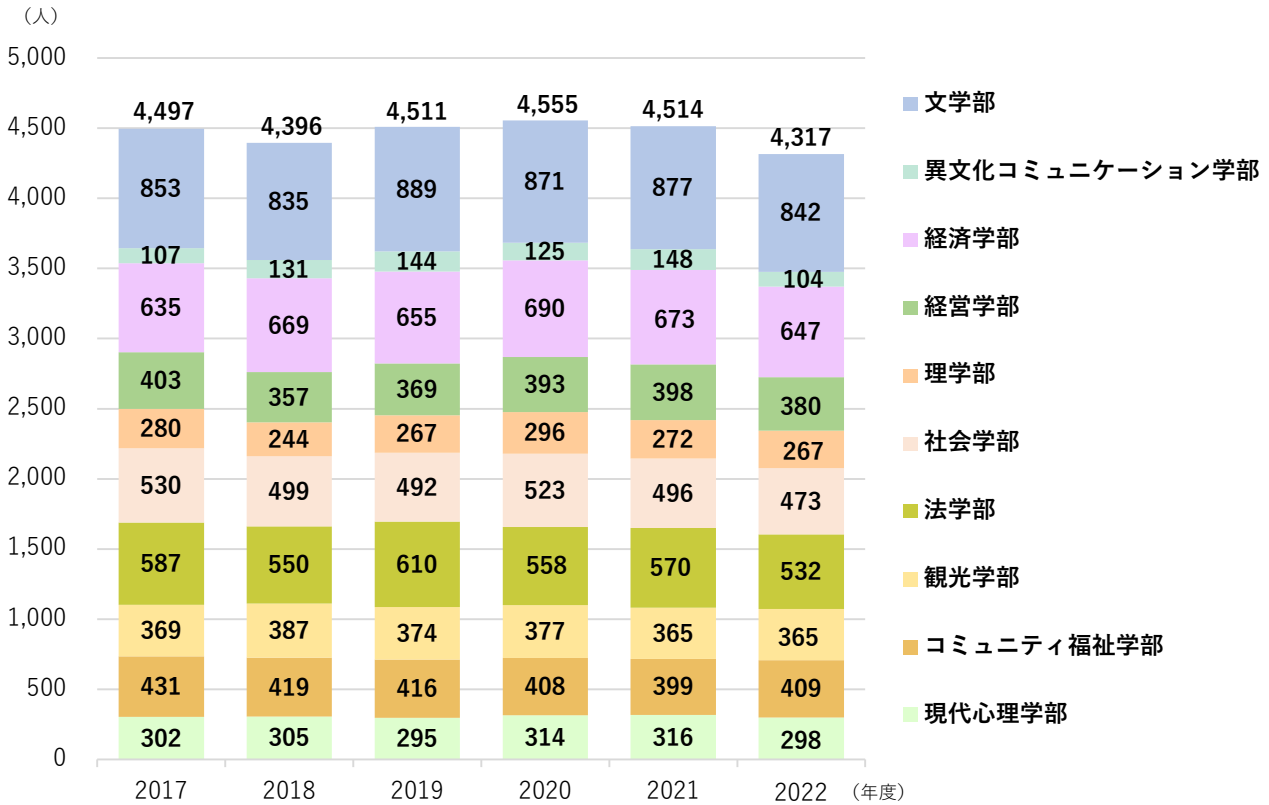


大学院 学生数 男女比

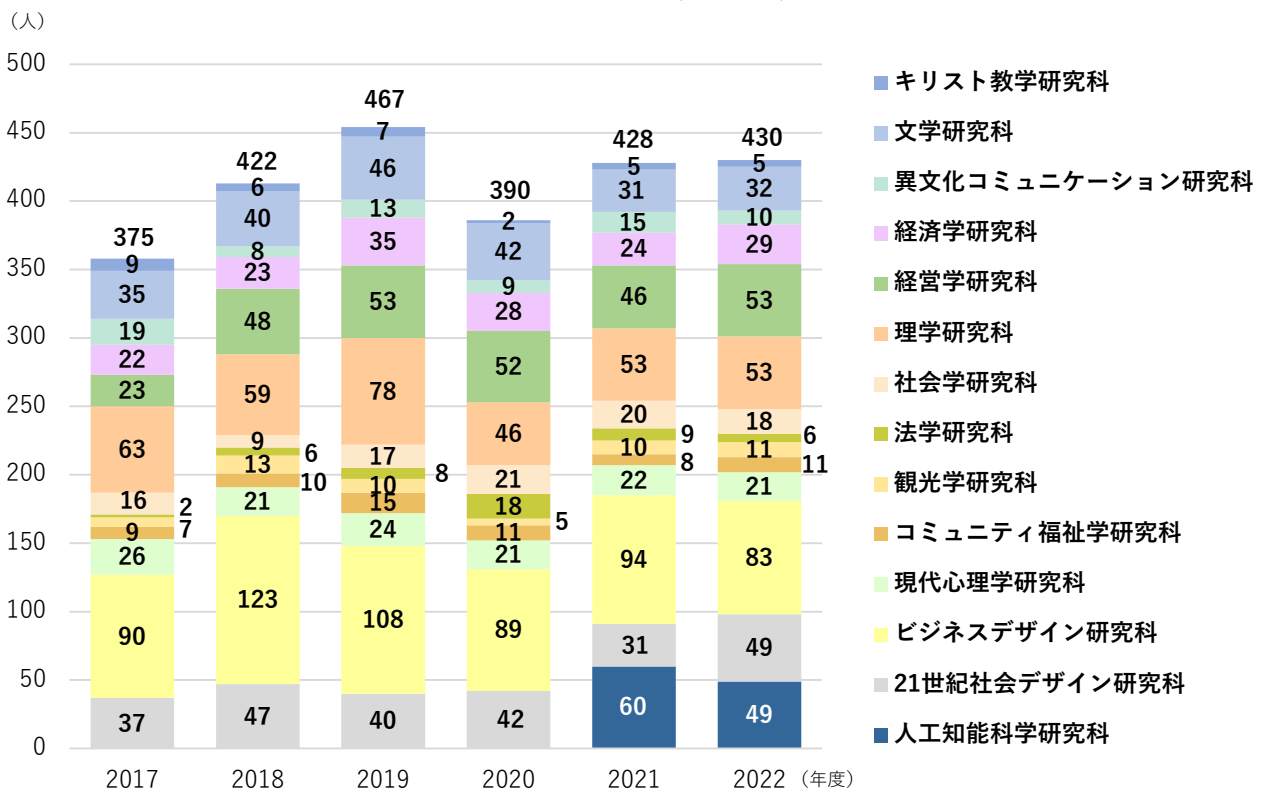


2. 学籍

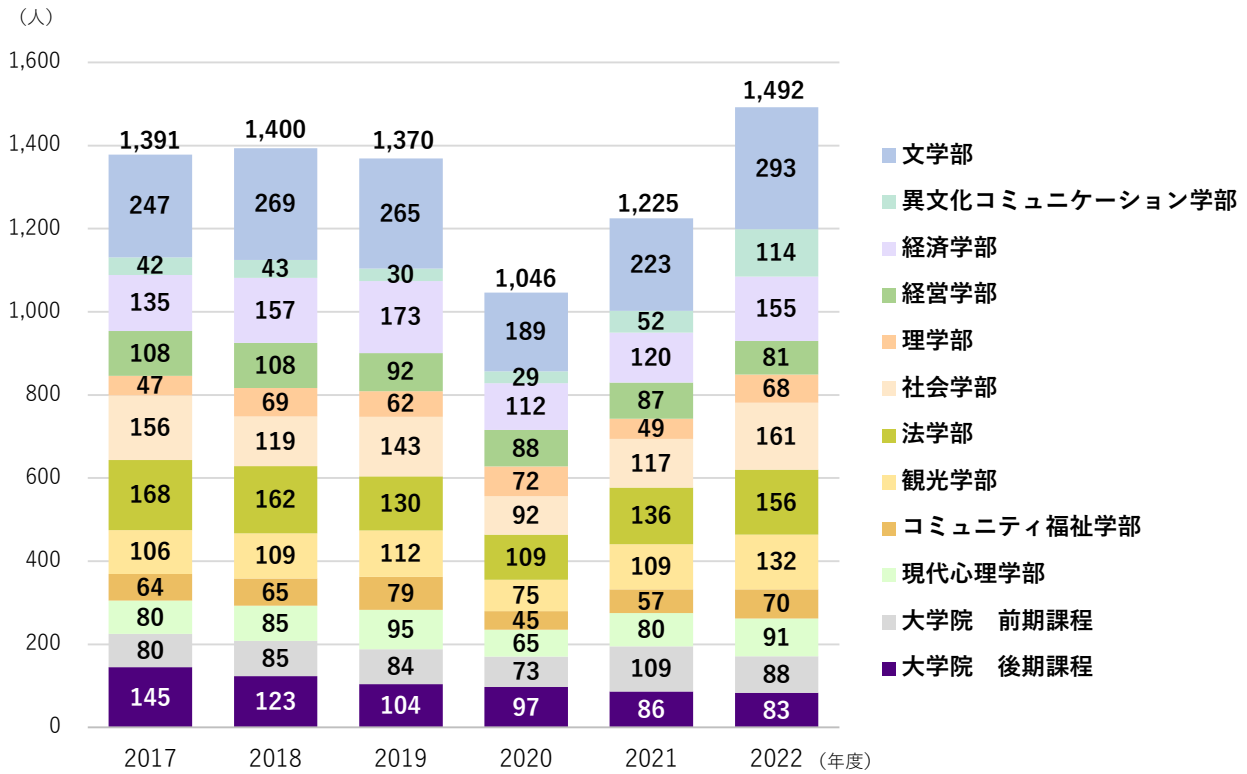
卒業生数（学部）



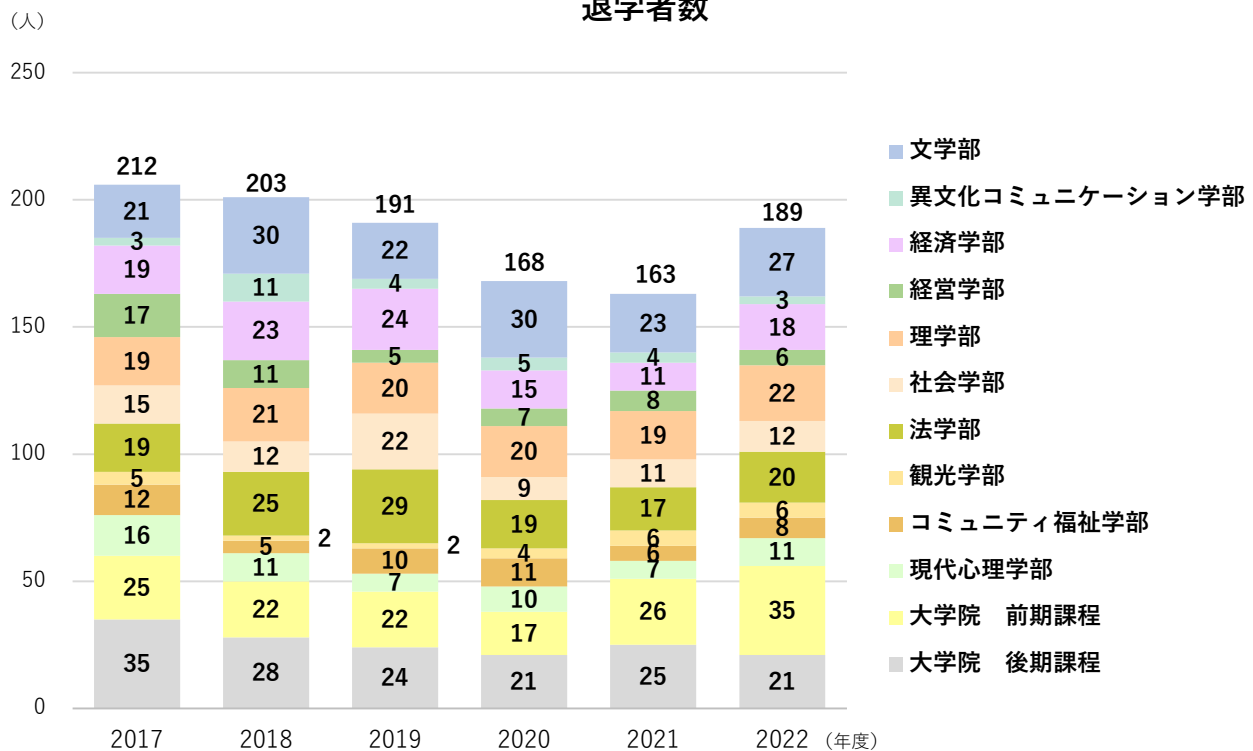
修了者数（大学院）



休学者数

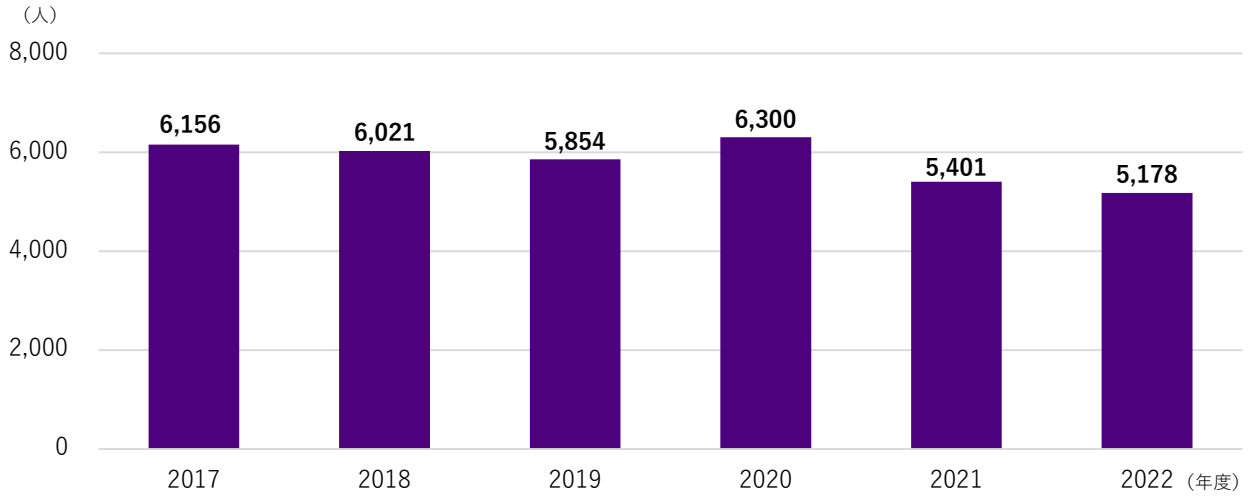


退学者数

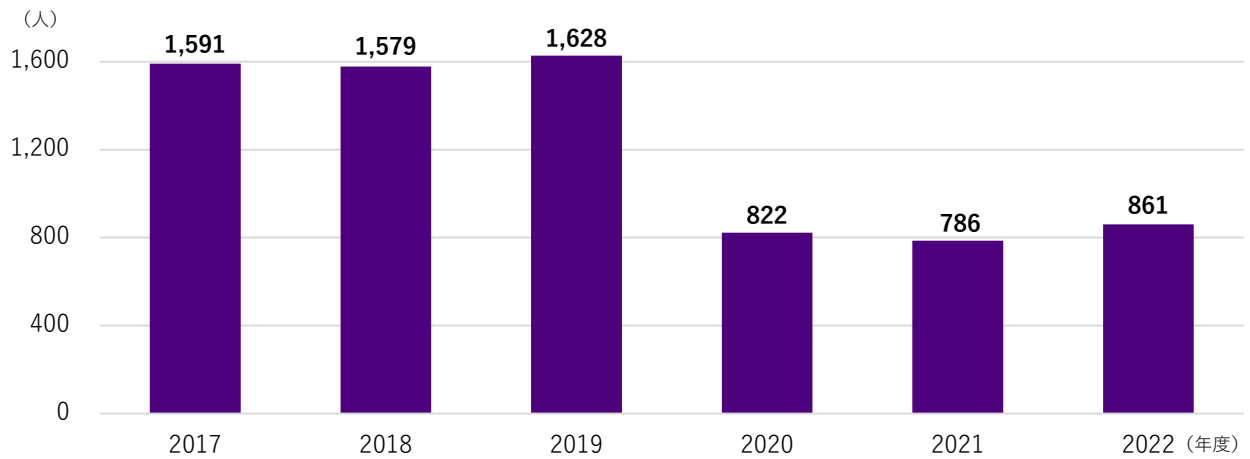


3. 奨学金

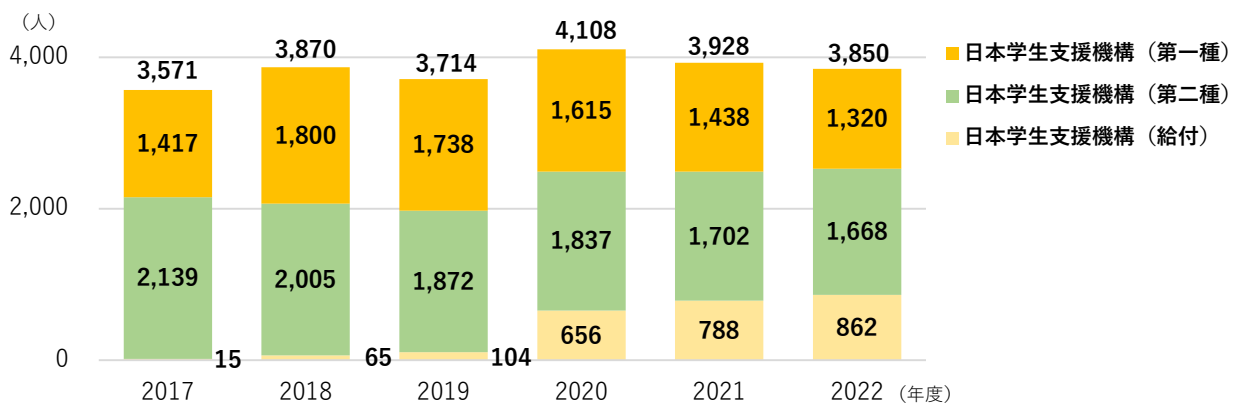
奨学金受給者数（学部）



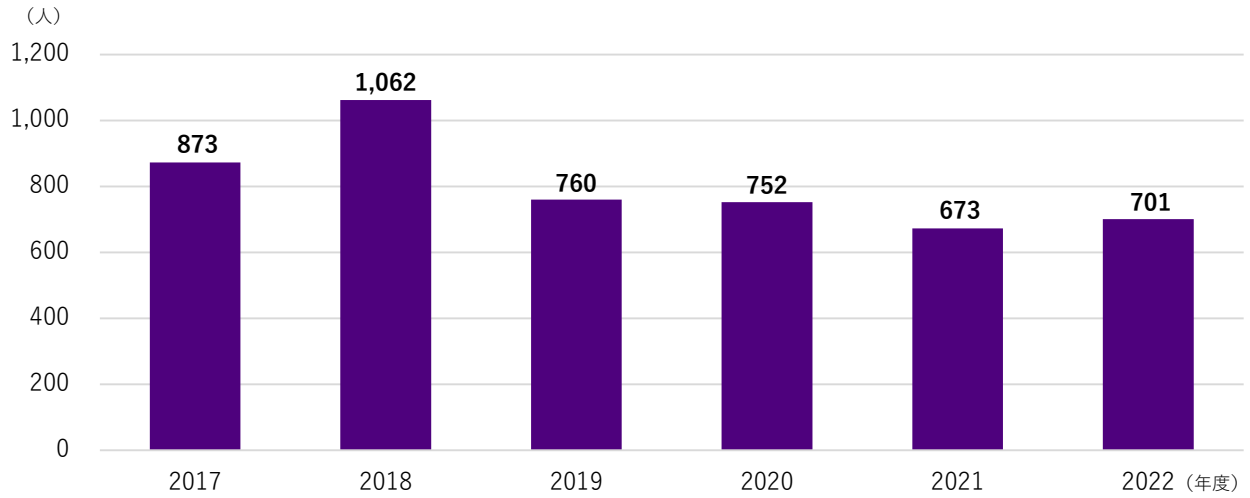
立教大学奨学金受給者数（学部）



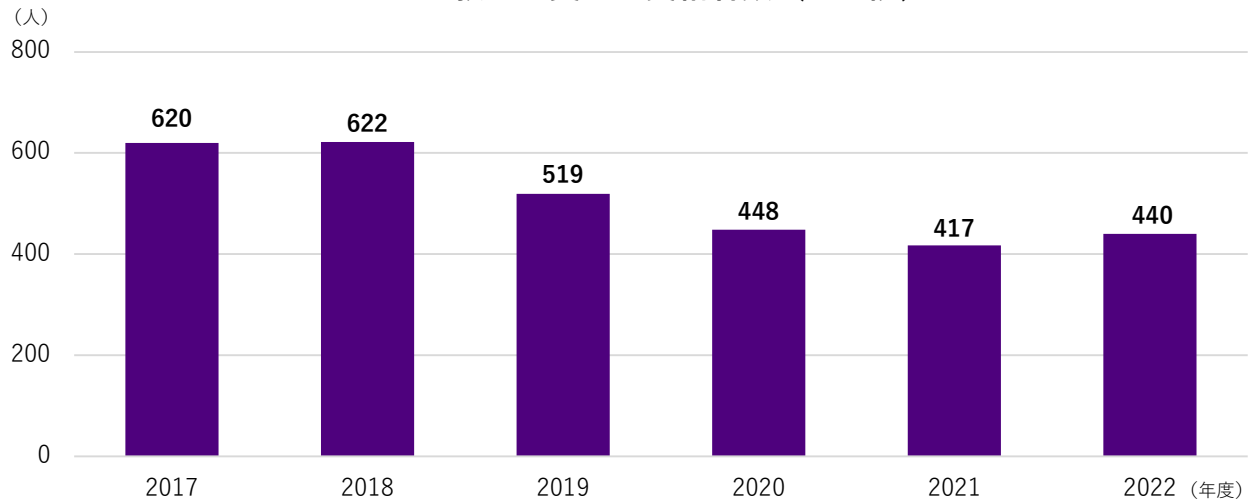
日本学生支援機構奨学金受給者数（学部）



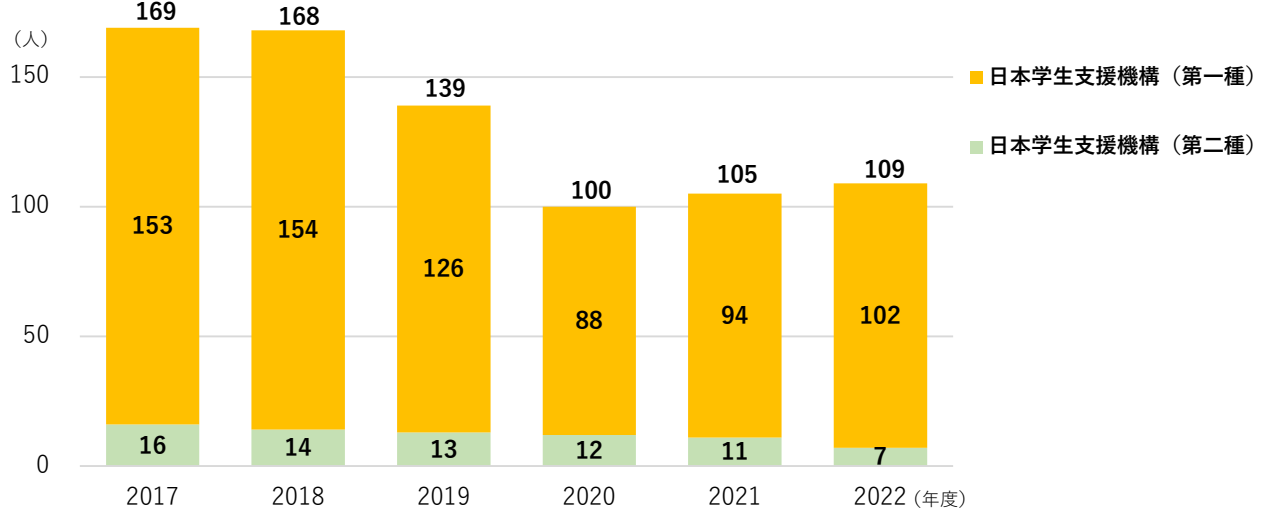
奨学金受給者数（大学院）



立教大学奨学金受給者数（大学院）



日本学生支援機構奨学金受給者数（大学院）



KEY WORDS

立教大学奨学金

立教大学の給付奨学金です。経済的理由で学業継続が困難な学生に対して学業継続の機会を保障することを目的としたもの（奨学目的）と、優れた能力を有する学生に対してその能力をさらに伸ばす機会を提供することを目的としたもの（育英目的）とがあります。

日本学生支援機構奨学金

国の奨学育英事業を行う日本学生支援機構の奨学金です。学生本人に貸し与えられ、卒業後に返還の義務がある「貸与奨学金」と、学生本人に給付され、原則返還の義務がない「給付奨学金」があります。「貸与奨学金」には、返還時に利子のつかない「第一種奨学金」と利子のつく「第二種奨学金」があります。

奨学金受給者数

立教大学で取り扱う奨学金（立教大学の奨学金、国の奨学金「日本学生支援機構奨学金」、民間育英団体の奨学金、地方公共団体の奨学金）の延べ受給者数として集計を行っています。

TOPICS

立教大学の奨学金

■ 経済支援型の奨学金

経済的理由で学業継続が困難な学生に対して学業継続の機会を保障することを目的とした奨学金。

■ 留学支援・学業奨励など育英型の奨学金

留学希望者や成績優秀者など、優れた能力を有する学生に対してその能力をさらに伸ばす機会を提供することを目的とした奨学金。

■ 国による高等教育の修学支援新制度

2020年度より導入された「国による高等教育の修学支援新制度」。立教大学は同制度の対象となる確認大学に申請し、文部科学省より認定を受けています。

■ 被災地の入学者に対する経済支援制度

被災地（災害救助法適用地域）の入学者を対象とした入学金返還および奨学金制度。

■ 家計急変時の奨学金

家計が急変し、学費の納入が困難になった学生を経済的に支援することを目的とした奨学金。

■ 大学院対象の奨学金

大学院学生の勉学・研究活動の奨励もしくはその経済援助を目的とした奨学金。学生本人が国内や海外で開催される学会で発表する等の場合に支給する奨学金制度もあります。

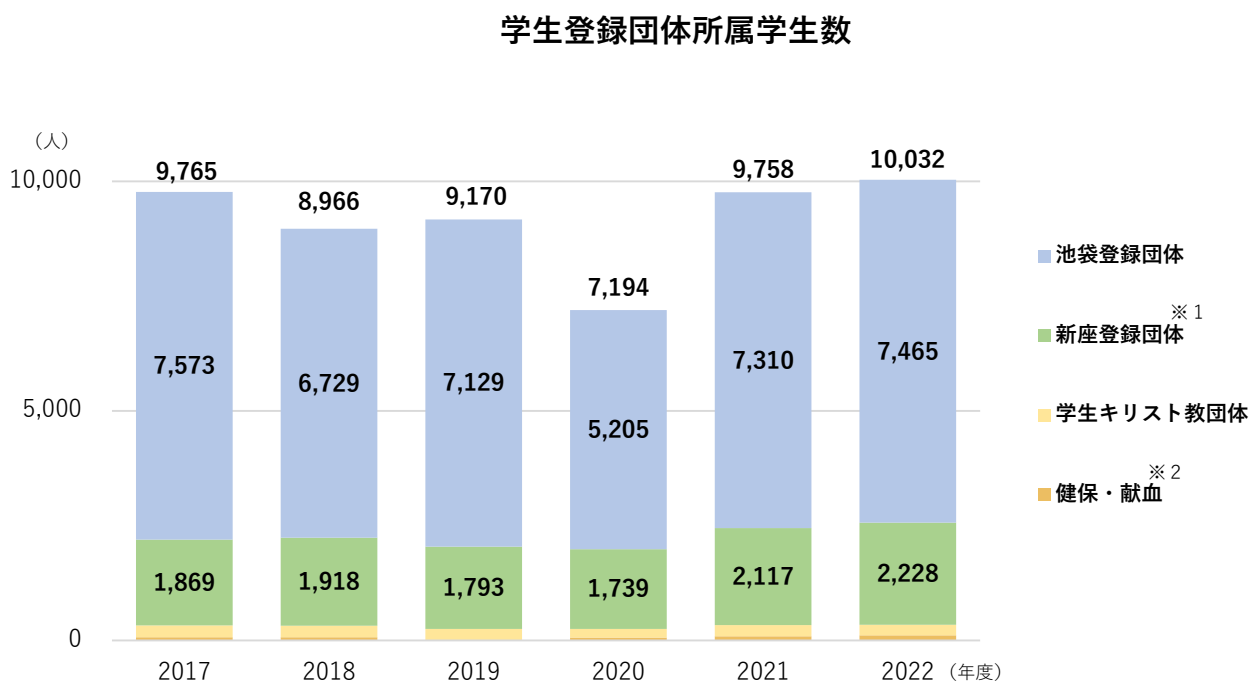
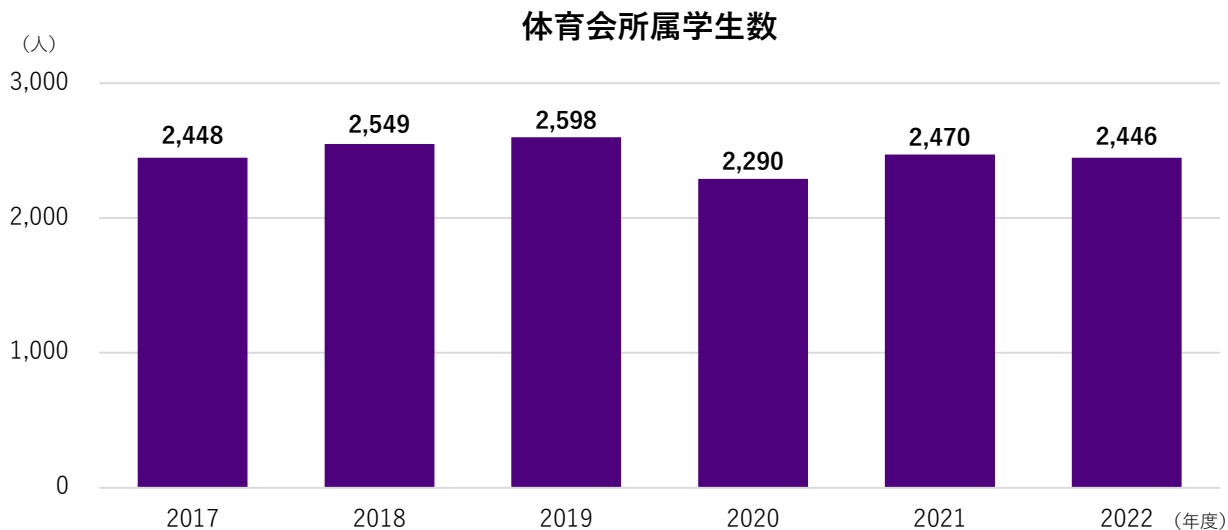
■ 学修環境整備奨学金

COVID-19の状況を鑑みて、2020年度春学期の全ての開講科目をオンラインで実施することを決定しました。それに伴い、オンライン受講を含めた学修環境を整え、安心して授業を受けられるための措置として、全ての学生に対して一律5万円の「学修環境整備奨学金」を給付することを決定しました。

※2020年度の奨学金受給者数のグラフに、COVID-19によるオンライン授業のための特別措置として全学生に給付された学修環境整備奨学金の人数は含んでいません。

4. 課外活動

大学公認団体としては、体育会（51部）・学生キリスト教団体・登録団体等に所属する約200余りの団体があり、学生の自主的な運営によって学内外で活発に活動しています。



※1：学生キリスト教団体・・・チャペルを拠点として活動する9つの公認サークル。
礼拝にかかわる活動や子どものための日曜学校、ボランティア活動、クリスマス行事等を通して、
建学の精神を学び、実践しています。

※2：健保・献血・・・学生健康保険組合・献血の会

TOPICS

「立教箱根駅伝 2024」事業

TOPICS

1

「立教箱根駅伝 2024」事業

立教大学では、創立 150 周年記念事業の 1 つとして 2024 年の箱根駅伝第 100 回記念大会に出場することを目標に、2018 年より「立教箱根駅伝 2024」事業に取り組んできました。これまで、監督の招聘や、新たな寮を建設する等、箱根駅伝本選出場に向けての強化支援を行ってきました。

紫聖寮



TOPICS

2

55 年ぶりの箱根駅伝出場へ

総合 6 位

第 99 回箱根駅伝予選会

1 時間 3 分 13 秒

2022 年 10 月 15 日 (土)

東京・陸上自衛隊立川駐屯地～立川市街地～昭和記念公園

事業開始以降、徐々に力をつけ、立教大学体育会陸上競技部男子駅伝チームは、2022 年 10 月 15 日 (土) に開催された第 99 回箱根駅伝予選会で総合第 16 位の成績を収め、目標年である 2024 年より 1 年早く、また、大会史上最長の” 振り返り ”となる 55 年ぶりの復活出場権獲得を果たしました。



©Getsuriku

総合 18 位

第 99 回箱根駅伝

11 時間 10 分 38 秒

2023 年 1 月 2 日 (月)、1 月 3 日 (火)

東京大手町～箱根芦ノ湖間

2023 年 1 月 2 日 (月)、3 日 (火) に開催された第 99 回箱根駅伝に立教大学体育会男子駅伝チームが出場し、全中継所で 1 本の襷をつなぎ、総合 18 位という成績を収めました。

【往復総合公式記録】

総合成績：18 位 11 時間 10 分 38 秒

往路順位：20 位 5 時間 38 分 51 秒

復路順位：16 位 5 時間 31 分 47 秒



「江戸紫」の襷

立教大学体育会陸上競技部の襷の色は「江戸紫」。

金と白の糸で百合と大学名を刺繍しており、立教の校旗と同じ配色としていました。「江戸紫」は江戸時代、武蔵野に自生する紫草を使って江戸で染めたことから、この名がついたとされています。(陸上競技部 OB の口伝)

立教大学校歌「栄光の立教」の歌詞にもある「紫匂える武蔵野原」の「紫」は、「江戸紫」の染料であった紫草がかつて武蔵野に咲き誇っていたことを表しています。この紫草は環境問題により絶滅に瀕しており、復活が期待されるという点についてもストーリー性があり、その染料の色は本学男子駅伝チームの襷の呼称に相応しいものとして使用されています。



主な課外活動実績（2017年度～2020年度）

年度	団体名	実績
2017	野球部	2017年度東京六大学野球春季リーグ戦 優勝
	野球部	第66回全日本大学野球選手権大会 優勝
	ボート部	第95回全日本選手権大会 男子舵手なしフォア第3位 女子エイト第8位
	モーターボート・水上スキー部	第62回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会 男子総合優勝 女子総合優勝
	チアリーディングクラブBEAMS	第11回チアリーディングアジアインターナショナルオープンチャンピオンシップ 自由演技競技 Division.1 総合第7位 自由演技競技 Division.2 総合第3位
	ソフトテニス愛好会DASH	全日本学生ソフトテニスオープン選手権大会 女子第1位 男子第3位
2018	ボート部	第45回全日本大学選手権大会 男子舵手なしフォア第2位
	ボート部	第40回全日本軽量級選手権大会 女子シングルスカル 第2位
	モーターボート・水上スキー部	第63回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会 女子総合優勝（3年連続） 男子総合準優勝
	ソフトテニス部	第72回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会 女子団体戦 準優勝
	スケート部	第91回日本学生氷上競技選手権大会 ショートトラックスピードスケート競技 男子500m 第1位 男子1,000m 第1位
2019	ボート部	第97回全日本選手権大会 女子エイト 優勝 男子舵手なしフォア 第3位
	ボート部	第46回全日本大学選手権大会 女子ダブルスカル 優勝 男子舵手つきフォア 第2位
	馬術部	第69回全日本学生賞典障害馬術競技大会 個人 優勝
	剣道部	第38回全日本女子学生剣道優勝大会 創部初全国優勝
	女子ラクロス部	第11回ラクロス全日本大学選手権大会 創部初全国優勝
	陸上競技部	2019日本学生陸上競技個人選手権大会 女子400m 第3位
	水泳部	2019ジャパンパラ水泳競技大会 100m背泳ぎ（S8クラス）・100m平泳ぎ（SB7クラス）優勝
2020	ボート部	第98回全日本選手権大会 男子舵手なしフォア 第3位 女子エイト 第3位
	ボート部	第47回全日本大学選手権大会 男子舵手なしフォア 優勝 女子舵手付きフォア 第2位
	モーターボート・水上スキー部	第65回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会 男子総合優勝 女子総合優勝
	馬術部	第66回全日本学生賞典馬場馬術競技大会 団体第3位
	ローラーホッケー部	第62回全日本学生ローラースケート選手権大会 女子ホッケー部門 優勝
	陸上競技部	第97回東京箱根間往復大学駅伝競走 関東学生連合チーム選出 個人
	スケート部	2020全国大学ショートトラックスピードスケート競技会 女子500m 女子1000m 個人2位



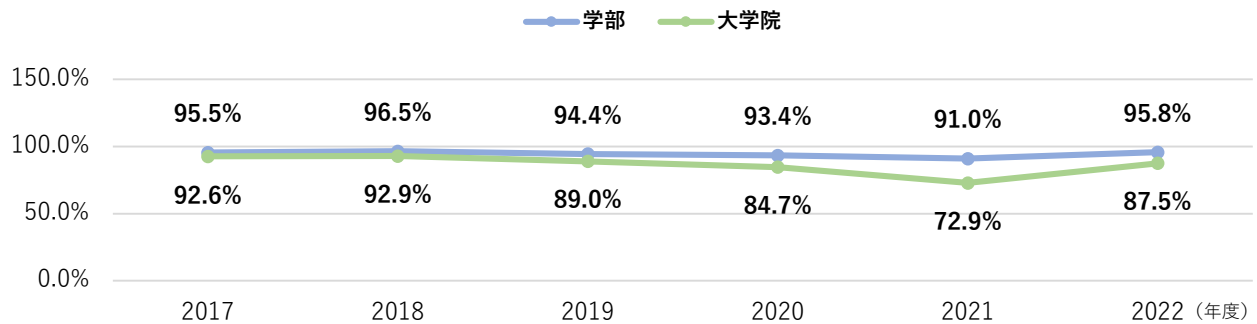
主な課外活動実績（2021年度～2022年度）

年度	団体名	実績
2021	ボート部	第99回全日本選手権大会兼第48回全日本大学選手権 男子フォア 優勝 女子舵手付フォア 準優勝
	モーターボート・水上スキー部	第66回全日本学生水上スキー選手権大会 男子総合優勝 女子総合準優勝
	洋弓部	第33回全日本学生フィールドアーチェリー選手権大会 男子リカーブ部門 個人1位
	自転車競技部	全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ2021
	陸上競技部	第98回東京箱根間往復大学駅伝競走 関東学生連合チーム選出 個人 ホクレン・ディスタンスチャレンジ2021 女子1500m 個人3位
2022	ボート部	第100回全日本選手権大会 女子エイト 3位 第49回全日本大学選手権大会 女子舵手付きフォア第5位
	体操競技部	第75回全日本新体操選手権大会 女子団体総合 第5位、種目別決勝ボール2・リボン 3第4位
	空手部	第66回全日本大学空手道選手権大会 女子団体組手の部 第3位 第58回東日本大学空手道選手権大会 女子団体組手の部 準優勝
	モーターボート・水上スキー部	第67回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会 男子団体総合優勝、女子団体総合 3位
	ローラーホッケー部	第64回全日本学生ローラースケート選手権大会 ホッケー部門 男子優勝、女子準優勝
	女子ラクロス部	第13回ラクロス全日本大学選手権大会 ベスト 4
	馬術部	2022年度全日本学生馬術大会 第7位
	ソフトテニス部	令和4年度関東学生ソフトテニス秋季リーグ戦 女子2部リーグ優勝（1部昇格）
	レスリング部	東京都知事杯令和4年度東日本学生レスリングリーグ戦 2部リーグ優勝（1部昇格）
	ヨット部	第87回全日本学生ヨット選手権大会 第8位
	剣道部	第41回全日本女子学生剣道優勝大会 女子団体の部ベスト 8
	女子バスケットボール部	第74回全日本大学バスケットボール選手権大会 ベスト 16
	少林寺拳法部	第56回少林寺拳法全日本学生大会 女子団体の部 第6位
	バドミントン部	関東大学バドミントン秋季リーグ3部A 第1位（2部昇格）
	ホッケー部女子	第21回全日本大学ホッケー大会 準優勝
	自動車部	2022年度全日本学生自動車運転競技選手権大会 女子団体の部第3位・男子団体の部第4位
	サッカー部	2022年度 第55回東京都大学サッカーリーグ戦 1部 準優勝 関東大学サッカーリーグ戦 2部昇格決定
陸上競技部	第99回東京箱根間往復大学駅伝競走 第18位	

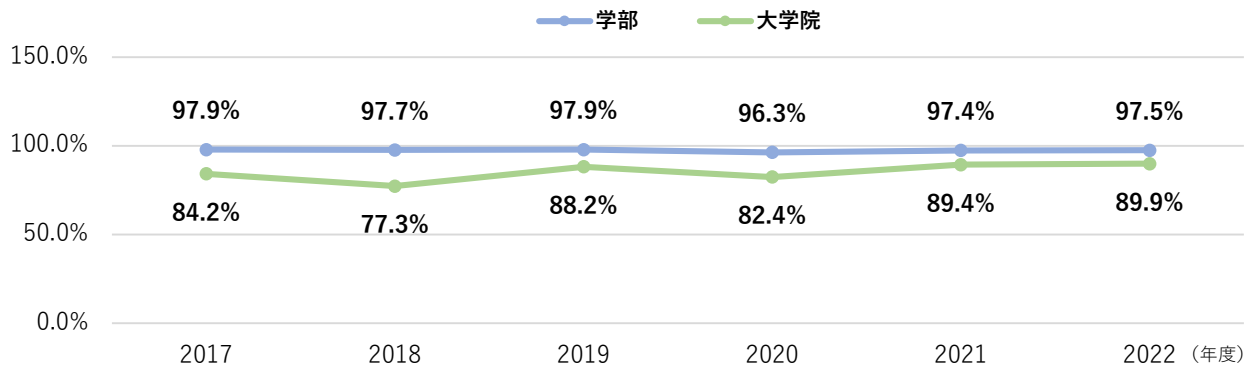


5. 進路

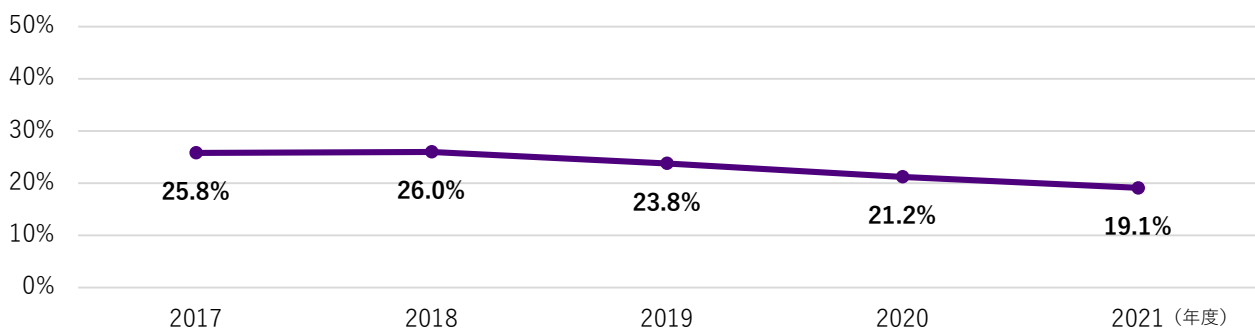
進路決定率



就職率



有名企業就職率[※]



※有名企業・・・東洋経済新報社が、日本を代表する企業をはじめ、日経平均株価指数の採用銘柄や、企業規模、知名度、大学生の就職人気企業ランキングなどを参考に選定。2021年度（2022年卒）が最新のデータとなります。

立教大学は、キャリアを「仕事・就職を含めた、自立した個としての自分らしい人生の在り方」と捉えており、就職＝ゴールだとは考えていません。学生が卒業後の人生において、自らの意思によって将来を見据え、主体的に考えながら、自分でキャリアを切り拓いていく力が大切だと考えています。そのため、学生が多くの経験や多様な価値観に触れ、「学ぶ力」「考える力」を身に付けられるキャリア支援を行っています。

TOPICS

1

学生の視野を広げるキャリア支援

社会には、多くの業界・企業がありますが、学生が知っているのはごく一部です。一方、やりたいことは知っていることの中からしか生まれません。目まぐるしく変化する社会構造を理解し、さまざまな業界や企業について知ることで、働きたい業界や企業が見えてきます。そのため、キャリアセンターでは、さまざまなネットワークを活用して社会との接点を増やし、学生が視野とキャリアの可能性を広げることができるようなプログラムを学生の成長段階に合わせて展開しています。

①「社会を知る講座」

ビジネスの最新トレンドをテーマに、企業・団体に活躍する社会人によるパネルディスカッションを通して、新しく生まれるビジネスや既存の価値観の変化を知り、5年後・10年後の働き方について考えます。

②「立教型インターンシップ・仕事体験」(2・3年次生対象)

学生たちが社会との接点を持ち、実際に現場に立つことで、働くことやキャリアについて考えるために、キャリアセンターが、企業・行政・団体などと連携して実施する立教生のためだけの就業体験型インターンシップです。

③「スタディツアー」(1・2年次生対象)

企業を訪問し、業務内容を体験するビジネスゲームや社員との懇談などを通し、働くことやキャリアについてのイメージを醸成し、自身の生き方や働き方を考える契機とします。



スタディツアーの様子

TOPICS

2

卒業生サポート

社会で活躍する約4万人の卒業生が、プログラムへの協力や、個別の卒業生訪問などを通して、後輩たちのキャリア形成を支援しています。

①「RIKKYO 卒業生訪問会」

年5回開催。毎回20名ほどの卒業生が、後輩のために学生生活から就職活動、働き方までNG質問ナシで語ります。さまざまなキャリアの先輩たちの本音聞き、たくさんのヒントを得て、視野を広げられます。

②「立教グローバル/ローカルキャリア支援ネットワーク」

グローバルあるいはローカルな視点から、本学および本学学生を支える新たな支援層集団として、学生のキャリア形成に対する助言や支援を行っています。



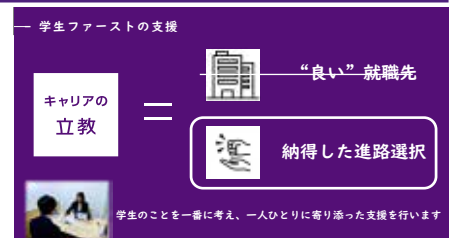
RIKKYO 卒業生訪問会の様子

TOPICS

3

学生ファーストの支援

前述の通り、キャリアの立教では、就職＝ゴールだとは考えていません。そのため、“良い”就職先を見つけるためではなく、学生自身が納得した進路選択をできるように、学生のことを一番に考え、一人ひとりに寄り添った支援を行います。



IV 社会連携・社会貢献

1. ボランティア

ボランティアセンターの活動内容

活動項目	内容
学生個々の支援	ボランティア相談、ボランティア・カフェの開催、海外ボランティア講座
多様なニーズに対応した体験機会の提供	1dayボランティア（スポーツ・まちづくり）
独自のプログラムや学びの場の提供	立教キャンプ、ボランティア関連授業、学生コーディネーター、バリアフリープロジェクト
ボランティアサークルの支援	ボランティアオリエンテーション、立教生ボランティア活動報告会
立教大学他部局との協働	さまざまな学生支援部局やRSLとの協働・連携
地域連携	地域（池袋・新座）との連携

各種の立教キャンプ

キャンプ名	主催	開始年度	内容
奥中山ワーク・キャンプ	チャプレン室	1980年	岩手県の酪農地帯にある知的しょうがい者施設でのワーク・キャンプ
林業体験	学生部	2003年	岩手県陸前高田市での林業体験
農業体験 in 山形県高畠町	ボランティアセンター	1989年	山形県高畠町での有機農業体験
榛名ボランティアキャンプ	チャプレン室	1986年	群馬県にある高齢者福祉施設での生活を通して、人の命、人生、信仰心に触れるキャンプ
一貫連携教育・立教学院清里環境ボランティアキャンプ	ボランティアセンター	2004年	立教学院の小学生・中学生・高校生・大学生が清里に集い、ともに環境維持活動を行う
日韓キャンプ	チャプレン室	2001年	韓国の学生とともに農村地帯やソウルを訪れ、人々の生活、文化や歴史への認識を深める

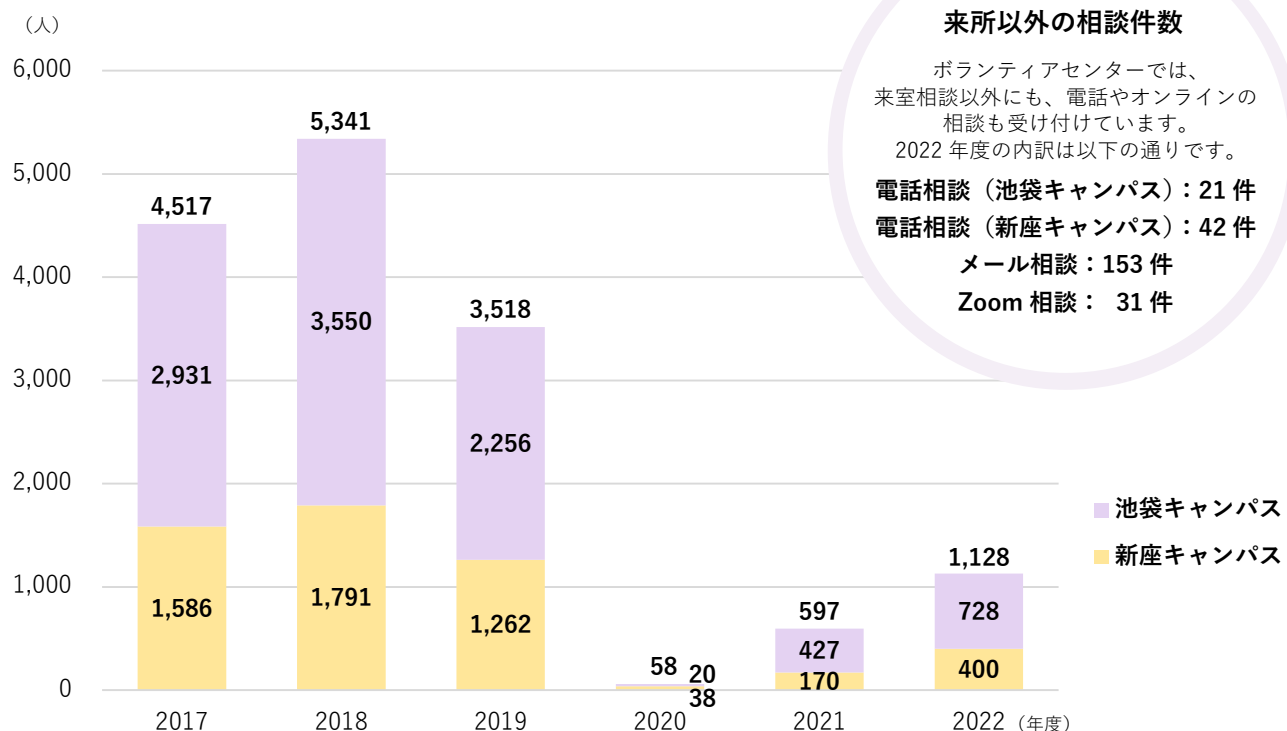
KEY WORDS

ボランティア

ボランティアセンターは、キリスト教に基づく建学の精神を具体化したものの一つである「共に生きる」ことを礎に、学生が他者との関わりや社会的な課題に取り組むことを通して、人間としての成長とより良き社会の実現を目指す意思の育成を図っています。

また、各種立教キャンプや自治体と連携した活動でも、生きた現場に触れることや、さまざまな他者に関わることを通して総合的、実践的に学ぶことができます。

ボランティアセンター来所者数

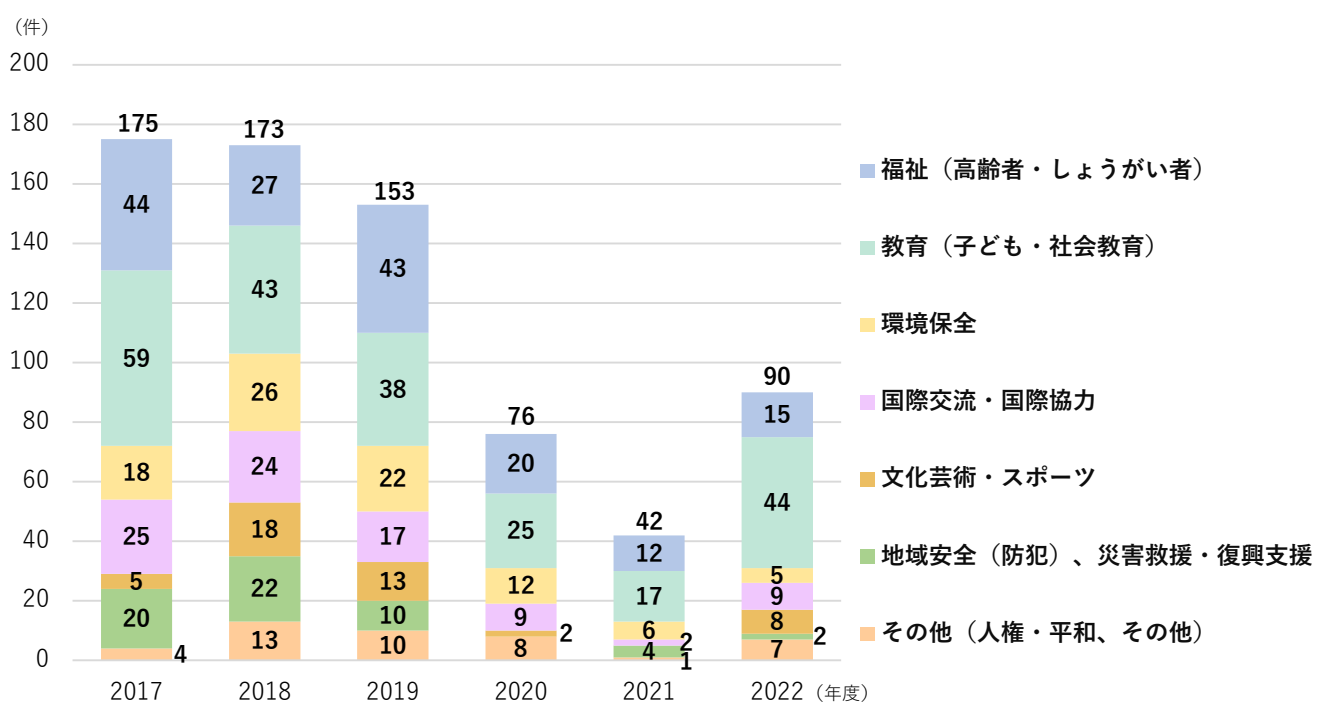


来所以外の相談件数

ボランティアセンターでは、来室相談以外にも、電話やオンラインの相談も受け付けています。2022年度の内訳は以下の通りです。

電話相談（池袋キャンパス）：21件
 電話相談（新座キャンパス）：42件
 メール相談：153件
 Zoom相談：31件

ボランティア募集件数



※：COVID-19の影響を受け、2020年度、2021年度はボランティアセンターへの来所者数やボランティアの募集件数が減少しておりますが、2022年度が90件まで回復しました。

2. 産学官連携事業例（受託事業）

年度	委託元	事業名	委託先
2021 年度	フェニックス リゾート(株)	ツーリズム（ホテル事業、スポーツ観光、農業との連携） を軸とした地域創成及び人材育成等を通じた地域社会発展 に関する実証事業(2021年4月1日～2022年3月31日)	観光学部
	青森県八食センター	食農ツーリズムによる地域活性化と市場創造に関する 実証事業	観光学部
	千葉県野田市	学生による自転車を活用したまちづくり検討業務	観光学部
	(株)武蔵野銀行	産学連携プロジェクト (地域活性化のための観光MAP作成等)	観光学部
	長野県飯田市	遠山郷ESD推進支援業務委託	ESD研究所
	(株)日本経済新聞社	ソーシャルデザイン集中講座2021	21世紀社会デザイン研究科
	愛媛県東温市	東温市中小零細企業現状把握調査制度設計委託業務	社会情報教育研究センター
	岩手県陸前高田市	中学生イングリッシュ・キャンプ運営業務	異文化コミュニケーション学部
	飯能信用金庫	はんしんビジネスカレッジ「竹林舎」事業（第15期）	ビジネスデザイン研究科
2022 年度	千葉県野田市	学生による自転車を活用したまちづくり検討業務	観光学部
	武蔵野銀行	産学連携プロジェクト(地域活性化のための観光MAP作成等)	観光学部
	長野県飯田市	令和4年度 遠山郷ESD推進支援業務委託	ESD研究所
	岩手県陸前高田市	中学生イングリッシュ・キャンプ運営業務	異文化コミュニケーション学部
	飯能信用金庫	はんしんビジネスカレッジ「竹林舎」事業（第15期）	ビジネスデザイン研究科
	飯能信用金庫	はんしんビジネスカレッジ「竹林舎」さいたま事業（第5期）	ビジネスデザイン研究科
	愛媛県東温市	東温市現状把握調査クロス集計・分析業務委託	社会情報教育研究センター
	東京商工リサーチ (福島県田村市委託先)	田村市事業者実態把握調査業務における監修	社会情報教育研究センター

3. 自治体・企業等との各種協定例

自治体・企業等との各種協定一覧（2022年度現在）

No	協定日	本学	協定先	内容
1	2002年7月30日	大学	東京都新宿区	商工施策に関する協定
2	2007年7月23日	大学	株式会社武蔵野銀行	産学連携に関する業務連携・協力に関する協定書
3	2007年11月19日	大学	東京都豊島区	豊島区と区内大学との連携・協働に関する包括協定書
4	2010年10月25日	大学	埼玉県新座市	新座市と立教大学との連携協力に関する包括協定書
5	2010年11月3日	コミュニティ福祉学部	山形県高島町	連携および交流に関する協定書
6	2011年5月1日	大学	公益財団法人 東京都歴史文化財団 東京芸術劇場	各々の施設の活性化および各種催事を通じ、東京都における芸術文化振興に寄与を目的とした協定
7	2011年8月29日	大学	埼玉県	埼玉県と立教大学との相互協力・連携に関する協定書
8	2012年5月23日	大学	岩手県陸前高田市	陸前高田市と立教大学との連携及び交流に関する協定書
9	2013年10月30日	学院	東京都豊島区	帰宅困難者対策の連携協力に関する協定
10	2015年3月15日	大学	埼玉大学	相互協力・連携協定
11	2015年4月22日	観光学部	道の駅	就労体験型実習の基本協定
12	2015年～2016年	大学	福井県、福岡県、福島県、 熊本県、栃木県	Uターン就職支援協定
13	2016年1月19日	大学	岩手県陸前高田市、 岩手大学	陸前高田市、岩手大学及び立教大学における地域創生・人材育成等の推進に関する相互協力及び連携協定書
14	2016年3月22日	大学	横浜国立大学	相互協力・連携協定
15	2016年6月7日	ESD研究所	長崎県対馬市	ESD研究連携に関する覚書
16	2016年10月25日	ESD研究所	北海道羅臼町	ESD研究連携に関する覚書
17	2016年11月14日	ESD研究所	静岡県西伊豆町	ESD研究連携に関する覚書
18	2017年5月1日	社会デザイン研究所	茨城県境町	研究連携に関する覚書
19	2017年7月4日	大学	西武ライオンズ	連携協力に関する基本協定
20	2017年8月4日	大学	日本身体障がい者水泳連盟	連携協力に関する包括協定
21	2017年8月4日	大学	日本知的障害者水泳連盟	連携協力に関する包括協定
22	2017年12月14日	ESD研究所	長野県飯田市	ESD研究連携に関する覚書
23	2019年4月1日	大学	聖路加国際大学	包括協定
24	2019年11月1日	大学	聖路加国際大学	医療的な支援および協力に関する協定
25	2019年12月1日	大学	株式会社大和総研	人工知能・データサイエンス分野等における包括的な教育研究協力
26	2020年4月30日	大学	株式会社ビズリーチ	人工知能分野等に関する包括的な教育研究協力についての協定
27	2020年7月1日	学院	学校法人立教女学院	相互協力・連携協定締結
28	2021年3月29日	大学	国立大学法人金沢大学	連携・協力に関する協定
29	2022年4月18日	ESD研究所	福島県南会津郡檜枝岐村	ESD研究連携に関する覚書
30	2022年8月22日	ESD研究所	静岡県松崎町	ESD研究連携に関する覚書
31	2022年7月25日	ビジネスデザイン研究科	NTTデータ経営研究所	教育研究協力に関する協定
32	2022年11月16日	大学	公益社団法人セーブ・ザ・ チルドレン・ジャパン	包括的教育研究協力に関する協定

自治体・企業等の寄付講座一覧（2022年9月30日現在）

No	設置箇所	寄附者	科目名
1	ビジネスデザイン研究科	巢鴨信用金庫	コンサルティング・メソッド1 コンサルティング・メソッド2
2	ビジネスデザイン研究科	株式会社都市経済研究所	不動産ビジネス論1 不動産ビジネス論2
3	ビジネスデザイン研究科	ランドマーク税理士法人	租税論1 租税論2
4	ビジネスデザイン研究科	一般社団法人ビジネスプロセス・アーキテクト協会	経営とIT
5	ビジネスデザイン研究科	一般社団法人日本データビジネス協会	データサイエンス基礎 デジタル・ビジネスプランニング IT産業の変遷と情報化社会
6	ビジネスデザイン研究科	株式会社博報堂	ブランドデザイン
7	ビジネスデザイン研究科	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	DX経営
8	ビジネスデザイン研究科	株式会社ユニゾン・ホールディングス	DX戦略論 1 DX戦略論 2
9	ビジネスデザイン研究科	アデコ株式会社	DX人財戦略
10	ビジネスデザイン研究科	公益財団法人日本デザイン振興会	デザイン経営
11	ビジネスデザイン研究科	株式会社日立製作所	ソーシャルイノベーションデザイン
12	ビジネスデザイン研究科	株式会社NTTデータ数理システム	マーケティングサイエンス
13	ビジネスデザイン研究科	株式会社NTTアーバンソリューションズ総合研究所	街づくりデザイン
14	ビジネスデザイン研究科	三菱食品株式会社	フードシステムデザイン
15	21世紀社会デザイン研究科	一般社団法人従業員所有事業協会	社会組織理論演習 2 3（コーオウンド・ビジネス）
16	経営学研究科	パーソルグループ (パーソルホールディングス株式会社)	戦略的人的資源管理 戦略的人事実務論
17	経済学部	立教税理士会	企画講座 3（租税と税理士制度）
18	社会学部	国立市	地方自治から学ぶ地域社会
19	観光学部	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	観光 IT 戦略論
20	観光学部	一般社団法人日本経済団体連合会	経団連インターンシップ
21	観光学部	株式会社ANA総合研究所	交通産業特論
22	観光学部	辻調理師専門学校	ガストロノミー(美食)と観光
23	観光学部	公益財団法人日本交通公社	観光地づくり
24	観光学部	立教観光クラブ	観光ビジネス概論
25	経営学部	EYストラテジー・アンド・コンサルティング	クロスボーダーM&A戦略論
26	立教セカンドステージ大学	公益財団法人 トラスト未来フォーラム	信託機能を活用した社会貢献・財産管理

4. 社会貢献

活動地域	活動項目
池袋	豊島区が実施している「としまコミュニティ大学」への講義の提供、文学部による「豊島こども大学」、理学部による「おもしろサイエンスワールド」など、積極的に連携を図っています。 アートイベント「池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館」では、旧江戸川乱歩邸の特別公開や、講演会、似顔絵描き等の企画を提供しています。
新座	新座キャンパスは開設当初より「地域に開かれたキャンパス」を標榜し、講演会、各種地域連携行事を行い、大学の室内温水プールや図書館を新座市民に開放しています。 また学園祭IVY Festaをはじめとした、学生が参画する地域連携も盛んです。
陸前高田 ・ 東北	東日本大震災を受けて陸前高田市を「重点支援地域」に指定し、さまざまな復興支援・交流活動を続けています。 また、陸前高田市協力のもと、地元の岩手大学とともに交流活動拠点「陸前高田グローバルキャンパス」を開設しています。

東日本震災復興支援報告書

東日本震災から10年目を迎えた2021年3月、本学の復興支援活動をまとめた報告書を作成しました。以下QRコードからご覧いただけます。



5. 生涯学習

立教セカンドステージ大学	50歳以上のシニア層を対象として「学び直し」「再チャレンジ」と「異世代共学」をサポートするために開設した新しい学びの場です。
旅行業講座	「総合・国内旅行業務取扱管理者試験」のための準備講座です。
ホスピタリティ・マネジメント講座	宿泊産業を中心とするホスピタリティ産業の経営実務全般に関する知識を効果的かつ理論的に学びます。
観光地経営専門家育成プログラム	観光地としてのあるべき姿を描き、革新的に再構築を図っていくための専門的な知識やスキルを持った人材「観光地経営専門家」を育成します。
ラテンアメリカ講座	スペイン語、ポルトガル語など語学だけでなく、ラテンアメリカ論や文学など、文化的背景を考慮に入れた科目がそろい、ラテンアメリカに関する総合的な学習が可能です。
産学連携教育イノベーター育成プログラム 「リーダーシップ開発力育成コース」	東北大学、立教大学、熊本大学、大阪府立大学により開講される実務家教員育成研修プログラムに「リーダーシップ開発力育成コース」を提供しています。本学の定評のあるリーダーシップ教育を一般の方が受講することができ、チームでのプロジェクト実行等を通してビジネス・リーダーシップを体験的・段階的に身に付けます。

TOPICS
1

立教サービスマーケティング

実社会の現場での体験学習を通して学びを深めていく「立教サービスマーケティング (RSL)」を全学部生対象の正課科目として開講しています。事前学習ののち、行政・企業等の受入機関の支援・指導の下、社会で生起するさまざまな課題を題材とした体験学習を行います。

RIKKYO Learning Style の導入期・形成期・完成期に合わせて、講義系・実践系それぞれの科目（全学共通科目）が用意されています。

RIKKYO Learning Style の〈導入期・形成期・完成期〉に合わせて用意された講義系および実践系の科目

導入期 (1年次)	RSL 講義系	全学共通科目：学びの精神科目群 大学生の学び・社会で学ぶこと
	RSL 講義系	全学共通科目：多彩な学び（社会への拠点）科目群 シティズンシップを考える SDGs と現代社会の課題とその関わり方入門 デモクラシーとリベラルアーツ 全学共通科目：多彩な学び（自然の理解）科目群 カーボンニュートラル人材育成講座
形成期 (1年次 秋学期 ～ 2年次)	RSL 実践系	全学共通科目：多彩な学び（知識の現場）科目群 事前学習 学外活動 事後学習
		RSL- コミュニティ（池袋）(埼玉)
		RSL- ローカル（南魚沼）
		RSL- ローカル（地域共生）
		RSL- グローカル A
RSL- グローカル B		
RSL- グローバル（フィリピン）		
完成期 (3年次 ～ 4年次)	RSL ゼミナール	全学共通科目：多彩な学び（社会への視点）科目群 RSL- ゼミナール

RIKKYO Learning Style 「専門性に立つ教養人の育成」

立教大学は、4年間の学生生活（学士課程）を授業だけではなく、サークルやボランティアなど、様々な活動と体系づけて考えており、そのため、学生生活を3つの期間〈導入期・形成期・完成期〉に分け、正課と正課外教育の両輪で支援していることが特長です。

■ 講義系科目

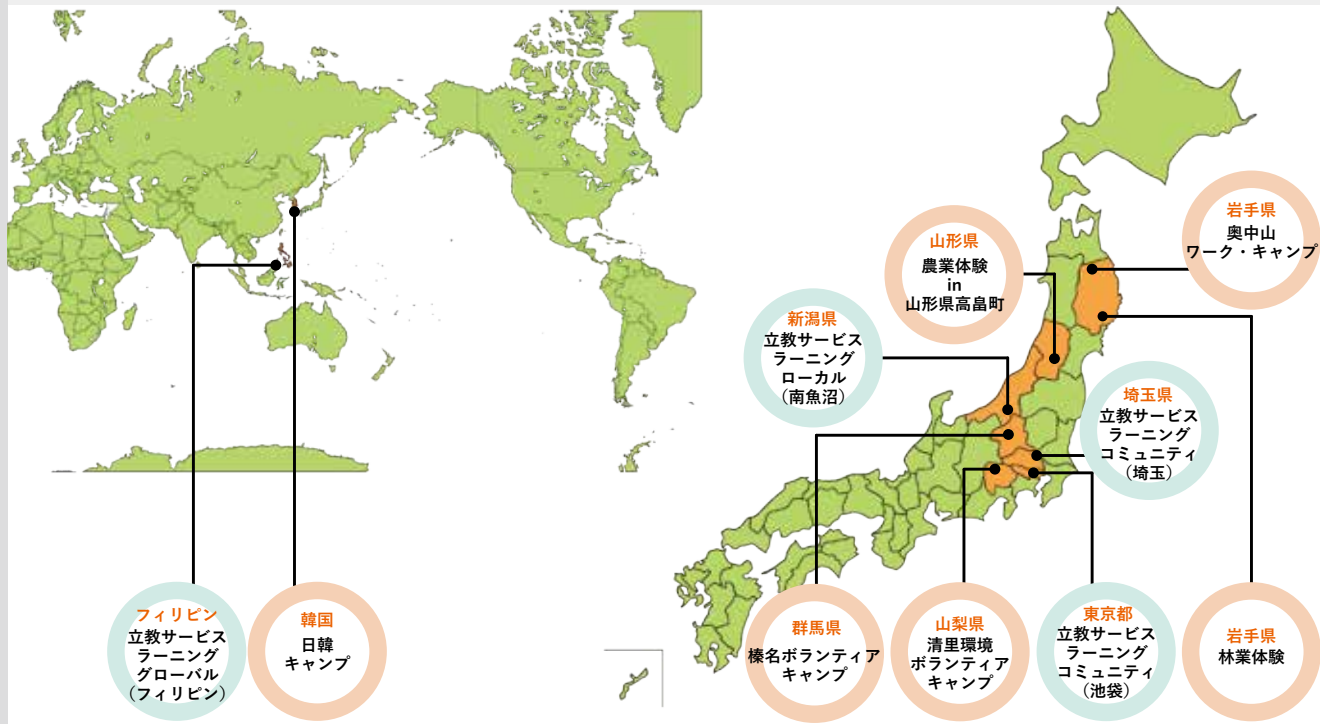
講義をもとにグループディスカッションや全体発表、そして実際にフィールドで活動している方からの話（市民生活の課題とその取り組みの報告）など、「座学」だけでは終わらない講義系科目群です。

■ 実践系科目

立教大学に在籍するすべての学生がともに語り、学びあうことができる「フィールド」として、単なる履修では終わらない社会とのつながりに積極的にチャレンジできる実践系科目群です。

立教サービスマーケティング・立教キャンプ Map

さまざまな場所で行われている RSL・ボランティアを見やすくマッピングしました。



TOPICS
2

立教大学・武蔵野銀行 産学連携プロジェクト

立教大学と武蔵野銀行は埼玉県内の地域活性化を目的とした「ぶらって埼玉プロジェクト」の一環として、まち歩きマップを制作しています。

3月20日には『ぶらって草加』"出逢いを紡ぎ、まちを彩る"の完成披露・贈呈式を草加市役所で開催しました。担当した西川亮観光学部准教授のゼミ生から山川百合子草加市長に完成したばかりのマップが贈呈されました。まち歩きマップとして10作目（ぶらってシリーズとして11作目）となります。

また3月27日には完成したまち歩きマップ『ぶらって草加』の報告と、2007年に立教大学と武蔵野銀行が締結した産学連携協定に基づく「ぶらって埼玉プロジェクト」の活動紹介のため、西原廉太総長、松村公明観光学部長、西川亮観光学部准教授、『ぶらって草加』を担当したゼミ生など大学関係者が大野元裕埼玉県知事を表敬訪問しました。西原総長からは「ぶらって埼玉プロジェクト」をはじめ、2023年4月に新座キャンパス（埼玉県新座市）に誕生するスポーツウエルネス学部の報告などがあり、埼玉県との幅広い連携について懇談する機会となりました。

TOPICS
3

「持続可能な開発目標（SDGs）」の推進

立教大学は、「専門性に立つグローバル教養人」として、環境破壊や難民問題、経済格差などの世界的な問題に対し、広い視野に立って課題を発見・解決できるグローバルリーダーを育成しています。SDGsの17の持続可能な開発目標は、国際的に取り組むべき課題の解決を導くものです。本学で学んだグローバルリーダーたちが、将来もこの課題に積極的に応えてくれることを願います。

2022年4月には、立教サービスラーニング科目として、「カーボンニュートラル人材育成講座」や「RSL-ローカル（地域共生）」等、SDGsやカーボンニュートラルに関連する5科目を新設しました。

様々な活動例

陸前高田プロジェクト



東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県陸前高田市の現状を知り、現地の方と復興に向けた課題を共有するプログラム。

4泊5日の現地研修、事前・事後研修を実施する。米国スタンフォード大学、香港大学、シンガポール国立大学の海外有力大学の学生が参加する国内唯一のコラボレーションプログラム。共に学び協働作業をする中で、英語を使ったコミュニケーション能力のみならず、広く多様な視点から課題に向き合い発信する力を身に付けます。

RSL ローカル（南魚沼）



南魚沼地域（栃窪集落）はその「場」にしかない四季折々に変わる豊かな自然の表情と食の恵みを私たちに与えてくれています。一方で現代日本の社会的な課題の一つである過疎・高齢化の問題にも直面しています。

この授業では、過疎高齢化の進む農村での伝統知や地域文化や生活に触れ、体験的な学習を通して、現代社会の構造を知り、自然と人間の関係や本質的な豊かさについて問い直し、持続可能な社会の実現について考えます。

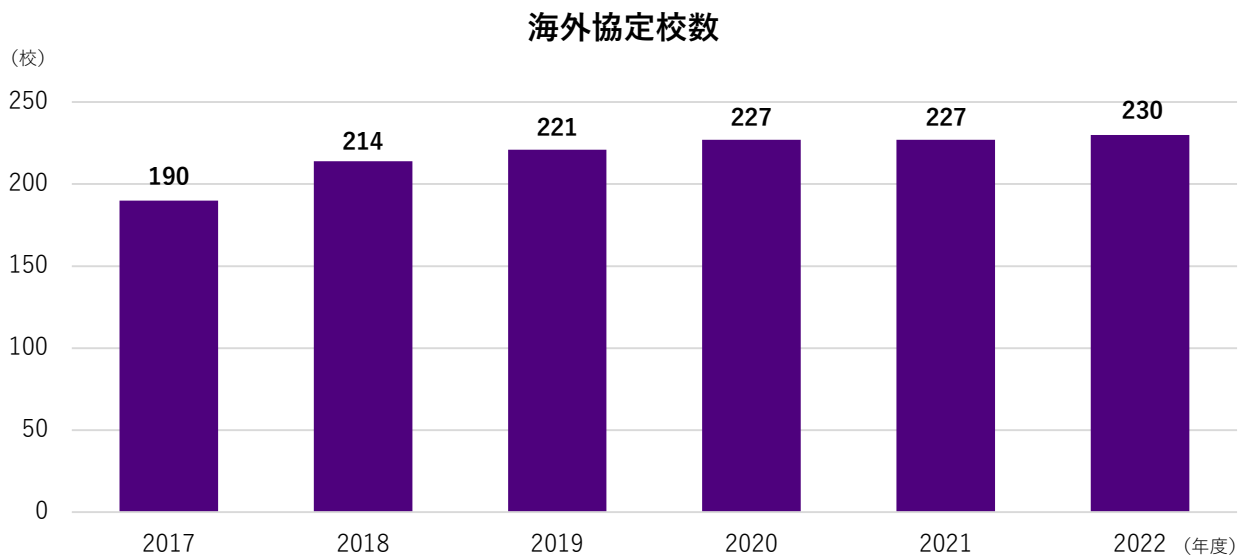
国際協力人材育成プログラム



国際社会が取り組むべき世界規模の課題（グローバル・イシュー）に対応・解決するための知識や能力を身に付けるプログラム。全7科目は課題別に設定され、全て英語で開講します。国際協力の現場で活躍している経験豊富な講師やゲストがインタラクティブな授業を展開します。

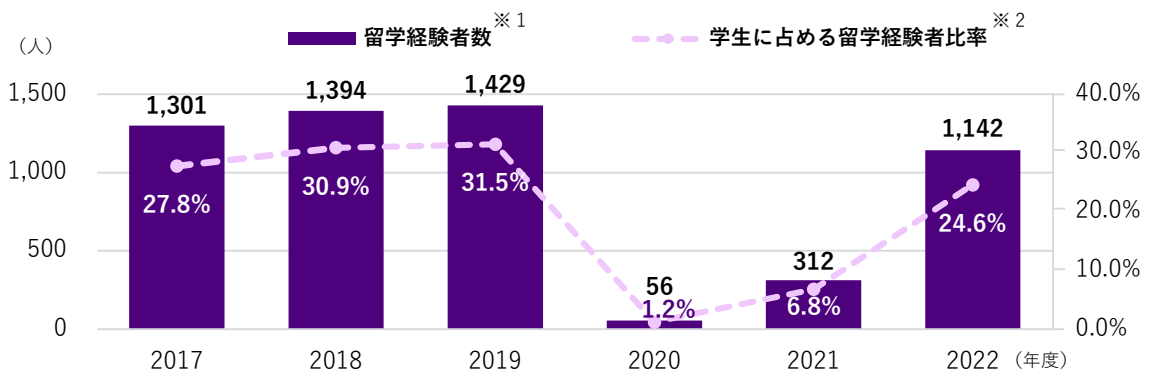
V 国際化

1. 協定校数



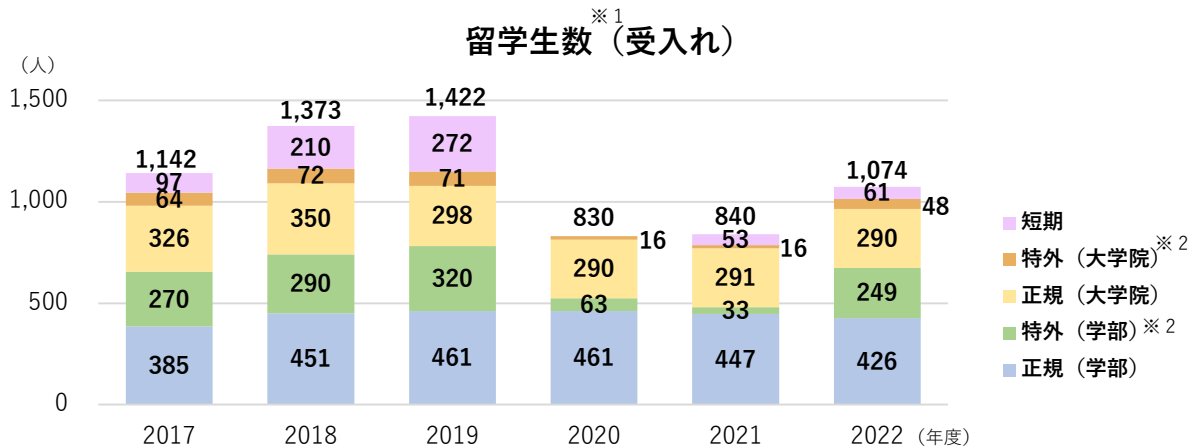
2. 送出し・受入れ

留学経験者数（送出し）



※1: 留学経験者数・・・延べ数、正課外含む
 ※2: 留学経験者比率・・・1学年あたりの比率

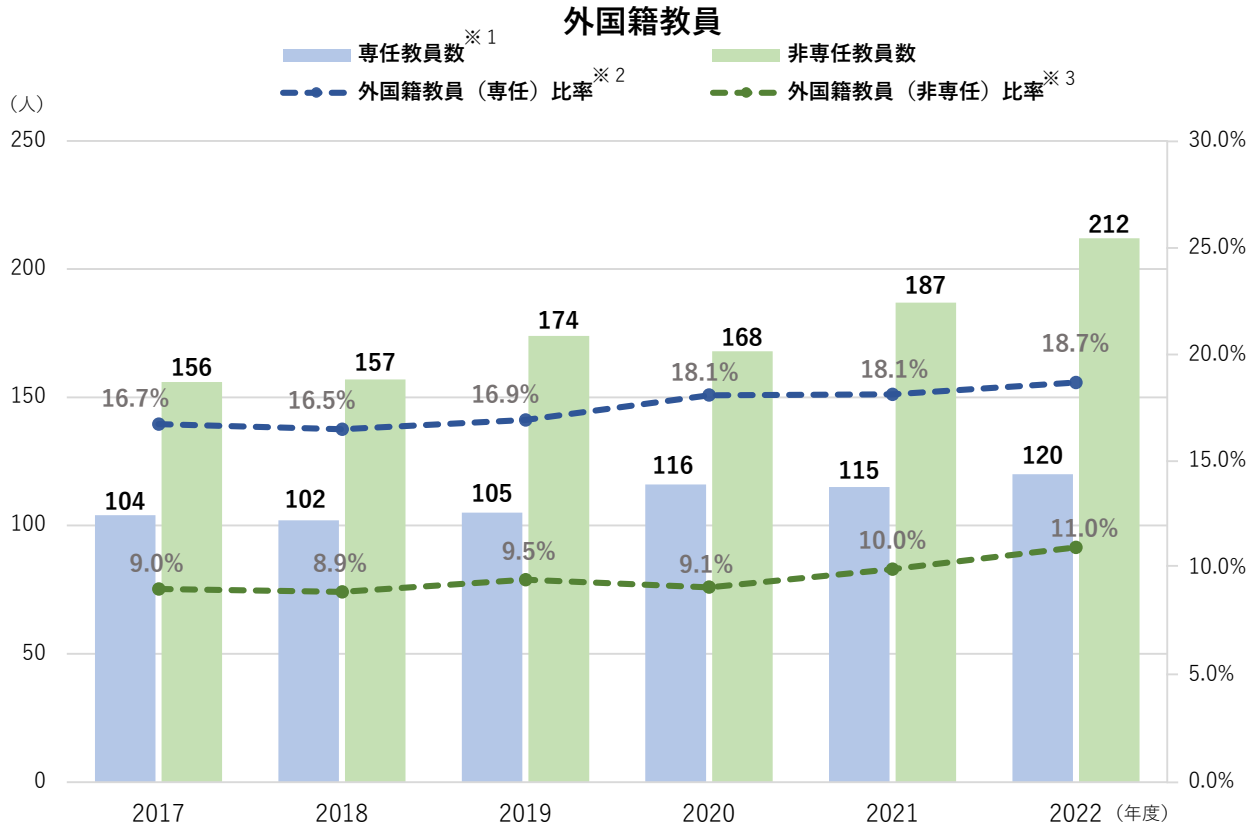
留学生数（受入れ）



※1: 留学生・・・正規・特外・短期プログラムによる受入れ
 ※2: 特外・・・特別外国人学生の略称、協定校からの交換留学生

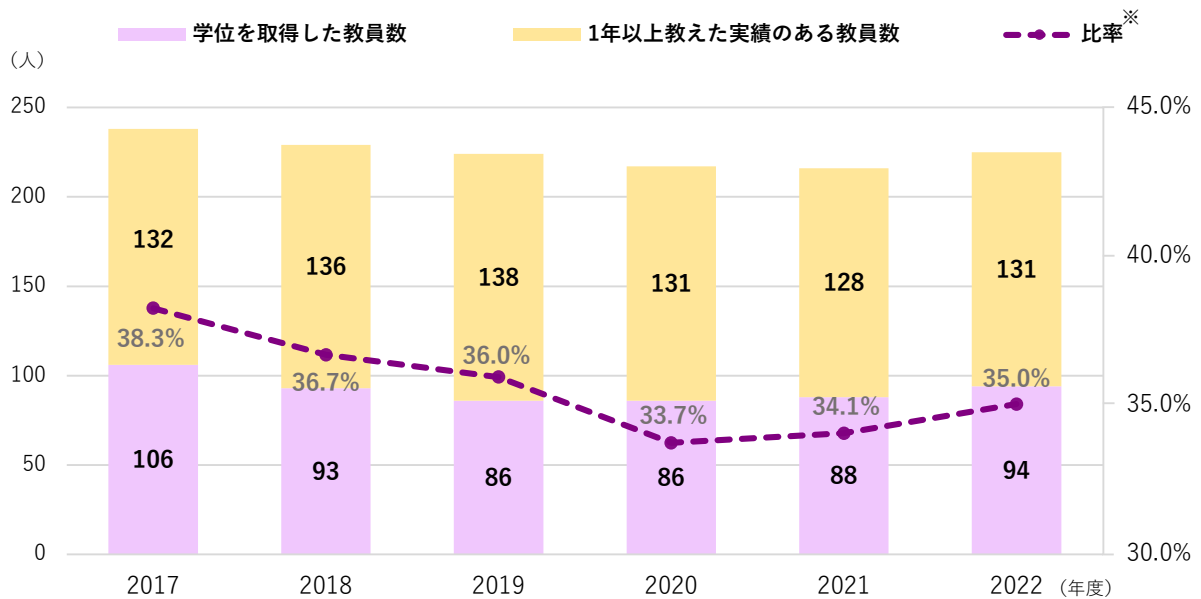
※2020・2021年度は、COVID-19による影響を受け、送出し・受入れ共に減少しています。

3. 教員



※1: 専任教員・・・本校を本務校としている教員
 ※2: 外国籍教員（専任）比率・・・専任教員のうち、外国籍教員の占める割合
 ※3: 外国籍教員（非専任）比率・・・非専任教員のうち、外国籍教員の占める割合

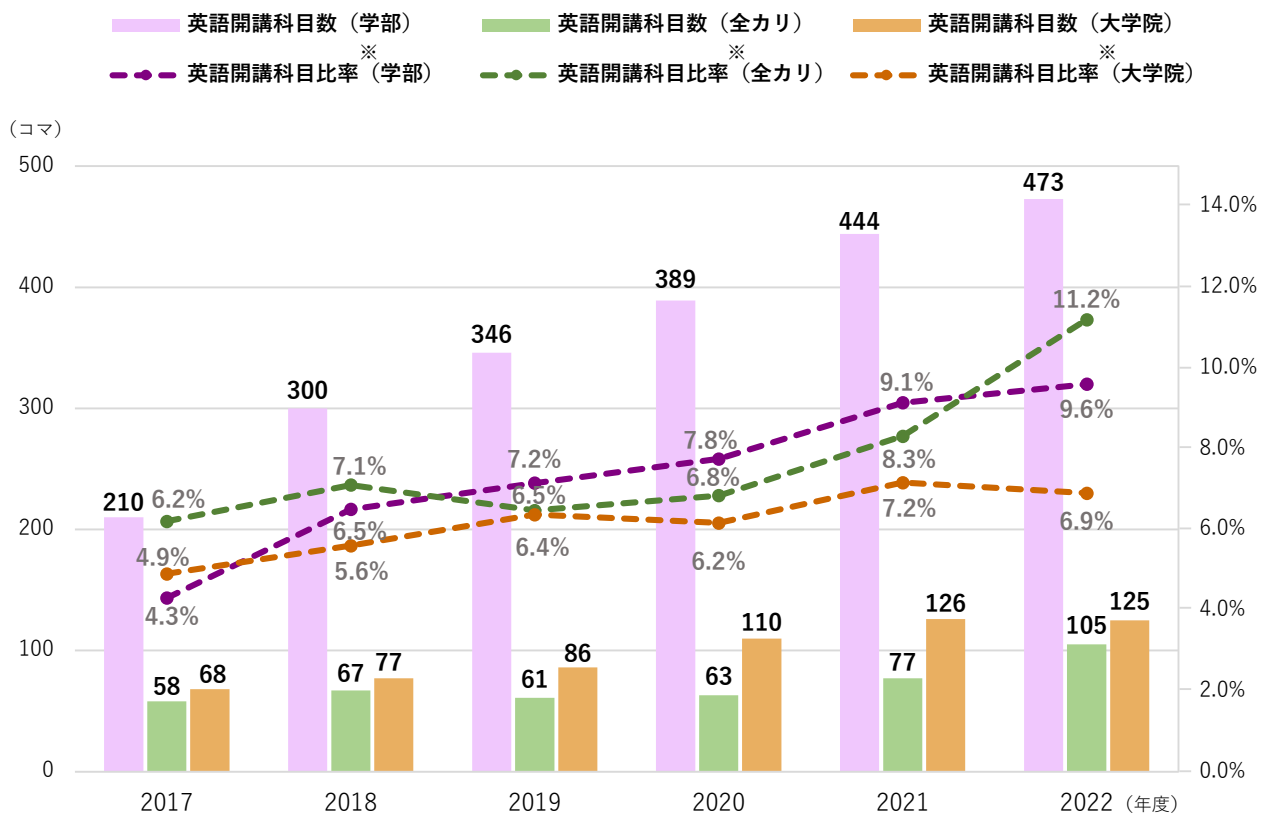
海外の大学で学位を取得した教員数 もしくは、海外の大学で1年以上教えた実績のある教員数



※比率・・・全専任教員の中で、海外の大学で学位を取得した教員、もしくは、海外の大学で1年以上教えた実績のある教員の占める割合

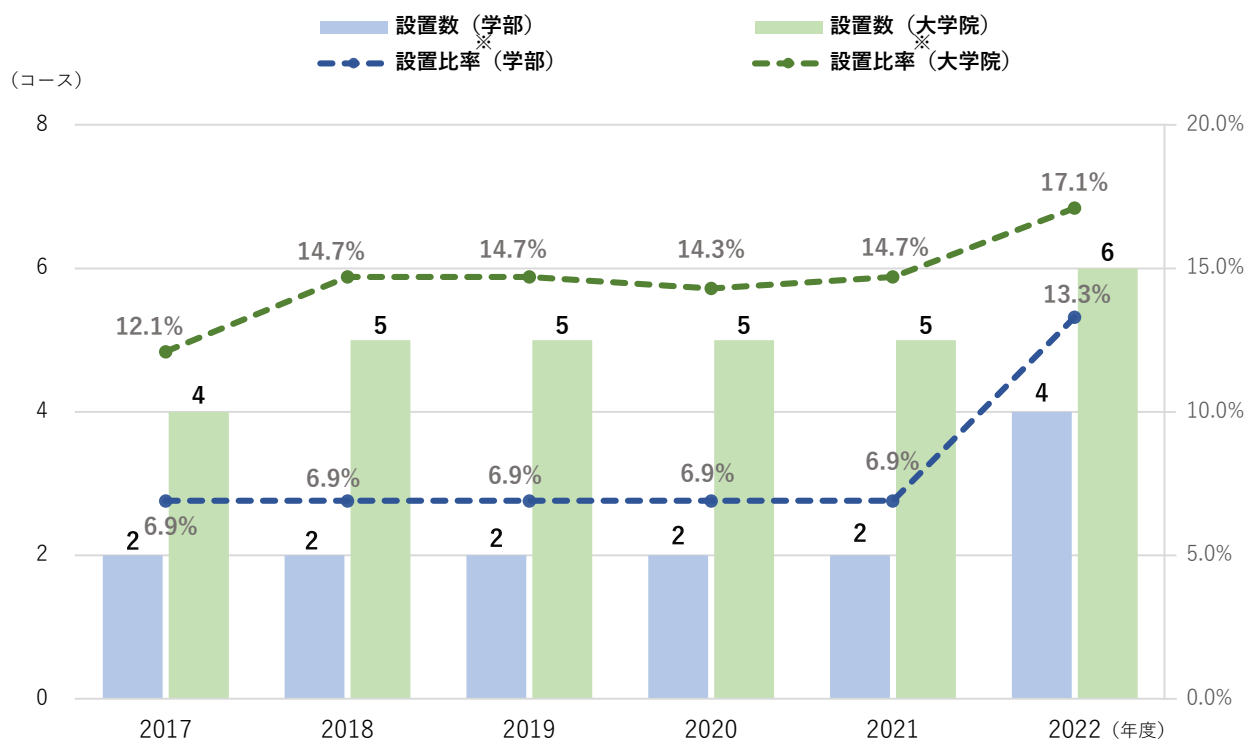
4. カリキュラム

英語開講科目



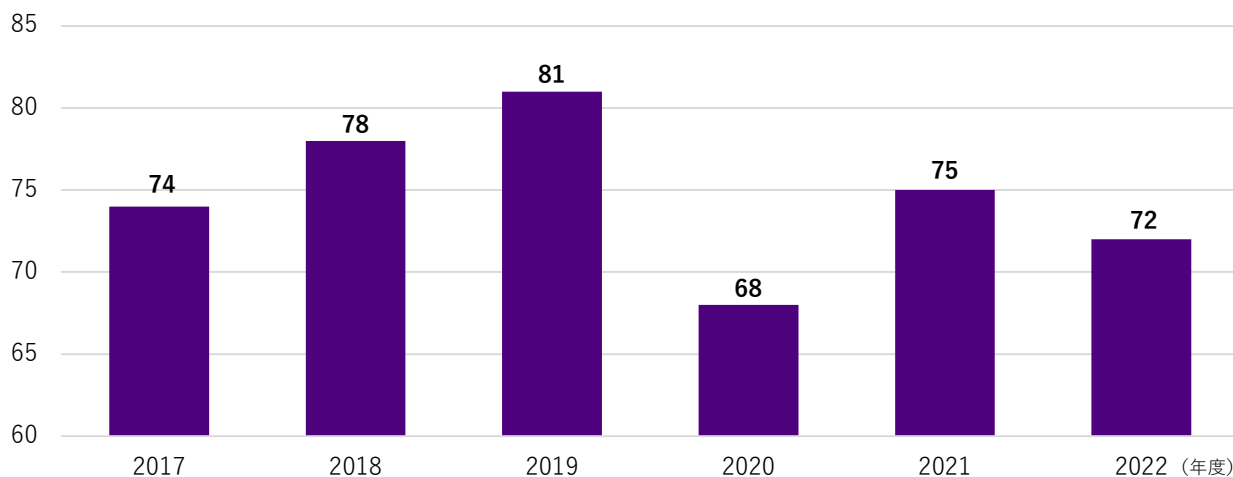
※英語開講科目比率・・・全科目のうち英語開講科目の占める割合

英語コース設置数

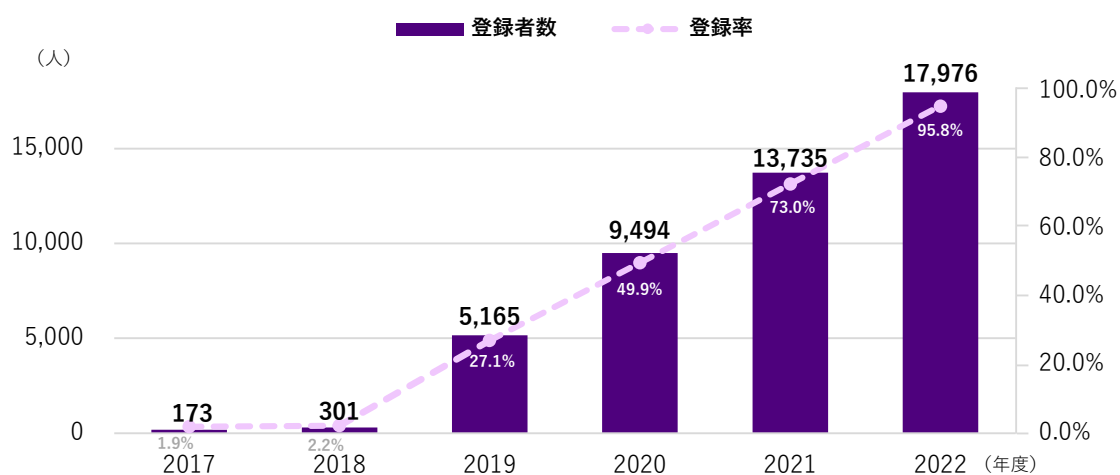


※設置比率・・・全コースのうち英語コースの占める割合

正課海外プログラム数



グローバル教養副専攻登録率



※ 2019 年度入学者から、各学部が推奨するコースに全員初期登録を行うよう制度変更しました。

KEY WORDS

グローバル教養副専攻

グローバルな視点に立った教養人の育成を目標とした全学部生対象の教育プログラムです。所属学部の専門性に加え、これからの社会で必要とされる、グローバルかつ多面的に物事を考える力を身につけるため、興味・関心に沿って学部横断的に学んでいきます。

■ 修了までの流れ

- Step 1** 【コース・テーマの本登録・変更手続き】
対象：学部 1～4 年次
- Step 2** 【科目の履修と海外体験の修得・申請】
- Step 3** 【修了認定】
卒業年次の 1 月 31 日までに各コース・テーマの科目履修と海外体験の認定申請を行い、修了要件が満たされた場合、卒業証書とともにグローバル教養副専攻の修了証が授与される

■ 選べる 3 つのコース

Arts & Science Course

幅広い知識と教養、総合的な判断力を養うコース

Language & Culture Course

より専門的な英語のスキルや、英語以外のさまざまな言語と文化を学ぶコース

Discipline Course

データ活用力やリーダーシップなど、実践的なスキルを養うコース

スーパーグローバル大学創成支援事業（TGU 事業）

立教大学は、2014年に国際化戦略「Rikkyo Global24」をもとに、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業／Top Global University Project」（TGU 事業）に採択されました。

2024年に創立150周年を迎える立教大学のリベラルアーツ教育や先進的なリーダーシップ教育といった特色ある取り組みを軸に、海外への派遣・受け入れの促進により、学生が多様な価値観に触れ、新しい視座を獲得して、「自ら考え（＝思考力）、行動し（＝変革力）、世界と共に生きる（＝共感・協働力）」ことのできる「新しい」グローバルリーダーとしての育成を目指してきました。

TGU 事業は10年にわたる補助事業であり、2022年度は9年度目となり、2023年度が最終年度となります。これまでの主な取り組みを以下の通りまとめます。

TOPICS

1

立教大学の交際交流

協定校の拡充や短期日本語プログラム等の実施より、コロナ禍前の2019年度には年間1,400人超、世界57の国・地域から留学生を受け入れており、2022年度は1,000人超の留学生を受け入れました。

また、池袋・新座の両キャンパスにある「グローバルラウンジ」では、対面やオンラインでの国際交流イベントを実施し、国内学生がキャンパスの中でも異文化交流ができる機会を提供しています。



TOPICS

2

多様な宗教や文化への対応

イスラム圏からの留学生をはじめ、誰でも利用できる「祈りの部屋／Prayer Room」が設けられたほか、「ハラール認証」を取得した学食も開設しています。日常生活の中で多様な宗教や文化を身近に体感できます。



TOPICS

3

GLAP の開設

2017年、英語でリベラルアーツを学ぶ Global Liberal Arts Program (GLAP) を開設しました。超少人数教育や海外リベラルアーツ校への一年間の留学、立教の特色である「リーダーシップ教育」を英語で学ぶ経験などを通じて、複眼的な視点で物事を判断する力を身に着けた学生を育成します。海外リベラルアーツ校から教員を招いて実施する授業など、一部の授業は他学部の学生も履修できます。GLAPのほかにも、異文化コミュニケーション学部、経営学部、社会学部、法学部など、英語で専門を学ぶコースや科目群を展開しています。



TOPICS

4

新英語カリキュラム

新英語カリキュラム

2020年度から開始した新しい英語教育のカリキュラムでは、4年間を通じて英語力を段階的に伸ばす仕組みを構築しています。

1年次の必修科目で英語によるコミュニケーション能力や思考力を鍛え、2年次以降は「CLIL 科目」^{※1}を履修し、専門領域を英語で学ぶための基礎を身に付けます。徐々に専門性の濃度を高めながら「学部 EMI 科目」^{※2}を履修します。

英語ディベート

新たな英語教育カリキュラムの柱の一つである1年次必修の「英語ディベート」科目では、1クラス20名程度で、社会問題など肯定側と否定側に分かれて英語で討論を行います。英語運用能力だけでなく、論理的に考える力や他者と建設的に議論する力なども鍛えます。



※1「CLIL (Content and Language Integrated Learning) 科目」
 ……専門領域に関する英単語や英語表現を学び、学部の専門科目を英語で学ぶための土台となる力を身に付けていきます。

※2「学部 EMI (English as a Medium of Instruction) 科目」
 ……卒業後に専門性を生かしてグローバルな環境で活躍することを見据え、学部の専門領域を英語で学びます。

国際化のための新しい取り組み

創立時から受け継がれる立教大学の国際性は2014年に文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されたことで改めて確認され、数々の先進的な取り組みを実施してきました。2021年11月には、本学を含むアジア4大学の連携事業である「ACEプログラム」が、文部科学省「大学の世界展開力強化事業」にさいたくされ、私立大学で唯一の新規採択校となっています。

また、2022年9月から新たな留学生受け入れ制度「Rikkyo Study Project (RSP)」がスタートしました。RSPでは、入学時点で日本語能力を求めず英語による授業のみで教育課程を構成する「PEACE Program」と、入学時点で日本語能力試験N3程度の学生を受け入れて立教大学の教育課程で日本語能力の向上を図る「NEXUS Program」の2つを設置するものです。これまで以上に多様な外国人留学生が集い、学内での国際交流をさらに活性化させることが期待されています。

TOPICS

5

ACEプログラム – 大学の世界展開力強化事業 –

立教大学は、アジア最高峰の大学である、ソウル大学校自由専攻学部 (The College of Liberal Studies, Seoul National University)、北京大学元培学院 (Yuanpei College, Peking University)、シンガポール国立大学 NUS カレッジ (NUS College, National University of Singapore) とともに国際共同教育のためのコンソーシアムを形成するために、東アジア・ASEANにおけるリベラルアーツ教育の発展を共同で目指す協定を結びました。そしてこの取り組みが、文部科学省が選定する「大学の世界展開力強化事業～アジア高等教育共同体生成促進」の2021年度新規採択事業として選定されました。今回の協定に基づき、ソウル大学校、北京大学およびシンガポール国立大学と本学による「リベラルアーツ教育」を共同テーマとした大学間国際コンソーシアム「The Asian Consortium for Excellence in Liberal Arts and Interdisciplinary Education (The ACE)」を形成し、リベラルアーツ教育を基礎として、学問分野や地理的境界を越境し、共通性と多様性に富むアジア文化圏に学ぶ学生や地域の人々との多様な協働を通じて、行動できる人材を育成していきます。この The ACE の中核を担うプログラムを総称して「ACEプログラム」と呼称しています。

ACEプログラムには2学期2大学の交換留学、長期休業期間中に開催されるサマーインテンシブプログラム、ウィンターインテンシブプログラム、オンラインを用いた学びなど様々な取組みが用意されており、本学では異文化コミュニケーション学部、経営学部、GLAPが参加しています。

また、ACEプログラム実施にあたっては、4大学によるプログラム開発のためのACE運営会議や、学内では2学部1プログラムの担当者によるACEプログラム協議会が定期的開催され、日々プログラム開発が進んでいます。

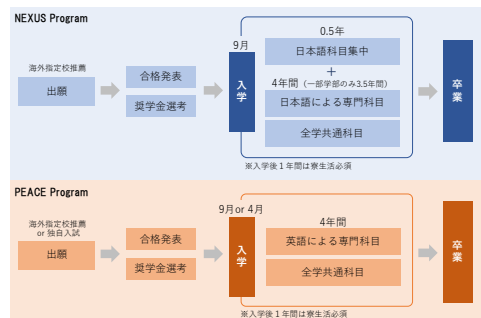


TOPICS

6

新しい外国人留学生受け入れ制度「Rikkyo Study Project」

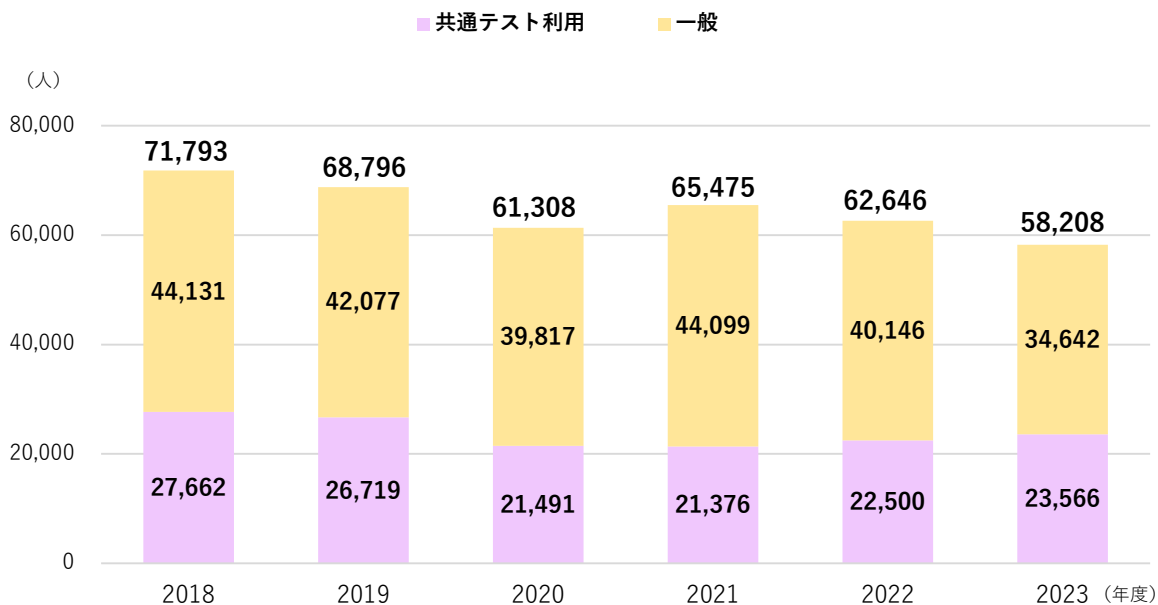
2022年9月より新しい正規学部留学生受け入れ制度「Rikkyo Study Project (RSP)」を開始しました。本制度では、多様な国・地域から正規学部留学生の受け入れを目指し、英語で教授される科目のみで教育課程を編成する「PEACE Program」と、入学後に集中的に日本語学習を行い、その後学部の既存カリキュラムで学ぶ「NEXUS Program」で構成しています。寮や奨学金など受け入れ体制も整備し、2022年9月より第1期生としてPEACE1名、NEXUS4名の学生を受け入れました。また、2023年度には、PEACEプログラム10名、NEXUSプログラム4名が入学します。ベトナム、マレーシア、モンゴル、アメリカ、イギリスなど、さまざまな出身国の学生の入学により、多様性が広がっています。



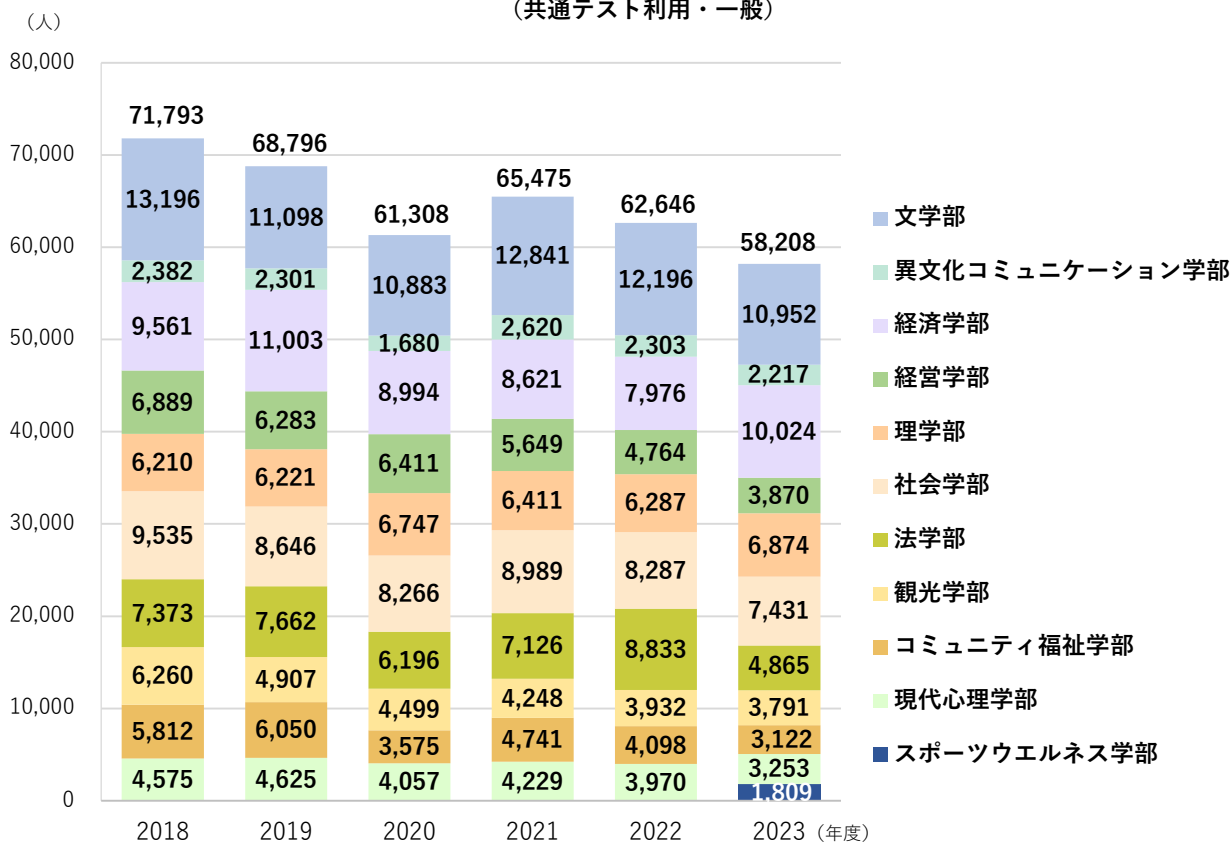
VI 入試

1. 入試

全学 入試種別 志願者数



学部別志願者数 (共通テスト利用・一般)



※すべて延べ人数で集計しています。共通テスト利用については「受験者数 = 志願者」とします。

都道府県別志願者数・合格者数（2023年度一般入試）

(人)

都道府県		志願者数	合格者数	都道府県		志願者数	合格者数
北海道		316	70	近畿地方	三重県	95	12
東北地方	青森県	64	11		滋賀県	33	9
	岩手県	40	10		京都府	53	14
	宮城県	141	29		大阪府	182	35
	秋田県	33	2		兵庫県	135	32
	山形県	42	5		奈良県	28	1
	福島県	113	28		和歌山県	16	0
関東地方	茨城県	1,011	283		中国地方	鳥取県	16
	栃木県	340	78	島根県		6	1
	群馬県	410	102	岡山県		115	27
	埼玉県	5,182	1,440	広島県		171	31
	千葉県	4,141	1,311	山口県		40	10
	東京都	13,054	3,677	四国	徳島県	28	8
	神奈川県	5,583	1,758		香川県	70	24
新潟県	206	56	愛媛県		61	15	
中部地方	富山県	80	24	高知県	41	3	
	石川県	69	14	九州	福岡県	291	73
	福井県	36	12		佐賀県	48	14
	山梨県	152	40		長崎県	59	7
	長野県	298	90		熊本県	56	16
	岐阜県	74	21		大分県	19	3
	静岡県	602	198		宮崎県	34	3
	愛知県	601	148		鹿児島県	73	16
					沖縄県	202	44

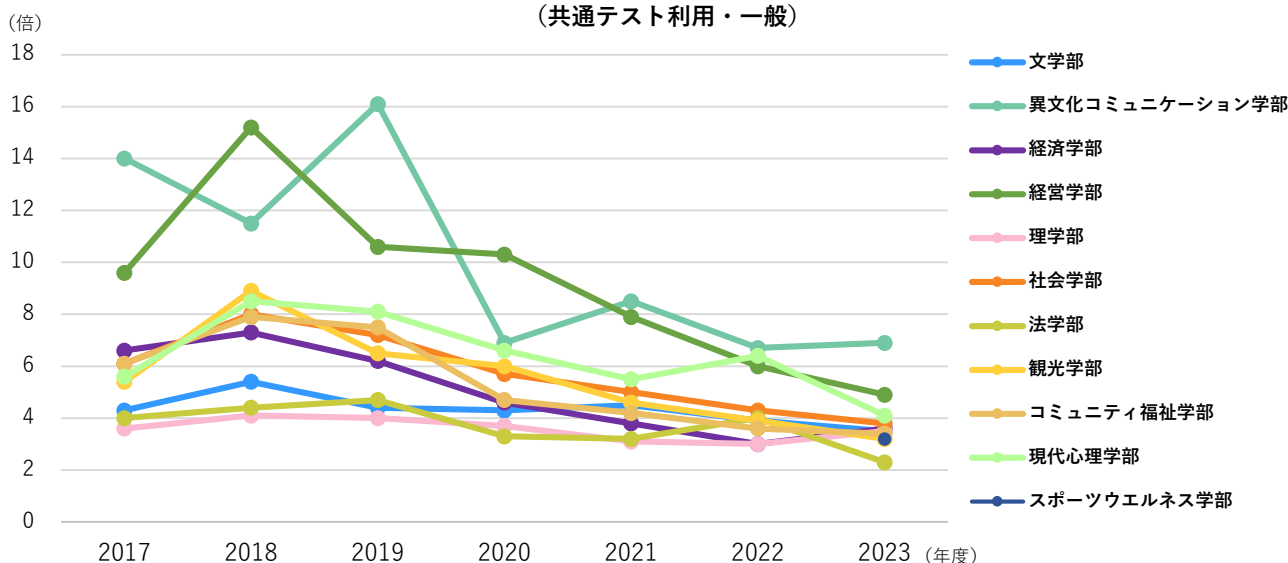
志願者数 1,000人以上
志願者数 100人以上

2023年度一般入試 地方別志願者・合格者 構成比率

地方	志願者数(人)	合格者数(人)	志願者構成比率	合格者構成比率
北海道	316	70	0.9%	0.7%
東北地方	433	85	1.3%	0.9%
関東地方	29,721	8,649	86.2%	88.2%
中部地方	2,118	603	6.1%	6.1%
近畿地方	542	103	1.6%	1.1%
中国地方	348	72	1.0%	0.7%
四国	200	50	0.6%	0.5%
九州・沖縄	782	176	2.3%	1.8%

※すべて延べ人数で集計しています。併願している場合には、当該受験者の都道府県に、併願数分カウントしています。都道府県は、出身高校の所在地をもとに集計しています。

入試倍率 (共通テスト利用・一般)

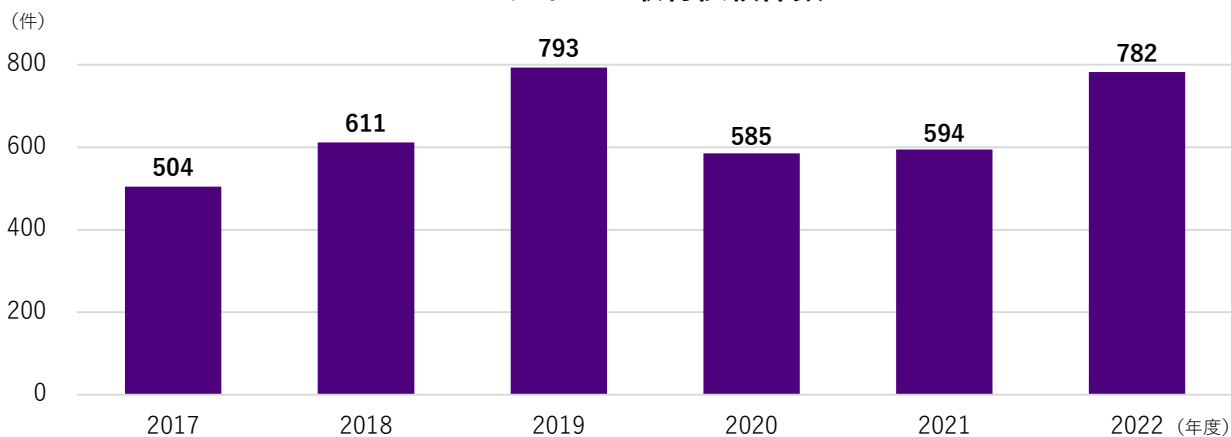


※倍率は、「受験者数(志願者のうち、入試当日に出席した数)÷合格者数」で計算しています。ただし、共通テスト利用については「志願者数÷合格者数」で計算しています。(共通テスト利用は「受験者数=志願者」としているため)

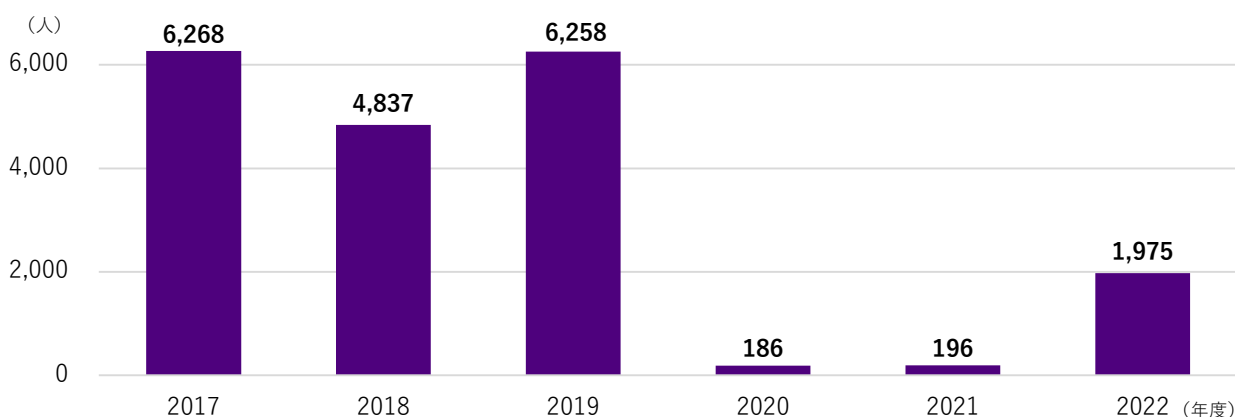
VII 広報・ブランドイメージ・ランキング

1. 広報活動

マスメディア 取材依頼件数

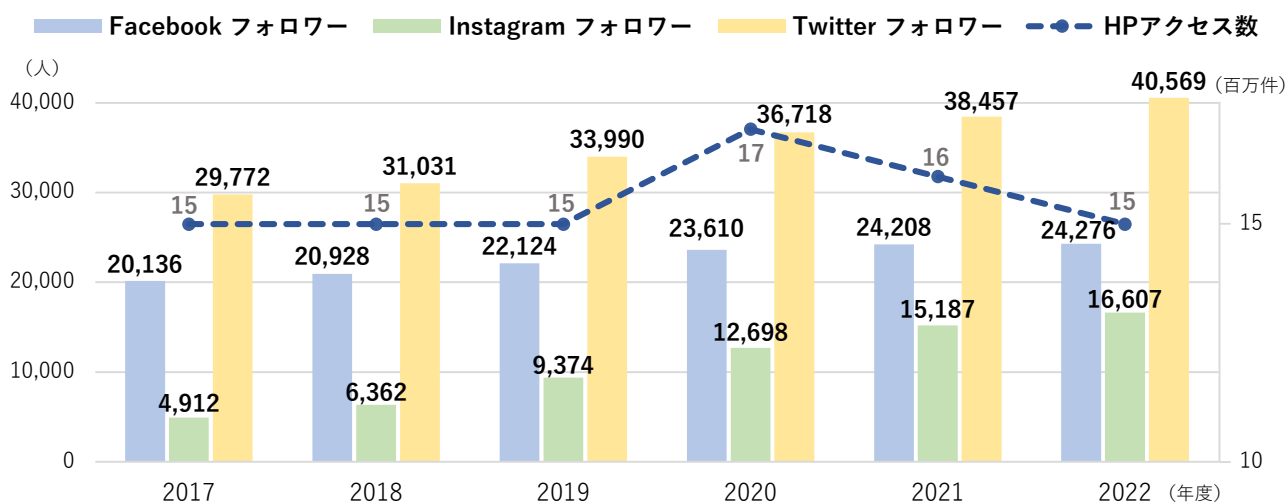


大学見学受入れ人数



※ 2020 年度以降ののマスメディアの取材件数や大学見学の受入れ人数は COVID-19 の影響により減少しましたが、取材によりコロナ禍における学生の学びやクラブ活動での活躍、入試制度や英語教育カリキュラムの改革など、本学の特徴的な話題が取り上げられ、Web サイトのアクセスや SNS フォロワー数も順調に増加しました。

Web サイト・SNS



2. ブランドイメージ・ランキング

日経BPブランドイメージ調査総合ブランド力 (2022年11月発表 対象者：学生の父母)	スコア 67.2点 順位 10位
THE 世界大学ランキング (2022年10月発表)	1001-1200th
	国内大学 23位タイ
	「国際性」スコア 国内大学 4位 私立大学 1位
THE 世界大学ランキング アジア版 (2023年6月発表)	401-500位
THE 日本大学ランキング (2023年3月発表)	総合40位 私立大学9位

KEY WORDS

THE 世界大学ランキング

イギリスの高等教育専門週刊誌『タイムズ・ハイアー・エデュケーション』が2004年から毎年秋に公表している世界の大学ランキングです。

THE 世界大学ランキング 2022 は世界各国の約 1,600 以上の大学を対象としたランキングで、Teaching (教育)、Research (研究)、Citations (被引用論文)、International outlook (国際性)、Industry income (産業界からの収入) の5つのスコア (指標) から総合順位が決定されます。

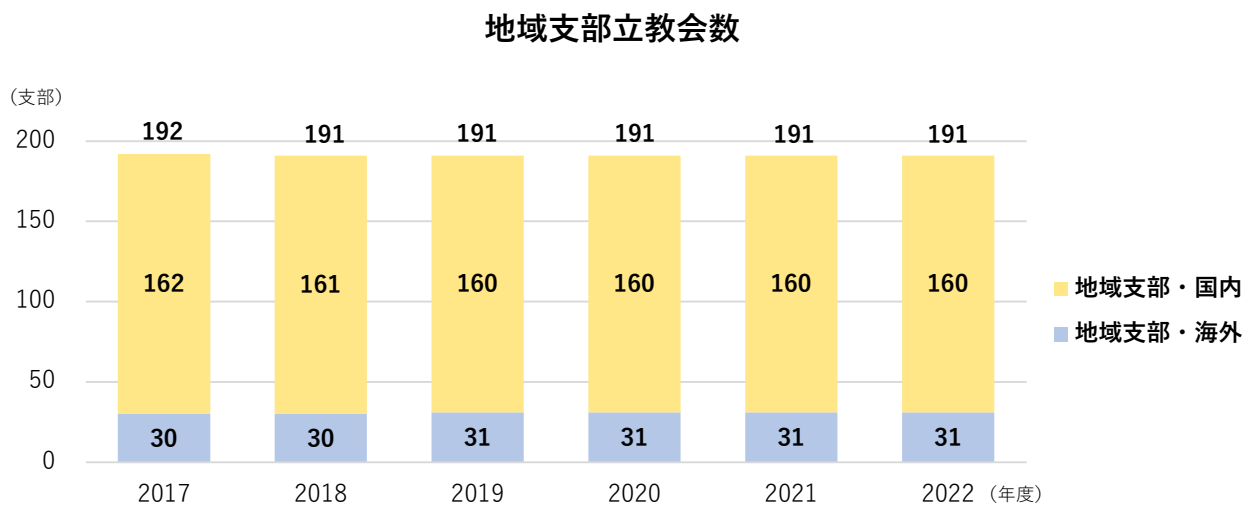
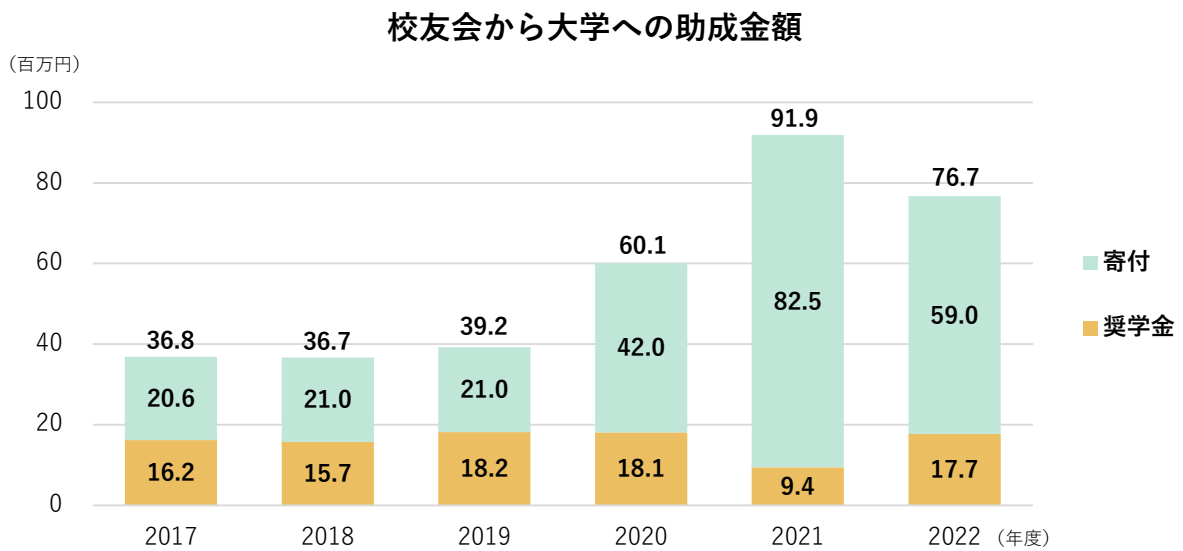
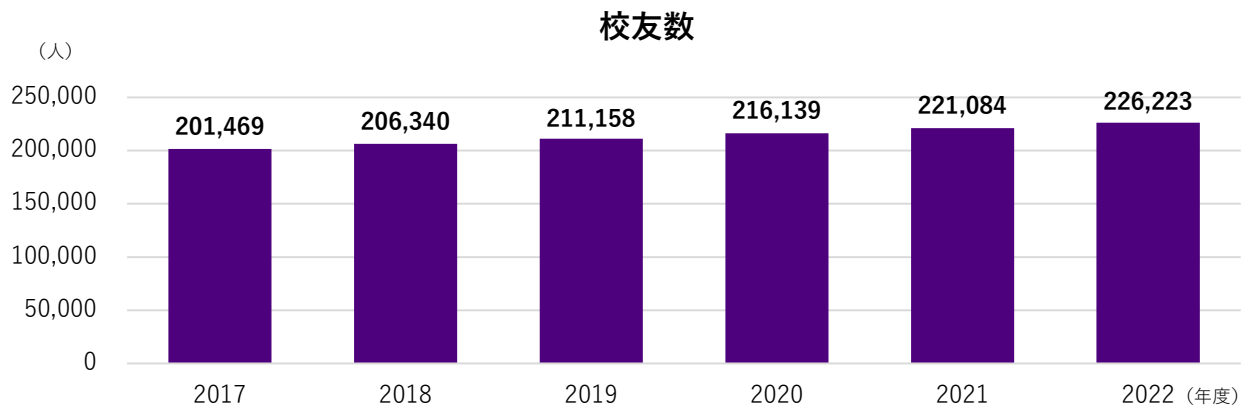
今回のランキングで、本学は International outlook (国際性) のスコアで国内 4 位 (国内私立大学では 3 年連続 1 位) と健闘しました。同指標は、自国籍学生に対する外国人留学生比率、自国籍教員に対する外国人教員比率、国際共同論文の3点から構成されています。

上位にランクインする大学のほとんどが医学系の学部を持つ中、本学の国内順位は 23 位タイでした。

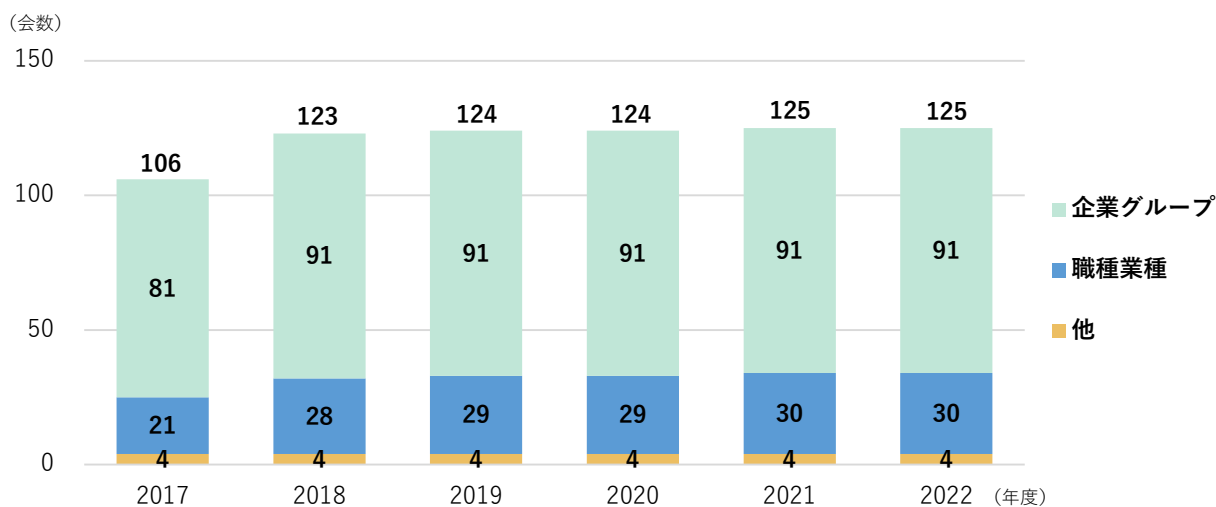


VIII 校友

1. 卒業生



企業・職域立教会数



TOPICS

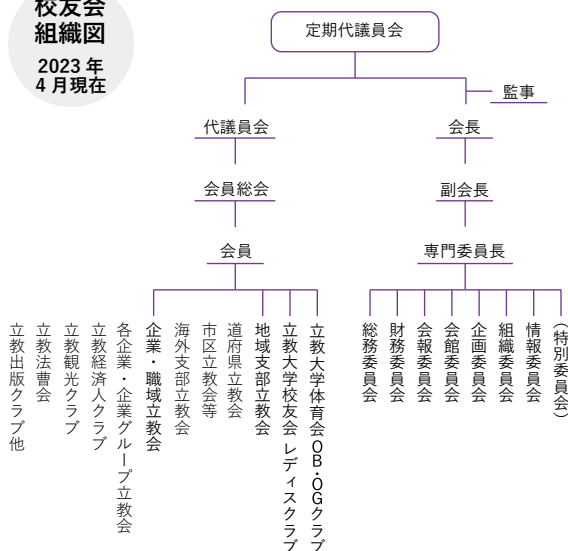
立教大学校友会

TOPICS 1

立教大学校友会とは

明治40（1907）年立教大学校友会が成立し、昭和14（1939）年立教大学同窓会として独立（昭和35（1960）年立教大学校友会と改称）以来、校友会は、立教大学（立教学校、立教大学校、大阪英和学舎、立教専修学校、東京英吾専修学校、立教工業理科専門学校及び立教大学大学院）全卒業生・修了者をもって組織・構成されています。「会員相互の親睦を図り、立教大学の発展に寄与すること」を目的に、5月と3月の定期代議員会、会員総会、全国地域支部代表者会議、企業等立教会交流会、その他「地区校友の集い」、「周年の集い」などの開催を行っています。

校友会 組織図 2023年 4月現在



2023年度開催予定行事

- 第85回会員総会・定期代議員会
(2023年5月20日(土))
- 第61回ホームカミングデー
(2023年10月15日(日))
- 卒業おめでとう祝賀パーティー
(2024年3月14日(木))
- 地区校友の集い
(2023年5月以降順次開催予定)
- 年次別校友の集い

立教大学校友会 公式 SNS

キャンパスの写真やイベントのお知らせを
発信しています。是非ご覧ください。



Facebook



Instagram



YouTube

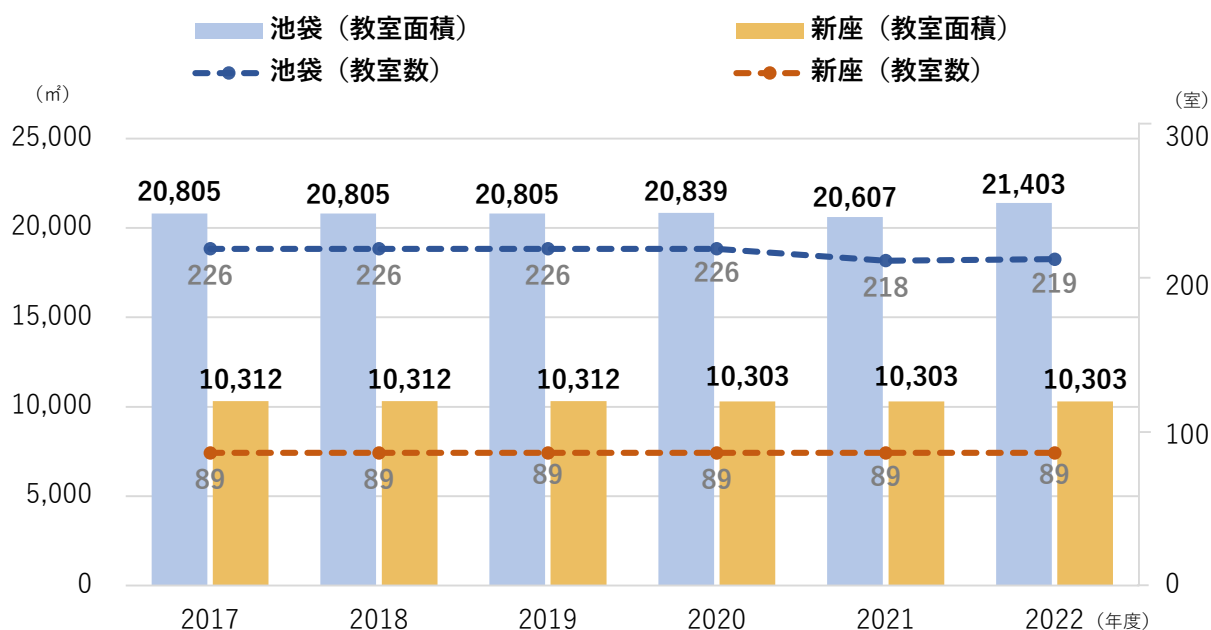


LINE

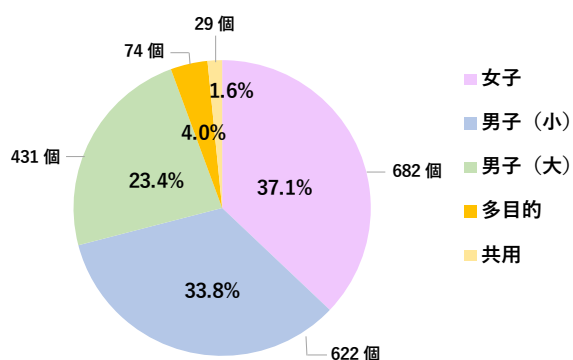
Ⅸ 大学運営

1. 教育研究施設

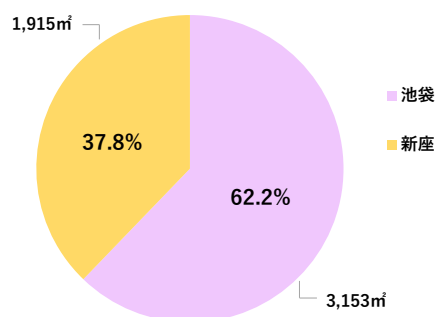
教室



トイレの個数



アメニティスペース面積



※アメニティスペース・・・ラウンジ、コモンルーム等

食堂

キャンパス	建物名	階数	食堂名	面積 (㎡)
池袋キャンパス	第一食堂	1F・2F	第一食堂	868
	5号館	B1F	レストラン アイビー	455
	9号館	1F	軽食堂	373
	12号館	1F	TULLY'S COFFEE	78
	ウィリアムズホール	2F	東京ハラルデリ&カフェ	327
	セントポールズ会館	1F	日比谷松本楼セントポールズ会館店	169
新座キャンパス	4号館	1F	コモンルーム	318
	4号館	1F	こかげ	465
	食堂棟	1F	Forest	1209
富士見総合グラウンド	クラブハウス	2F	食堂	170

※面積はホール・厨房を含みます。

耐震化率

キャンパス名・その他施設	耐震化率
池袋キャンパス	100%
新座キャンパス	100%
その他施設	100%
施設合計	100%

※その他施設・・・池袋キャンパス・新座キャンパス以外の課外活動施設、研究施設、廃棄物保管庫、教職員住宅

LED化率

キャンパス名	LED化率
池袋キャンパス	約30%
新座キャンパス	約50%



セントポールズ・アクアティックセンター

公認記録が取得できる体育施設

キャンパス名	施設名
新座キャンパス	セントポールズ・アクアティックセンター (SPAC)
	セントポールズ・フィールド



セントポールズ・フィールド

ツタの種類

ツタの種類	場所
テイカカヅラ	本館北側メーザライブラリー記念館旧館側の一部、2・3号館北面
キヅタ (フユヅタ)	本館北側礼拝堂側の一部、8号館北側
ナツヅタ	本館を含め、上記以外の全て



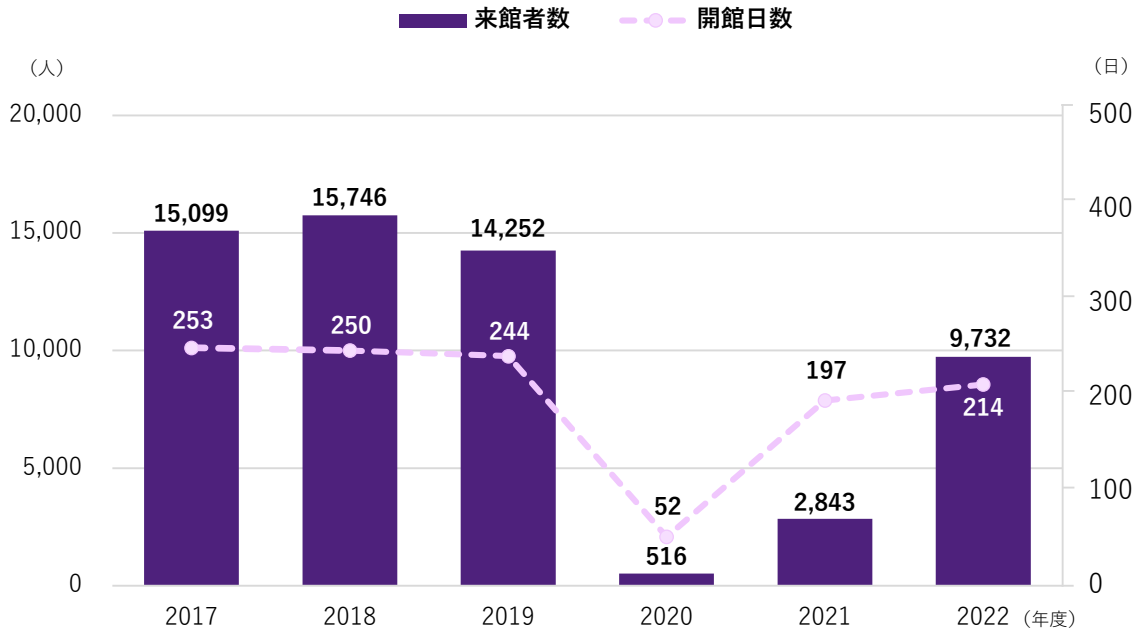
モリス館のツタ

施設別受賞歴

年度	建物	受賞名	主催
1998	池袋キャンパス周辺	豊島区アメニティ形成賞	豊島区
	新座キャンパス (全体)	彩の国景観賞 (たてももの・まちなみ部門)	埼玉県
1999	レンガ造建物 (6棟)	東京都選定歴史的建造物	東京都
2001	諸聖徒礼拝堂	BELCA (ベルカ) 賞 ロングライフ部門	建築・設備維持保全推進協会
2002	立教通り	公共の色彩賞	公共の色彩を考える会
2005	第一食堂	BELCA (ベルカ) 賞 ベストリフォーム部門	建築設備維持保全推進協会
2006	11号館	グッドデザイン賞 (建築・環境デザイン部門)	日本産業デザイン振興会
		国際照明デザイン賞	北米照明学会
		タイルデザインコンテスト 優秀賞	ダントー株式会社
2006	新座キャンパス (全体)	グッドデザイン賞 (建築・環境デザイン部門)	日本産業デザイン振興会
		彩の国景観賞 (たてももの・まちなみ部門)	埼玉県
2007	新座キャンパス (全体)	優秀作品2007 選定	日本建築家協会
2008	新座キャンパス (全体)	作品選集 選定	日本建築学会
2008	太刀川記念交流会館	グッドデザイン賞 (建築・環境デザイン部門)	日本産業デザイン振興会
		タイルデザインコンテスト 優秀賞	ダントー株式会社
		優秀作品2008 選定	日本建築家協会
2009	太刀川記念交流会館	作品選集 選定	日本建築学会
		JIA環境建築賞 優秀賞	日本建築家協会
		日事連建築賞 優秀賞	日本建設事務所協会連合会
		日本建築士会連合会賞 優秀賞	日本建築士会連合会
2009	学院事務棟アネックス	優秀作品2009 選定	日本建築家協会
2010	学院事務棟アネックス	作品選集 選定	日本建築学会
2012	新座キャンパス 4・8号館	JSCA賞 (日本建築構造技術者協会賞)	日本建築構造技術者協会
	ロイドホール	省エネ照明デザインアワード受賞	環境省
2013	ロイドホール	グッドデザイン賞 受賞	日本産業デザイン振興会

2. 立教学院展示館・旧江戸川乱歩邸

立教学院展示館 年間来館者数・開館日数



TOPICS

立教学院展示館

TOPICS 1

立教学院展示館について

立教学院展示館は、立教の歴史と伝統、教育と研究の取り組みを発信する場として、2014年に開館しました。旧図書館の趣を残した2階の展示スペースでは、貴重資料の展示、タッチパネルディスプレイや映像、写真を通して、立教学院の歴史を分かりやすく学ぶことができます。

TOPICS 2

展示館内の見どころ

建学の精神の理解を深める場

常設展示では、グラフィックパネルや、当時の資料、写真、物品を使い、創立者ウィリアムズ主教や創立当初からこれまでの立教学院の歩みを分かりやすく紹介しております。

自校史学習の場としての活用

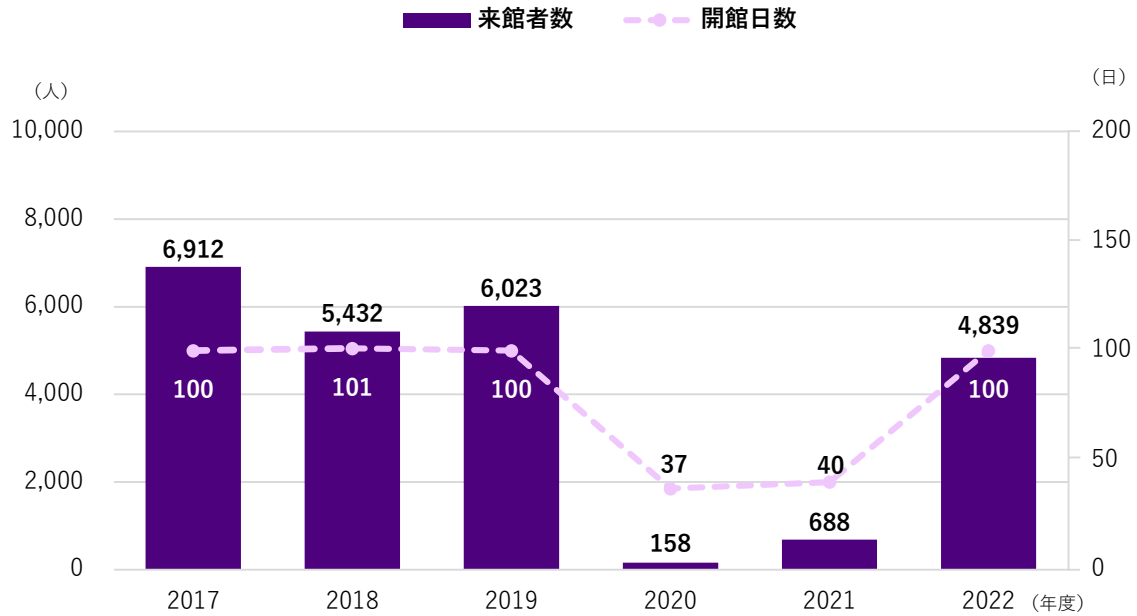
展示館は、立教学院の小・中・高・大の児童・生徒・学生が自校史学習に活用できるよう、子供向けと大人向けのタブレット端末と大型モニターを設置し、分かりやすい自校史コンテンツを用意しております。

デジタルコンテンツ、映像コンテンツが充実

展示物では表現できない情報の発信と、来館者のきめ細かい興味・関心に応じた情報サービス機能の充実を図るため、校地の移り変わりをタッチパネルディスプレイで解説する等、デジタルコンテンツや映像コンテンツを積極的に活用しています。



旧江戸川乱歩邸 年間来館者数・開館日数



TOPICS

旧江戸川乱歩邸

TOPICS
1

旧江戸川乱歩邸について

推理小説家江戸川乱歩が1934年から移り住んだ邸宅と、書庫として使われていた土蔵が、2002年に立教大学へ譲渡されました。土蔵は豊島区指定有形文化財に指定されています。

TOPICS
2

旧江戸川乱歩邸の歴史

1934年、乱歩は立教大学に隣接するこの住宅に移り住み、70歳で死去する1965年まで住み続けました。二階建ての土蔵は書庫として利用され、一階には和書や洋書が、二階には江戸文学などの和本を配架していました。2002年、この土蔵・住宅と計2万点近くの蔵書等が立教大学に譲渡され、2006年に江戸川乱歩記念大衆文化研究センターが設立されました。センターでは現在研究・保存・公開を進めています。

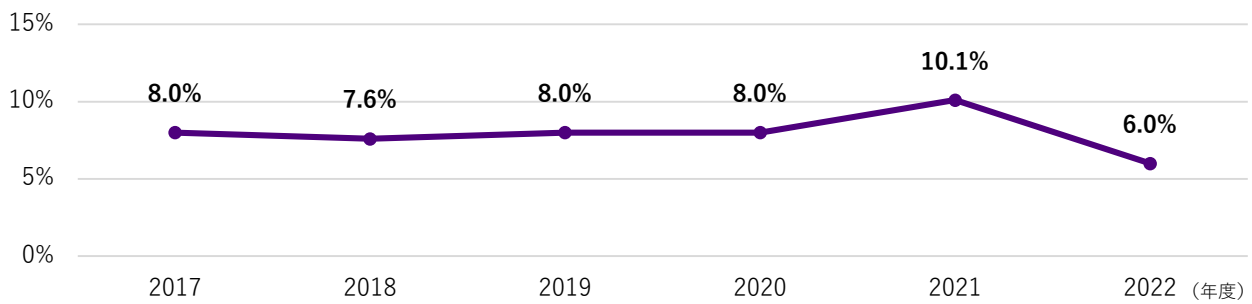
江戸川乱歩 (1894-1965)

本名、平井太郎。明治27年10月21日三重県に生まれ、名古屋で育つ。
早稲田大学で経済を学びながらボーヤドイルを読む。様々な職業を経験した後、大正12年に雑誌「新青年」に「二銭銅貨」でデビュー。
昭和2年までに「D坂の殺人事件」「人間椅子」「パノラマ島奇譚」などを執筆する。
休筆を挟んで「陰獣」「芋虫」「孤島の鬼」「押絵と旅する男」等を発表。
昭和4年の「蜘蛛男」より娯楽雑誌に長篇を連載、「魔術師」「黄金仮面」「黒蜥蜴」など。
昭和11年から「怪人二十面相」を「少年倶楽部」に連載、少年探偵のシリーズは晩年まで続く。
同時期から評論も多く手がけ、「鬼の言葉」(昭和11年)「幻影城」(昭和26年)などにまとめられる。
昭和22年、探偵作家クラブ結成、初代会長に就任。昭和29年、乱歩賞を制定。
昭和32年から雑誌「宝石」の編集に携わる。
昭和38年、日本推理作家協会が認可され理事長に就任。
昭和40年、7月28日脳出血のため自宅で死去。享年70。

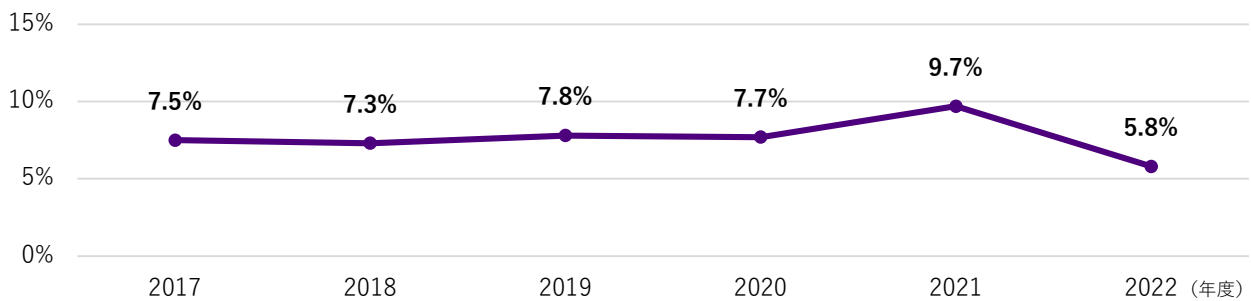


3. 財政

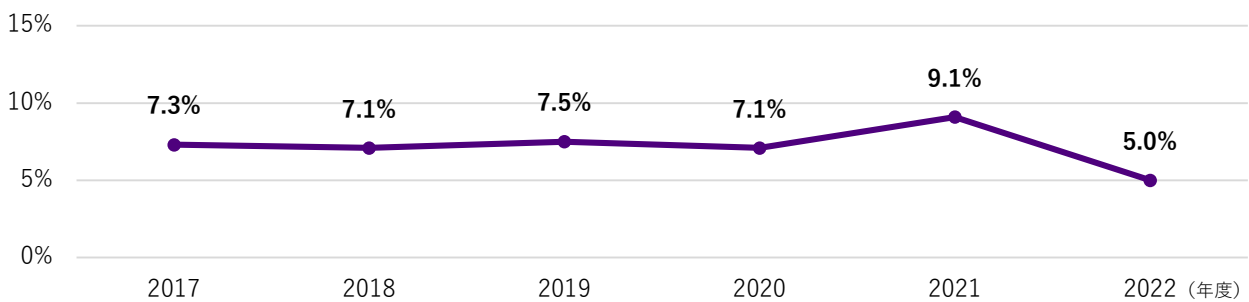
事業活動収支差額比率



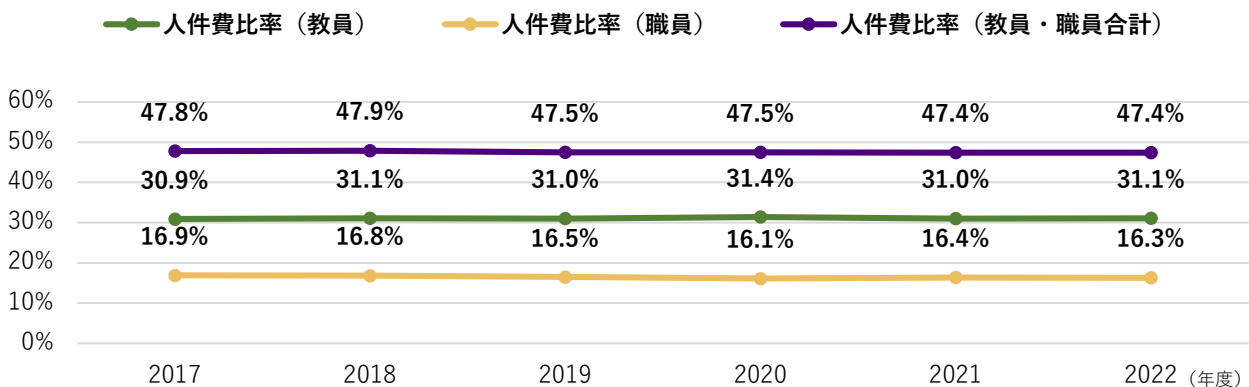
經常収支差額比率



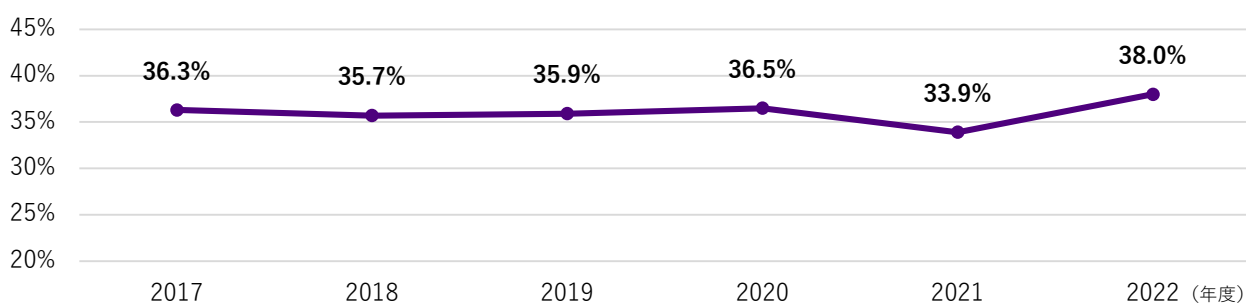
教育活動収支差額比率



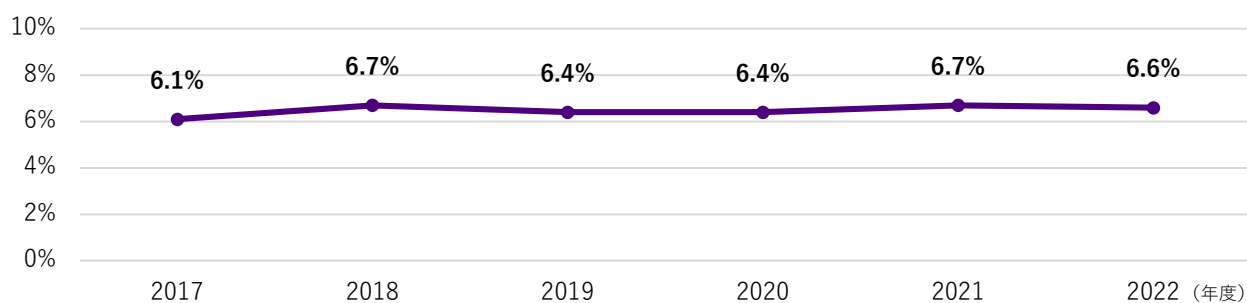
人件費比率



教育研究経費比率

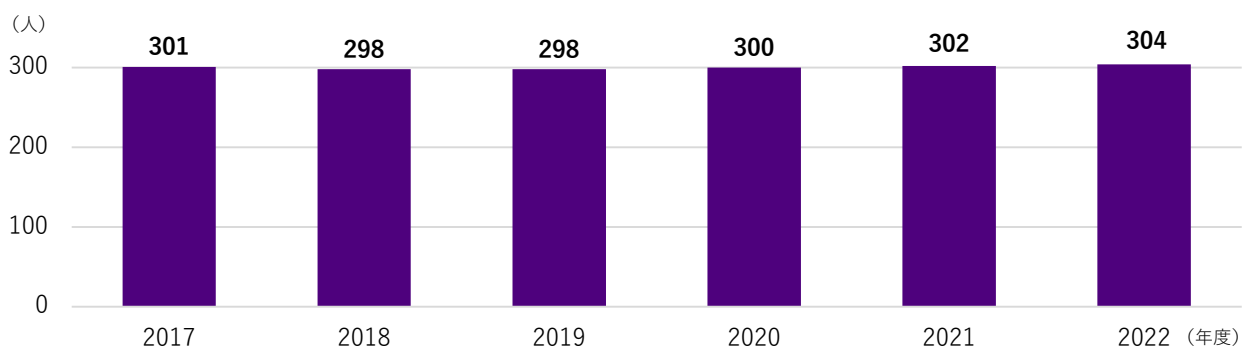


管理経費比率



4. 専任職員数

専任職員数



立教大学の沿革

学校法人立教学院は、1874年、アメリカ聖公会の宣教師チャニング・ムーア・ウィリアムズ主教によって創立されました。築地に開校した生徒数名の小さな私塾は、今では小学校・中学校・高等学校・大学・大学院・セカンドステージ大学までを擁する国内有数の一貫連携教育校として発展を続けています。また、立教大学は、2022年に大学認可100周年を迎えました。立教大学の歩みを年表で振り返ります。

1874年

ウィリアムズ主教、築地に聖書と英学を教える私塾を数名の生徒で始める。間もなく立教学校と称する。



1883年

外国人居留置37番に完成したゴシック風レンガ校舎に移転。立教大学校と称した。

1907年

専門学校令により、「立教大学」と称する。文科・商科および予科を置いた。



1918年

9月11日、池袋に移転。



1919年

本館、図書館、寄宿舎(現2号館、3号館)、食堂の落成式。池袋キャンパスとしての歩みを開始。

1922年

大学令による大学として認可される。文学部(英文学科、哲学科、宗教学科、史学科)、商学部および予科を置いた。

1949年

新制大学として認可される。文学部(基督教学科、英米文学科、社会科、史学科、心理教育学科)、経済学部(経済学科、経営学科)、理学部(数学科、物理学科、化学科)を置いた。

1956年

文学部に日本文学科を設置。

1958年

社会学部(社会学科)を設置(文学部社会学科廃止)。

1959年

法学部(法学科)を設置。

1962年

文学部に心理学科、教育学科を設置(心理教育学科廃止)。

1963年

文学部にフランス文学科、ドイツ文学科を設置。

1964年

社会学部に産業関係学科を設置。

1967年

社会学部に観光学科を設置。

1974年

創立100周年記念式典。

1978年

屋間部総合大学として初めての社会人入試を法学部で開始。

1988年

法学部に国際・比較法学科を設置。

1990年

新座キャンパス開校。



2002年

経済学部会計ファイナンス学科、理学部に生命理学科、社会学部に現代文化学科を設置。ビジネスデザイン研究科、21世紀社会デザイン研究科、異文化コミュニケーション研究科開設。江戸川乱歩の邸宅と書庫として使用していた土蔵が、立教大学に譲渡される。



2007年

文学部、経済学部 開設100周年。
法学部 国際・比較法学科を国際ビジネス法学科に名称変更。

2009年

池袋キャンパスにキリスト教学研究科を設置。

2014年

創立140周年。
池袋キャンパスに立教学院展示館を開館。
「スーパーグローバル大学創成支援」に採択。

2017年

Global Liberal Arts Program (GLAP)開設。

2020年

人工知能科学研究科開設。
新英語教育カリキュラムスタート。

2024年 立教学院は創立150周年を迎えます。

1996年

法学部に政治学科を設置。

1997年

全学共通カリキュラムスタート。

1998年

新座キャンパスに観光学部(観光学科)、コミュニティ福祉学部(コミュニティ福祉学科)を開設。

2004年

創立130周年。
法務研究科(法科大学院)開設。

2006年

池袋キャンパスに経営学部(経営学科、国際経営学科)、新座キャンパスに現代心理学部(心理学科、映像身体学科)を設置。
文学部をキリスト教学科、文学科、教育学科、史学科に改組。
経済学部経済政策学科、社会学部にメディア社会学科、観光学部に交流文化学科、コミュニティ福祉学部福祉学科、コミュニティ政策学科を設置。

2008年

池袋キャンパスに異文化コミュニケーション学部(異文化コミュニケーション学科)を設置。
コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科を設置。
立教セカンドステージ大学開校。

2012年

池袋キャンパスに池袋図書館を開館。

2016年

新しい学びのスタイル「RIKKYO Learning Style」スタート。

2018年

池袋キャンパス100周年。

2023年

コミュニティ福祉学部をコミュニティ政策学科、福祉学科に再編。
スポーツウエルネス学部、スポーツウエルネス学研究科を設置。



立教学院創立 150 周年に向けて

立教学院は、2024 年に創立 150 周年を迎えます。

創立 150 周年に向けて設定した目標やテーマ、取り組みや記念事業についてをまとめました。今後も、新たな記念事業の企画を予定しており、2024 年へと引き続き進んでまいります。



創立150周年ビジョン

学びをつないで未来をつくる。

この 150 年で、いや、この 10 年だけでも、世界は大きく変わりました。あらゆるものが複雑に絡み合い変化し続ける現代を生きる若者のために、学びの場はどうあるべきか。私たちはいつも考えています。簡単に正解を見つけ出すことはできないけれど、ひとつだけ言えることは、これからは「つながる力」が大切だということです。異なる知識を持った人同士が繋がれば、知識の量が一気に増える。新しいモノの見方が生まれる。そして、いままでとどりがけなかった答えにたどり着くことができる。

学びをつないで未来をつくる。

2024 年の創立 150 周年、そしてその先に向けて、私たちの歴史のなかで培ってきた「共に生きる」という考えに基づく人間教育をベースに、あらゆる分野の学びをつなぎ、未来をつくるための取り組みをはじめます。

目標

創立から 150 年の歴史・伝統を礎とし、世界を先導する立教を創る

立教学院は創立以来、小学校から大学まで一貫して建学の精神に基づき、世界に通用する倫理観、豊かな個性としなやかな思考力を養う教育機関として、社会への貢献を続けてきました。迎える 2024 年の創立 150 周年は、歴史ある立教の一つの節目であり、未来に向けた宣言の年とし、これまで立教が果たしてきた役割とこれからの使命を再度確認する機会として、創立 150 周年記念事業を位置づけています。150 年の歴史と伝統を礎に、世界の新たな時代・価値観を先導する立教を創ることを目標に、皆さまの叡智を結集して創立 150 周年記念事業を展開していきます。

テーマ

上記の目標を達成するために、「150 年の歴史と伝統」、「先進性、改革精神、未来志向」、「ALLRikkyo の叡智の結集、ネットワークの活用」といった立教の強みや特徴、変革の方向性を端的に表現した以下の 3 点をテーマに設定しています。設定されたテーマに基づき具体的な事業・企画を立案し、推進していきます。

01

歴史と伝統への
感謝・継承

02

未来への
挑戦・創造

03

ALL Rikkyo の
進化・連携

創立 150 周年に向けたメッセージ

次の立教へ

社会からの要請に応え、各学校教育と一貫連携教育を進化させることにより、他者と共感しながら、未来を拓く力を備えた人を育てる。

01 学校教育の進化

1. 大学の RIKKYO Learning Style の進展
2. 新座中高のグローバルリーダー育成のためのプログラム充実
3. 池袋中高のリーダーシップ教育の新たな展開
4. 小学校の新教育コンセプトの展開「自律・協奏する力と心を育む真正な学び」

02 一貫連携教育の進化

1. 各学校の特色を活かした一貫連携教育の展開
2. グローバル教育の進展
3. 運動部活動支援の具体的な検討

主な記念事業

■ 小学校新校舎建設事業

チャペルや講堂などがある東棟を除いたすべての校舎・教育施設を新しく建設します。2020年に決定した教育の新コンセプト「自律・協奏する力と心を育む真正な学びプロジェクト型学習を中心とした終わらない学びへ」のもとに、普通教室、各専科教室、その他の教育施設を有機的に結びつけ、「いつでも、どこでも、だれとでも学ぶことができる学びの場」を実現します。新校舎の完成により、立教学院の教育理念と教育目標の基礎となる初等教育のいっそうの充実を図ります。



■ 新座新棟（仮称）建設事業

2023年4月、立教大学が開設したスポーツウエルネス学部・研究科は、「すべての人の生きる喜びのために」を理念とし、豊かな人間性を基礎に、すべての人のウエルネスの向上と、ウエルネス社会の構築に貢献する人材の育成を掲げています。新座新棟（仮称）は、スポーツウエルネス学部・研究科の教育・研究活動施設の確保と増加する学生に対応する施設環境の整備を目的に建設し、新たなイノベーションの創出拠点として魅力ある施設を目指します。



■ 「立教箱根駅伝 2024」事業

創立150周年となる、2024年1月の東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）本選出場を目指す「立教箱根駅伝 2024」事業に取り組んでいます。上野裕一郎監督を迎え、選手、スタッフが一丸となって取り組んできたその成果として、目標を1年早く達成し、2023年1月の本選出場を果たしました。そして、全中継所で1本の襷をつなぎ、総合18位という成績を収めました。さらなる飛躍を目指す陸上競技部男子駅伝チームへの、皆さまのより一層のご支援をお願いいたします。



■ 旧江戸川乱歩邸施設整備事業

日本を代表する推理小説家、江戸川乱歩は、70歳で死去するまで立教大学の隣地で暮らしました。2002年に乱歩の邸宅と書庫の土蔵（豊島区指定有形文化財）、蔵書等が立教大学に帰属することとなり、江戸川乱歩記念大衆文化研究センターを設立し、研究・保存・公開を進めてきました。老朽化が進む母屋と洋館の改修整備を行い、乱歩に関する資料展示スペースの充実を目指します。



■ 学院史編纂事業

『立教学院八十五年史』1960年刊、『立教学院百年史』1974年刊に次ぐ、約半世紀ぶりの通史として『立教学院百五十年史』全3巻を刊行します。私立学校の改革と発展には、自校史への確実な認識に裏付けられた建学の精神を常に意識し、現代に生かすという視点が欠かせません。本編纂事業を通じて、立教学院が立教学院らしい改革と発展を遂げるための基盤や、学院構成員のアイデンティティの拠り所を改めて確認していきます。『立教学院百五十年史』は、この間の立教史研究の成果を踏まえ、これまでの学院史で未掲載の資料や、新たに発見・整理した資料に基づき、新たな視点・視角から執筆しています。2023年2月3日に第1巻を刊行し、今後、第2巻、第3巻の刊行を予定しています。



■ 池袋キャンパス 100 周年記念事業

2018年度、立教学院は築地から池袋へ移転し、池袋キャンパスを開校して100年を迎えました。節目の年に、池袋キャンパスの発展を支えてくださった、本学関係者、豊島区ならびに池袋の街へ改めて感謝を伝えるとともに、さらなる成長を実現するというテーマのもと、創立150周年記念事業の一つと位置づけて、さまざまな記念企画を展開しました。



立教大学ファクトブック 2023（概要）

立教大学ファクトブックに掲載した様々なデータの概要版として、各項目毎の主要なデータをまとめました。
一目で立教大学の「今」を把握していただけます。

学部所属専任教員数

465人

開講科目数

5,823コマ

図書館蔵書数

約**200万**冊

教育

Education

※データ対象年度：2022年度

論文発表数

122位

高被引用論文数

108位

相対被引用度 (CNCI)

15位

※データ対象年度：2011～2020年度（資料：Web of Science）

Research

研究

学部 学生数

19,100人

男子学生：43.9% 女子学生：56.1%

体育会所属学生数

2,446人

学部 就職率

97.5%

学生

Students

※データ対象年度：2022年度

海外協定校数

230校

外国籍教員数

212人

グローバル教養
副専攻登録率

95.8%

※グローバル教養副専攻・・・
グローバルな視点に立った教養人の
育成を目標とした全学部生対象の
教育プログラム

国際化

Internationalism

※データ対象年度：2022年度

日経 BP ブランドイメージ
調査総合ブランド力
(対象者：学生の父母)

スコア

67.2点

順位

10位

世界大学ランキング

タイムズ・ハイアー・エデュケーション (THE)

「国際性」スコア
国内私立大学

1位

広報

Brand Image, Ranking

※データ対象年度：2022年度

志願者数

58,208人

校友数

226,223人

入試

Entrance Exams

※データ対象年度：2023年度

Alumni

※データ対象年度：2022年度

校友

RIKKYO Fact Book 2023

立教大学ファクトブック

－ 2017年度～2022年度データ －

2023年9月28日発行

編集・発行 立教大学 総長室企画課

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1 学院事務棟アネックス3階

TEL:03-3985-4163

FAX:03-3985-4861

E-mail : kikaku@rikkyo.ac.jp



立教大学ファクトブック
のWeb版はこちら

RIKKYO Fact Book 2023



立教大学
RIKKYO UNIVERSITY

〒171-8501

東京都豊島区西池袋3-34-1

<https://www.rikkyo.ac.jp/>